取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EH70V

大事なお知らせ 4ページ～13ページ
ご使用になる前に必ずお読みください。

詳しいもくじは、2～3ページをご覧ください。

保証書別添付　上手に使って上手に節電

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。
インターネットでの登録が可能です。詳しくは、同梱の「ご愛用者カード」をご覧ください。

このたびはパナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（110～111ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- ■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/
詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

VQT0P06

もくじ

はじめに

大事なお知らせ

準備

ご自分で設置される方は…
お使いになる前に、以下の項目を
必ず行ってください

HDD/DVD/SD

見る/聞く

録る

編集

便利機能

VHS

見る

録る

便利機能

その他（HDD/DVD/SD/VHS共通）

ダビング

必要なとき

本書内の表現について

- 参照していただくページを（➜○○）で示しています。
- 内蔵ハードディスク部分を「HDD」、ディスク部分を「DVD」、カード部分を「SD」、ビデオ部分を「VHS」として、主に説明しています。

HDD(ハードディスク)と本機で使えるディスク・カード

HDDと録画・再生ができるディスク(12 cm/8 cm)

(+RWに録画することはできません)

ディスクの種類		内蔵HDD ●200 GB	DVD-RAM ●4.7 GB/9.4 GB (12 cm) ●2.8 GB(8 cm)	DVD-R(DVD-Video方式) ●4.7 GB(12 cm) ●1.4 GB(8 cm)
ディスクのロゴマーク		—	DVD RAM RAM4.7	DVD R R4.7
本書内の表示		HDD	RAM	ファイナライズ前 -R ファイナライズ後 DVD-V
記録、再生できるもの		**ビデオ**(通常の録画番組) **写真**(デジカメなどの写真)	**ビデオ**(通常の録画番組) **写真**(デジカメなどの写真)	**ビデオ**(通常の録画番組)
主な用途		**一時録画用**	**繰り返し録画用**	**録画用(1回のみ)**(ディスクの残量がなくなるまで追記可能)
最大録画時間		約355時間	約8時間(4.7 GBディスク) (両面ディスクで約16時間※1)	約8時間(4.7 GBディスク)
他のDVD機器で再生		—	DVD-RAM 対応機器でのみ可能 [ファイナライズ(➜112)は不要です]	ファイナライズ後に可能 (➜63)
高速記録対応		—	5×高速記録まで※2	8×高速記録まで※2
本機でできること	追っかけ再生	○	○	×
	1回だけ録画可能のデジタル放送を録画※3	○	○ [CPRM対応ディスク(➜6)のみ]	×
	二重放送の主/副音声を記録	○	○	× [「二重放送音声記録」(➜66)で音声を選択]
	16:9映像の記録	○	○	×(4:3映像)
	番組(タイトル)名入力	○	○	○
	番組(タイトル)消去	○	○	○(残量は増えません)
	プレイリスト作成	○	○	×

ディスクやカードは、本機との相性が確認されている当社製のものをおすすめします(別売品のご紹介➜105)

- DVD-R、DVD-RW、+Rは、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- DVD-RやDVD-RWがCPRMに対応であっても、「1回だけ録画可能」な番組を録画することはできません。
- ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

再生のみできるディスク(12 cm/8 cm)

ディスクの種類	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVD-RW(VR方式)	+RW
ディスクのロゴマーク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD AUDIO	DVD R W	—
本書内の表示	DVD-V	DVD-A	-RW(VR)	DVD-V
特長	**映画や音楽など、高画質の市販ソフト** ●本機では下のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」または「ALL」を含むもの 例) 2 ALL 1 2 4 ●番号は国により違います。	**高音質の音楽用市販ソフト** ●本機では2チャンネルで再生されます。 ●マルチチャンネルのDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜112)が禁止されているものがあります。	**他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW※4** ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組(タイトル)の再生もできます。 ●フォーマット(➜63)すると、本機で録画できます。 本機以外で録画されたディスクの中には、ファイナライズ(➜112)を行わないと再生できないものがあります。録画した機器でファイナライズを行ってください。	**他のDVDレコーダーで録画された+RW※4**

※4 記録状態によって再生できない場合があります。

- ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

DVD-RW(DVD-Video方式) ●4.7 GB(12 cm) ●1.4 GB(8 cm)	+R ●4.7 GB(12 cm)
DVD RW	—
ファイナライズ前 -RW(V)	ファイナライズ前 +R
ファイナライズ後 DVD-V	ファイナライズ後 DVD-V
ビデオ(通常の録画番組)	**ビデオ**(通常の録画番組)
繰り返し録画用	**録画用(1回のみ)**(ディスクの残量がなくなるまで追記可能)
約8時間(4.7 GBディスク)	約8時間
ファイナライズ後に可能(➜63)	ファイナライズ後に可能(➜63)
4×高速記録まで※2	8×高速記録まで※2
×	×
×	×
×[「二重放送音声記録」(➜66)で音声を選択]	×[「二重放送音声記録」(➜66)で音声を選択]
×(4:3映像)	×(4:3映像)
○	○
○[最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ、残量が増えます]	○(残量は増えません)
×	×

※1 両面への連続録画、再生はできません。
※2 ディスクの状態によっては、記録品質を優先するため、速度を落として記録することがあります。
※3 デジタルハイビジョン画質での録画はできません。

CD		ビデオCD
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	—	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
CD		VCD
音楽や音声が記録された市販ソフト(CD-DAで記録したCD-RやCD-RWを含む※4)	**MP3圧縮形式(➜113)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※4** **写真(JPEGやTIFF)画像が記録されたCD-RやCD-RW※4**	**音楽や映像が記録された市販ソフト**(ビデオCDで記録したCD-RやCD-RWを含む※4)

本機で使えるカード

カードの種類	SDメモリーカード miniSD™カード※5 マルチメディアカード
本書内の表示	SD
記録、再生できるもの	**写真** (デジカメなどの写真)
特長	●デジタルカメラなどで撮った写真の再生(➜41)やダビング(➜102)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜61)

※5 miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターに装着してご使用ください。
●カードの対応フォーマット:FAT12、FAT16

使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量(8 MB〜1 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、	16 MB、	32 MB、	64 MB、
128 MB、	256 MB、	512 MB、	1 GBまで

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dvd

●SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜63)
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●VR方式で記録されたDVD-R
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜112)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●DVD-R DL ●+R DL ●+R(8 cm)
●CD-ROM ●CDV ●CD-G ●Photo-CD
●CVD ●SVCD ●SACD ●MV-Disc
●PD など

VR(ビデオレコーディング)方式とは
テレビ放送などを録画、編集するために作られた記録方式です。
●デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組を録画できます。本機ではHDDまたはCPRM対応のDVD-RAMに録画できます。
●DVDプレーヤーなどで再生するにはVR方式に対応した機器でのみ可能です。
録画するには、HDD、DVD-RAMを使用してください。

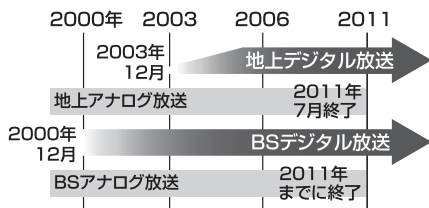
DVD-Video(DVDビデオ)方式とは
市販されているDVDビデオと同じ記録方式です。
●デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組は録画できません。
●DVDプレーヤーなどで再生することができます。
ただし、本機で録画した番組(タイトル)を他のDVDプレーヤーなどで再生するにはファイナライズが必要です。
録画するには、DVD-R、DVD-RWを使用してください。

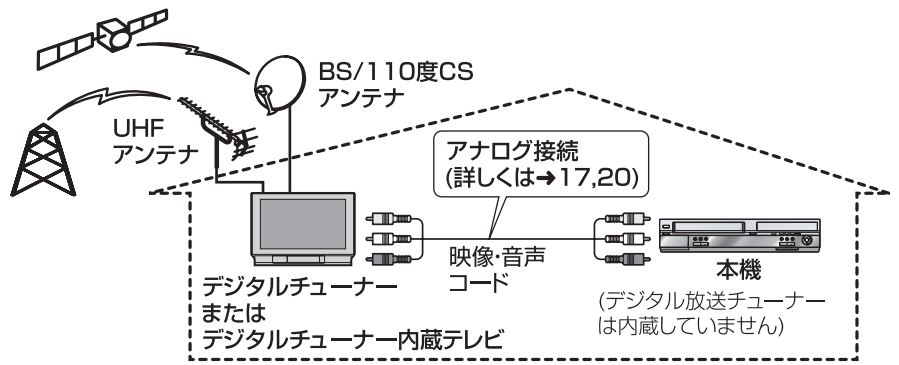
デジタル放送のお知らせ

2003年12月から地上デジタル放送が始まっています

■アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

■アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。
ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。
番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

● **デジタルハイビジョン画質での録画はできません。**

- 上記内容はJEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の規定に基づくものです。
- 上記文中の「アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器」とは、本機や通常のビデオデッキがこれに該当します。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※1のコピー制御信号が加えられています。

※1「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。（2004年4月から）

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/
社団法人　BSデジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

■録画の制限について

「1回だけ録画可能」な番組は、CPRM※2という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクで録画できます。
デジタル放送をディスクに録画するときは、使用するディスクにお気を付けください。

「1回だけ録画可能」の番組は

- **HDDまたはCPRM※2対応のDVD-RAMに録画できます。**
- **2.8 GB（8 cm）のDVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、+Rには録画できません。※3**

※2 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。
※3 本機では、DVD-RやDVD-RWがCPRM対応であっても録画できません。

（○: 録画できる、×: 録画できない）

録画先 / 放送の種類	内蔵HDD	DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R、DVD-RW、+R	カセット
制限なしに録画可能	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	×	×	○
録画禁止	×	×	×	×	×

DVD側での予約録画時は、挿入されているディスクにお気を付けください。

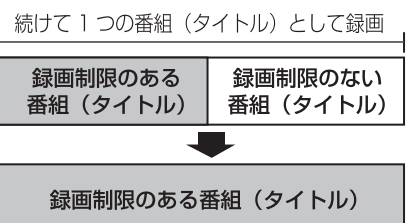
お知らせ

- 右図のように録画された番組（タイトル）は、録画制限のない番組（タイトル）でも録画制限のある番組（タイトル）として扱われます。タイトル分割（➜**57**）などの編集を行っても、録画制限の情報は残ります。
- 本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組（タイトル）は、CPRM対応機器でのみ再生可能です。（当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーは、すべてのCPRM方式に対応しています）

続けて1つの番組（タイトル）として録画

録画制限のある番組（タイトル）	録画制限のない番組（タイトル）

⬇

録画制限のある番組（タイトル）

■本機で「1回だけ録画可能」な番組をダビングするとき

デジタル放送をディスクにダビングするときは、使用するディスクにお気を付けください。

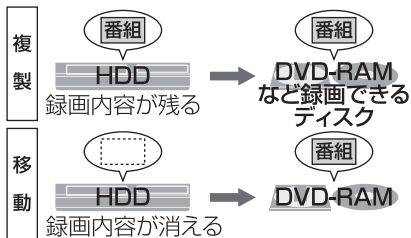
「1回だけ録画可能」の番組は

- **HDDからCPRM※4対応のDVD-RAMに移動※5できます。(HDDからは消去されます)**
- **DVD-RAMからHDDまたは他のディスクへの複製・移動※5はできません。**

※4 1回だけ録画が許可された番組を録画することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

※5 複製と移動の違いについて

内蔵HDD

「1回だけ録画可能」な番組

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先			
DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R、DVD-RW、+R	カセット
○ ※6	×	× ※7	○ ※8

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先	
内蔵HDD	カセット
×	○ ※8

(○:ダビングできる、×:ダビングできない)

ダビング先			
内蔵HDD	DVD-RAM (CPRM対応)	DVD-RAM (CPRM非対応)	DVD-R、DVD-RW、+R
○	○	×	× ※7

※6 移動します。(HDDからは消去されます)

※7 本機では、DVD-RやDVD-RWがCPRM対応であってもダビングできません。

※8 再度、HDDやDVD-RAMへダビングすることはできません。(カセットにコピー制御信号が合わせて記録されます)

お知らせ

- 「1回だけ録画可能」の番組をカセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。

HDD（ハードディスク）の取り扱い

HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
大切な映像の保存のためにも、DVDディスクあるいはカセット(テープ)へのダビングを前提のうえでお使いください。

■HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

■HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…

HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングし、修理をご依頼ください。HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

電源切/入および休止時［本体表示窓に「HDD SLP（SLEEP）」が表示］に音がする場合がありますが、故障ではありません。

重要なお願い

■設置するとき

- **後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない**
- **水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する**
- **ビデオなどの熱源となるものの上に置かない**

- **温度変化が起こりやすい場所に設置しない**
- **「露付き」が起こりにくい場所に設置する(➜12)**

■たばこの煙など

たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

■動作中

- 振動や衝撃を与えない(HDDが破損することがあります)
- 電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない

通電中、HDDは高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

■移動するとき

① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

■HDDの記録時間の残量

HDDへの録画は、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。残量表示が少ないときは、あらかじめ不要な番組(タイトル)を消去し、余裕がある状態で録画してください(プレイリストを消去しても残量は増えません)。

■本体表示窓に「HDD SLP(SLEEP)」が表示されたとき

HDDが自動的に休止状態になっています。(通電中、HDDは高速で回転しています。HDDの寿命を延ばすため、ディスクトレイにディスクを入れていない状態で30分以上操作しないと休止します)

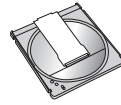
- [HDD] ボタンを押すと起動します。
- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。**(「クイックスタート」(➜14)が「入」になっていても同様です)**
- HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

ディスク・カードの取り扱い

大切な映像を録画するには

ディスクの記録面に、傷や汚れが付いていると、正常に録画・再生・編集ができないことがあります。

大切な映像を、傷や汚れから守るために、
DVD-RAMカートリッジ付きディスクをおすすめします

DVD-RAMカートリッジ付きディスク(別売)については(➜105)

デジタル放送を録画したいときは

HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMをご使用ください
(CPRM➜6,113)

他のDVD対応機器でも再生したいときは

DVD-R、DVD-RW 、+Rはファイナライズが必要です

ファイナライズについては(➜63)
他のプレーヤーが、それぞれのディスクに対応している必要があります。
本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のプレーヤーでは再生できない場合があります。
DVD関連の情報は当社ホームページでご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

カートリッジなしディスクについては

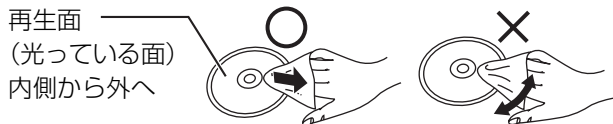
傷や汚れにお気を付けください(録画・再生・編集できないことがあります)

ご使用の前には、ディスクの記録面に傷や汚れが付いていないか十分に確認してください。
汚れていたときは(➜下記)

使用上のお願い

■持ちかた

■汚れたときや、露が付いたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品:クリーニングクロス(➜105)

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
  ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  ・ハート型など、特殊な形のディスク

- 次のような場所に置かない。
  ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  ・湿気やほこりの多いところ
  ・温度差の激しいところ(結露が発生します)
  ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

当社製DVDレコーダーの旧機種をお持ちのお客様へ

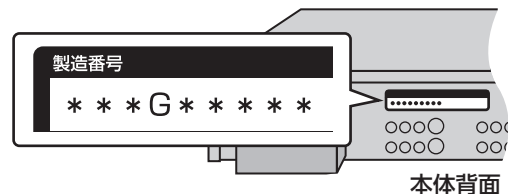
本機で録画した高速記録(4倍速記録、8倍速記録)対応DVD-Rを再生するために必要な制御ソフトウェアのアップデートディスクを無償配布しています

■対象機種

DMR-E30、DMR-HS2は製造番号の確認が必要です。すでにアップデート済みの場合は、再度行う必要はありません。

機種名	対象
DMR-E20 DMR-HS1	すべて
DMR-E30	製造番号の4けた目が"B"、"C"、"D"、"E"、"F"、"G"の製品
DMR-HS2	製造番号の4けた目が"G"、"H"の製品

製造番号は保証書または本体後面をご覧ください。製造番号の＊部は関係ない部分です。

本体背面

詳しくは当社ホームページをご覧ください。
(http://panasonic.jp/support/dvd/faq/dvd_x4/index.html)

アップデートディスクのお申し込み方法

上記の当社ホームページにてお申し込みいただくか、同梱の「ご愛用者カード」所定の欄に上記の中のお持ちの機種名と製造番号をご記入いただき、郵送ください。対象製品のアップデート専用ディスクを無償送付させていただきます。
ディスクに同梱の説明書に従ってアップデートをお願いいたします。
詳しくは、「ご愛用者カード」記載の説明をご覧ください。

DMR-HS2 をお持ちのお客様へ

制御ソフトウェアのダウンロードによるアップデートが可能です。
詳しくは、上記の当社ホームページをご覧ください。

二重放送と「高速ダビング用録画」の設定について

海外ドラマなどの二重放送の録画、ダビングについて

海外ドラマやスポーツ中継などの主音声と副音声を含む放送を「二重放送」といいます。
HDDまたはディスクに二重放送を録画・ダビングするときは、設定やディスクにより記録される音声が異なります。
以下の表を参考にして正しく記録してください。

■ 録画

	DVD-R、DVD-RW（DVD-Video 方式)、+R	HDD、DVD-RAM	
	主音声か副音声どちらか一方のみ記録	「高速ダビング用録画」(➜下記）が「入」のとき 主音声か副音声どちらか一方のみ記録	「高速ダビング用録画」が「切」のとき 主音声と副音声を両方記録
本機チューナーで受信した番組を録画	➜ 録画前に初期設定「二重放送音声記録」で選択(➜66)	➜ 録画前に初期設定「二重放送音声記録」で選択(➜66)	(録画後、再生時に[音声/黄]ボタンで音声の切り換えができます)
他のビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➜55,104)	➜ 録画前に接続した機器側で、記録したい音声を出力するように設定	➜ 録画前に接続した機器側で、記録したい音声を出力するように設定	➜ 録画前に接続した機器側で、主音声と副音声の両方を出力するように設定 (録画後、再生時に[音声/黄]ボタンで音声の切り換えができます) ●HDDに録画する場合、録画後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定のときは、主音声または副音声のどちらか一方のみを出力する設定にしてください。

■ ダビング［HDD またはカセットから DVD-R、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R へワンタッチ / マニュアルダビングする場合]

HDD、カセット	DVD-R、DVD-RW（DVD-Video 方式)、+R 主音声か副音声どちらか一方のみ記録
本機チューナーから録画した番組(両音声を記録した番組)をダビング	➜ ダビング前に初期設定「二重放送音声記録」で選択(➜66) ●カセットからダビングする場合、二重放送の番組の途中からダビングを開始すると音声が正しくダビングされません。(➜81)
他のビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画した番組(両音声を記録した番組)をダビング	主音声、副音声を両方記録した番組をダビングすると、両音声とも記録され、再生時、音声が混ざって聞こえます。 ➜ HDD録画前に、接続した機器側で主音声か副音声どちらか一方のみを出力する設定にして録画した番組をダビングしてください。

お知らせ

HDD またはカセットと DVD-RAM 間のダビングは主音声、副音声を両方記録した番組を両音声とも記録できます。

「高速ダビング用録画」について

「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると（**お買い上げ時は「入」に設定されています**)、録画した番組を HDD から DVD-R、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R へ高速でダビングすることができます。「入」に設定しておくと、「切」時と比較して、HDD や DVD-RAM への録画や HDD から DVD-R、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R へのワンタッチ / マニュアルダビングに以下のような違いがあります。
目的に合わせて正しく設定してください。

(○:できる　×:できない)

質問	「高速ダビング用録画」の設定		備考
	入	切	
放送受信中の二重放送音声(主音声、副音声、主/副音声)の切り換えができるか?	×	○	「入」:初期設定「二重放送音声記録」(➜66)で選んだ音声が聞こえます。 「切」:[音声/黄]ボタンで切り換えができます。(➜39)
二重放送音声を両方記録できるか?	×	○※	「入」:初期設定「二重放送音声記録」(➜66)で選んだ音声のみ記録します。 「切」:主音声、副音声を両方記録します。
ワイド放送などの画面サイズが16:9映像の番組をそのまま録画できるか?	×	○※	「入」:4:3映像で録画されます。(テレビ側の画面モードを変更して調整できます) 「切」:16:9映像のまま録画できます。
DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへ画質を変えずにダビングできるか?	○	×	「入」:画質を変えずにダビングできます。 「切」:録画モードを選んで、ダビングできます。
短時間でDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへダビングできるか?	○	×	「入」:高速ダビングができます。 「切」:録画されている番組の時間分のダビング時間がかかります。

※DVD-R、DVD-RW（DVD-Video 方式)、+R への記録は、「高速ダビング用録画」の設定の入 / 切にかかわらず下記のように記録されます。
・二重放送音声は主音声か副音声どちらか一方のみを記録します。
・ワイド放送などの画面サイズが 16：9 映像の番組は 4：3 映像で記録します。(テレビ側の画面モードを変更して調整できます）

■「高速ダビング用録画」設定が「入」のとき　　再生時

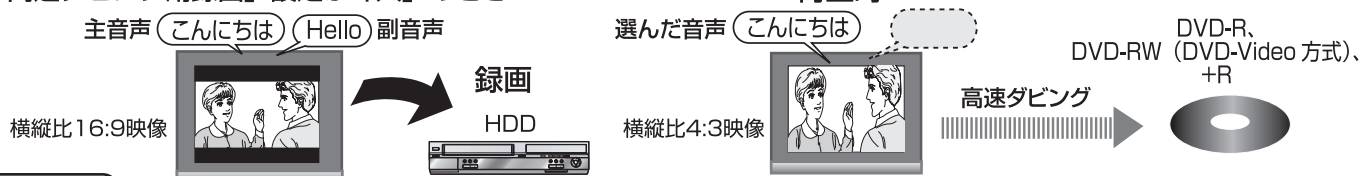
主音声 こんにちは Hello 副音声

横縦比16:9映像

選んだ音声 こんにちは

横縦比4:3映像

高速ダビング

DVD-R、DVD-RW（DVD-Video 方式)、+R

お知らせ

●HDD、DVD-RAM 間のダビングは「高速ダビング用録画」の設定の入 / 切にかかわらず高速でダビングできます。

大事なお知らせ

カセットについて

■品質のよいカセットを使う

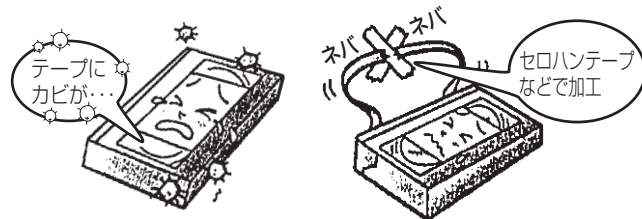
お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

●品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画·再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。

●品質の悪いカセット(テープ)の例
- ·水などの液体やほこり、カビなどが付いている
- ·テープが波打ったりクシャクシャになっている
- ·テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
- ·テープがたるんでいる

●このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。

●このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜105)でビデオヘッドをクリーニングしてください。
それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。

●湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

●このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

●新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

●このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない
- ·ほこりの多いところ
- ·高温になるところ(推奨温度:15 ℃～25 ℃)
- ·温度差が激しいところ
- ·湿度の高いところ(推奨湿度:40 %～60 %)
- ·湯気や油煙の出るところ
- ·冷暖房機器に近いところ
- ·自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

●強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

「露付き」について

「露付き」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「露付き」といいます。

●本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「露付き」が発生し、ヘッドなどを傷付ける可能性があります。

●「露付き」が起こりやすいとき
- ·梅雨の時期
- ·本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
- ·寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
- ·本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
- ·湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

●「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

前面パネルについて

●本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

●映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。
●特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)
●本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
●**他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

■汚れがひどいとき

●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
●キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

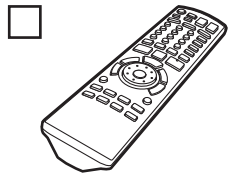
■録画/再生用レンズが汚れたとき

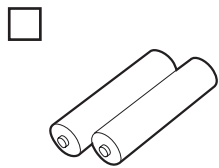
長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(➜105)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

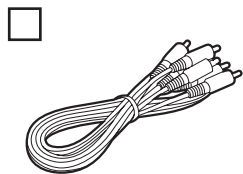
付属品

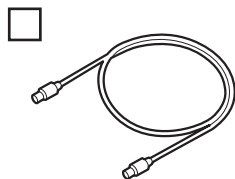
付属品をご確認ください。

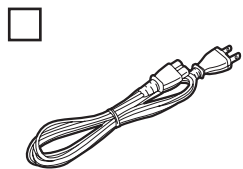
●品番は、2005年3月現在のものです。変更されることがあります。
●付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。
（以下に品番を記載しているもののみ）

□

リモコン★
(➜右記,右ページ)
EUR7729KL0

□

リモコン用乾電池（2本）
(➜右記)
単3形乾電池（R6P）

□

映像・音声コード★
(➜17)
K2KA6BA00003

□

75Ω同軸ケーブル★
(➜17)
K2KZ2BA00001

□

電源コード★
(➜17)
K2CA2DA00009

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

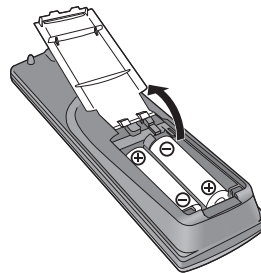
パナセンスカスタマーセンター

Pana Sense

TEL　06-6907-9144

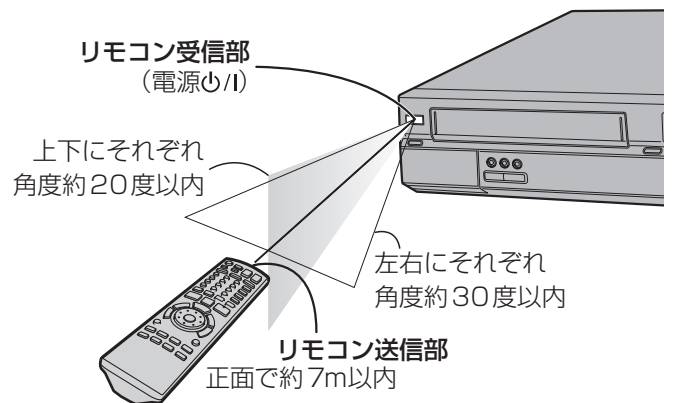
http://www.sense.panasonic.co.jp/

■リモコンに乾電池を入れる

ふたを開け、単3形乾電池(付属)を入れる

●⊕⊖を確認してください。
●入れたあとは、ふたを元どおり閉じてください。

（お知らせ）

●操作できる範囲(**➜下記**)が狭くなってきたり、操作できなくなったときは、電池を交換してください。
（使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です）
●電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(**➜34**)、リモコンモード(**➜34**)を合わせ直してください。
●充電式電池(ニッケルカドミウム Ni-Cd など)は使わないでください。
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
●1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

■リモコンの使用範囲

（ただし、操作できる範囲は周囲の明るさで変わります）

（お知らせ）

●本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
●本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

■長期間使用しないとき

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

待機中の消費電力

クイックスタート「入」
時刻表示点灯時　約10.0 W
時刻表示消灯時　約9.0 W※

クイックスタート「切」
時刻表示点灯時　約4.0 W
時刻表示消灯時　約1.3 W※

※**初期設定**の「FLディマー」を「オート」に設定した場合(**➜67**)

クイックスタート(➜65)とは

電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになる設定です。(お買い上げ時は「入」に設定されています)
●電源を入れてから約1秒で、HDD、DVD-RAMへの録画を開始することができます。(**➜45**)
そのほかの操作や、HDD、DVD-RAM以外のディスクへの録画開始は、電源を入れてから数十秒かかります。
●**[番組表]ボタン**を押して約1秒後に、番組表(Gガイド)を表示します。[番組表(Gガイド)は、お買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。(**詳しくは➜26,28**)]

各部のはたらき

リモコン(本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています)

■操作先切換ボタンⒶ

操作する対象(HDD、DVD、SDまたはVHS)に合わせて、リモコンと本機の操作モードを切り換えます。
本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。(電源「切」時でも、切り換えられます。ただし、切り換えた場合は電源「入」になります)

HDDの操作をする前には

●[HDD]ボタンを押して、必ず本体の[HDD]ランプを点灯させてください。

DVDの操作をする前には

●[DVD]ボタンを押して、必ず本体の[DVD]ランプを点灯させてください。

SDの操作をする前には

●[SD]ボタンを押して、必ず本体の[SD]ランプを点灯させてください。

VHSの操作をする前には

●[VHS]ボタンを押して、必ず本体の[VHS]ランプを点灯させてください。

1 HDD DVD SD VHS :
電源を切/入する ....(➜25,49,51,52,73,75)

2 HDD DVD VHS :
チャンネルの数字やGコード
予約などの番号を入力する........... (➜26,45,50,71,74)
DVD SD :曲番などの数字を直接入力する... (➜36,37,41,42)

3 HDD DVD SD VHS :
入力した数値などを取り消す... (➜26,31,50,54,74,76)

4 HDD DVD SD VHS :
再生や録画時の基本操作 .... (➜36,45,68,71)

5 マルチジョグ(はたらきは➜左記)

6 HDD DVD SD :録画した番組や記録した写真などを
探す/編集する .... (➜36,42,47,56,60)
DVD :ディスクメニューを表示する................... (➜36,41)

7 HDD DVD :時間を指定して飛び越す/
子画面でテレビを見る .... (➜38,47)
VHS :高速で巻き戻す .... (➜68)

8 HDD DVD SD :
サブメニューを表示する .... (➜43,49,56,59,60)

9 HDD DVD SD VHS :
マニュアルダビングする... (➜83,87,90,93,96,99,102)

10 HDD DVD SD VHS :操作の状態を表示する... (➜39,43,70)

11 HDD DVD VHS :予約録画時の基本操作 .... (➜48,73)

12 テレビ :テレビを操作する .... (➜34)

13 HDD DVD :ディスクの再生方法を設定する .... (➜40)

14 VHS :トラッキングや垂直同期を調整する .... (➜69)

15 VHS :予約録画の終了時刻を延長する .... (➜76)

16 HDD DVD VHS :Gコード予約する .... (➜50,74)

17 HDD DVD :約30秒先へ飛び越す .... (➜38)
VHS :CMをとばして再生·録画する.................. (➜69,72)

18 HDD DVD VHS :番組表(Gガイド)を表示する ..... (➜48,73)

19 HDD DVD SD :機能選択画面を表示する .... (➜25,65)
VHS :メニュー画面を表示する .... (➜79)

20 HDD DVD SD VHS :
1つ前のメニュー画面に戻る .... (➜25,41,65,79)
ダビングを途中でやめる... (➜82,86,89,92,95,98,103)

21 HDD DVD SD :入力する文字やダビングする
種類を選ぶ .... (➜64,83,87,96,99)
HDD DVD VHS :番組表(Gガイド)を操作する .... (➜49)

22 HDD DVD VHS :音声を切り換える...................... (➜39,70)

23 HDD DVD :録画した番組を複数の場面に区切る .... (➜38)

24 HDD DVD SD :不要な番組や写真などを
消去する .... (➜38,43)
VHS :テープカウンターをリセットする .... (➜70)

マルチジョグのはたらき

※1 回すときはあまり強く押さないでください。強く押すと誤動作の原因になります。

● HDD DVD SD VHS
メニュー画面での選択/決定:
選択: 上下左右([∧][∨][◀][▶])を押す
(左右に回して選ぶこともできます)
決定: (決定) を押す

● HDD DVD SD VHS
チャンネル切り換え:(放送受信画面表示中)
上下(チャンネル[∧][∨])を押す

● HDD DVD VHS
コマ送り/コマ戻し :(一時停止中)左右([◀II][II▶])を押す
[VHS はコマ送り([II▶])のみ]

● HDD DVD VHS
早送り/早戻し :(再生中)右(送り)または左(戻し)に回す※2

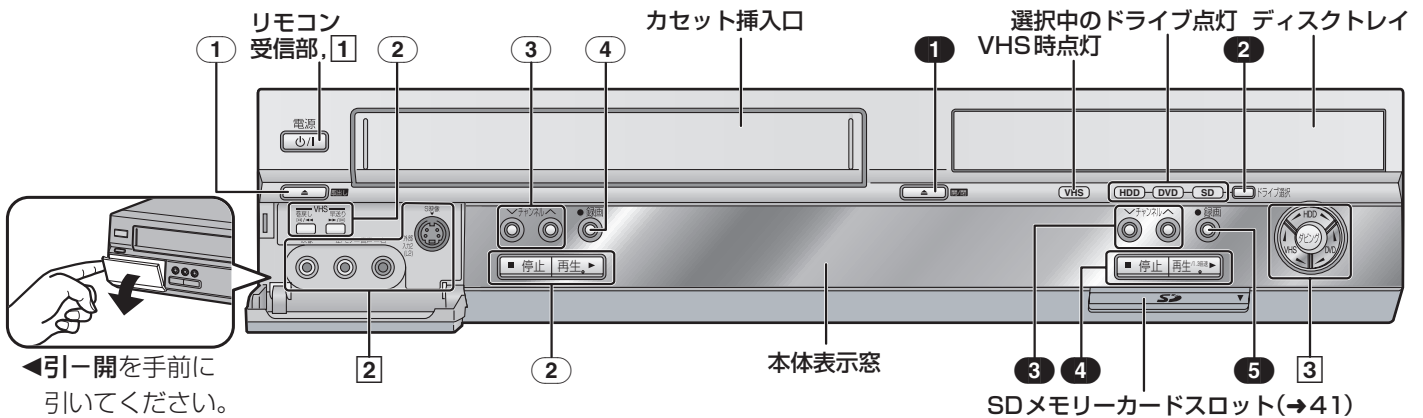
● HDD DVD VHS
スロー再生 :(一時停止中)右(送り)または左(戻し)に回す※2

※2 1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。

お知らせ

●[録画●]ボタンと[タイマー切/入⏲]ボタンは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。
●本書では、ボタン名を[再生▶]などで示し、"ボタン"を省略しています。
●リモコンでのテレビの操作は、テレビメーカーの設定(➜34)後に行えるようになります。

各部のはたらき(つづき)

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

□HDD/DVD/SD/VHS共通部

[1] **電源を切/入する**……(➔25,49,51,52,73,75)

> 節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。この時間は変更できます。(**➔65**)

[2] **外部機器などを接続する**……(➔104)
[3] **ワンタッチダビングする**……(➔82,86,89,92,95,98)

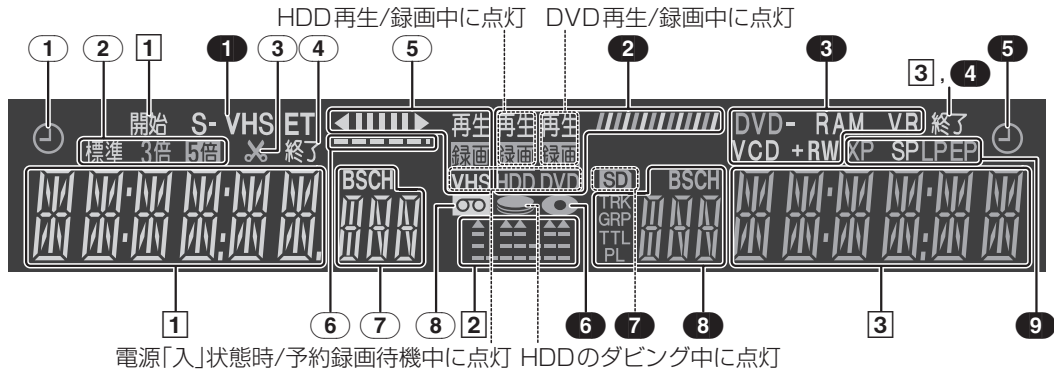
> 電源「入」時、ボタンの周りが青く点灯します。**初期設定**の「FLディマー」を「常時 暗」または「オート」に設定すると、消灯します。(**➔67**)

○VHS操作部

① **カセットを取り出す**……(➔68)
② **再生時の基本操作**……(➔68)
③ **チャンネルを切り換える**……(➔71)
④ **録画する/録画終了時刻を指定する**……(➔71,72,104)

●HDD/DVD/SD操作部

❶ **ディスクトレイを開閉する**……(➔36,45)
❷ **操作先(HDD、DVDまたはSD)を切り換える**……(➔25,36,45,60)
●ボタンを押すごとに切り換わり、選択されているドライブ表示が点灯します。
❸ **チャンネルを切り換える**……(➔26,45)
❹ **再生時の基本操作**……(➔36)
❺ **録画する/録画終了時刻を指定する**……(➔45,104)

本体表示窓

□ HDD/DVD/SD/VHS共通

[1] **メイン表示部**
●時刻 ●VHS再生・録画経過時間 ●テープ残量
●予約録画開始の日付/時刻 ● 各種メッセージ…など。
[2] **ダビング時**……(➔82～101)
[3] **メイン表示部**
●HDD/DVD再生・録画経過時間 ●HDD/ディスク残量
●予約録画終了時刻 ●各種メッセージ…など。

○VHS操作時

① **予約録画の待機中、実行中**……(➔73～76)
② **録画モード**……(➔71,73,88,101,104)
③ **CMカット録画時**……(➔72)
④ **録画終了時刻を指定したとき**……(➔72)
⑤ **テープ動作状態**

⑥ **テープ残量**……(➔70,71)
⑦ **チャンネル番号**……(➔71)
●現在の受信チャンネルを表示。
⑧ **カセットが入っているとき**
●カセットが入っていないときに、録画・予約録画などの操作をすると点滅。
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。

●HDD/DVD/SD操作時

❶ **S-VHSダビングの実行中**……(➔91)
❷ **ディスク動作状態**

例)DVD-RAM
再生中　録画中　録画/再生中
バーが繰り返し移動します※

❸ **ディスクの種類**
●MP3ディスクのときは、[3]メイン表示部に"MP3"と表示。
●写真が記録されたディスクのときは、[3]メイン表示部に"JPEG"と表示。
❹ **録画終了時刻を指定したとき**……(➔45)
❺ **予約録画の待機中、実行中**……(➔49～54)
❻ **ディスクが入っているとき**
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。
❼ **SDメモリーカードが入っているとき**
●[3]メイン表示部に"SDCARD"と表示。
❽ **チャンネル番号**……(➔45)
●現在の受信チャンネル、およびHDD/DVD/VHSの予約録画チャンネルを表示。
番組や曲の番号と表示モード
TRK:トラック　GRP:グループ
TTL :タイトル　PL :プレイリスト
❾ **録画モード**……(➔44,45,48,94,104)
全点灯:FR(フレキシブルレコーディングモード)

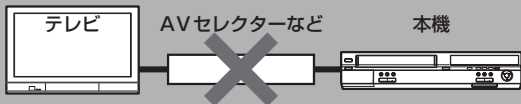
※再生や早送りなど、動作によってバーの移動速度などが変わります。

<準備 1>接続する

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

■BSアンテナ、テレビと接続するには(➜19)
■DVDの映像をより高画質で楽しむには(➜21)
■地上デジタル・BS・CSデジタルチューナーと接続するには(➜20)
■ビデオ(BSチューナー内蔵)と接続するには(➜20)
■CATVホームターミナルと接続するには(➜23)

地上デジタル・BS・CS放送
衛星アンテナ(BS、110度CSアンテナ)
UHFアンテナ
テレビ(別売) または 地上デジタル・BS・CSデジタルチューナー内蔵テレビ(別売)
地上アナログ放送
VHF UHF ❸ 75Ω同軸ケーブル(付属)
❾ 電源コード(付属)
VHF/UHF混合アンテナ
ビデオ入力2 ビデオ入力1 S映像コード(別売)
映像・音声コード(付属)
モニター出力 ❻
❺
アンテナ線 または ご家庭のアンテナ端子など
❽ AC入力~
❶ ❷ ❹ ❼
外部コントロール/G-LINK(➜18)
内部冷却用ファン
映像・音声コード(別売)

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
AVセレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。

準備
- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- 接続は乾いた手で行ってください。
- 各機器の説明書もご覧ください。

1 アンテナ線を、
本機の❶VHF/UHF入力端子に接続する
- テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線が接続されている場合は、外して本機に接続し直します。

2 75Ω同軸ケーブル(付属)を、
本機の❷VHF/UHF出力端子とテレビの❸VHF/UHFアンテナ入力端子に接続する

3 映像・音声コード(付属)を、
本機の❹DVD/VHS共用出力(映像・音声)端子とテレビの❺ビデオ入力1(映像・音声)端子に接続する
- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ←→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。
- S映像コード(別売)をお手持ちの場合は、S映像コード(別売)を接続すると、映像をより高画質でお楽しみいただくことができます。
S映像コード(別売)をお使いになるときは、本機の❹DVD/VHS共用出力(S1/S2映像)端子とテレビの❺ビデオ入力1(S映像)端子に接続してください。

4 ◆接続するテレビが地上デジタル・BS・CSチューナー内蔵の場合のみ
映像・音声コード(別売)を、
テレビの❻モニター出力(映像・音声)端子と本機の❼外部入力1(L1)[または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力]端子に接続する
- 外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。(➜67)

5 電源コード(付属)を、
本機の❽AC入力ソケットとご家庭の❾電源コンセントに接続する
テレビに本機の画面を出してみて、正しく接続できているか確かめてください。(➜25)

(つづく➜次ページ)

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する（つづき）

お知らせ

- 後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。
- 接続したテレビの設定と本機の設定との組み合わせによっては、画像や音声がハウリング（画面が白くなったり、「ブー」などの音）を起こすことがあります。ハウリングが起きた場合、テレビ側で「ビデオ１」のモニター出力を停止させる設定（例：モニター出力停止設定）をしてください。詳しくはテレビの説明書をお読みください。
- 本機のBS-IF入力･BS-IF出力は、110度CSデジタル放送には対応していません。

デジタル放送を録画するときは、HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RWや＋Rには録画できません。**（詳しくは➜6）**

■テレビから外したアンテナ線が本機のVHF/UHF入力端子と合わないとき

- 別売の部品や加工が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

■テレビにビデオ入力（映像･音声）端子がないとき

- 本機と接続することはできません。

■アンテナ線のVHF/UHFとBSがひとつになっているとき

- CS･BS/U･V分波器（別売）を接続し、本機にはVHF/UHF出力からの線とBS出力からの線を接続してください。

時刻表示を確かめる

電源コンセントに接続したあと、

本体表示窓の現在時刻が合っているか、確かめる

- 間違っていたら、合わせ直してください。**（➜35）**

お知らせ

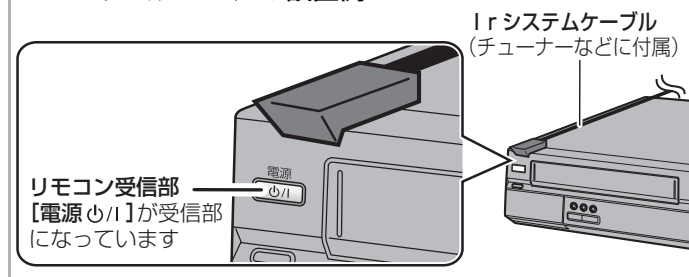
- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
- 自動バックアップ機能**（➜下記）**で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
  ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。**（➜35）**
  ･誤差が2分以上あるとき
  ･時刻表示が“0：00”で点滅しているとき

自動バックアップ機能について

- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。**（➜35）**

Ir（アイアール）システムケーブルを設置する

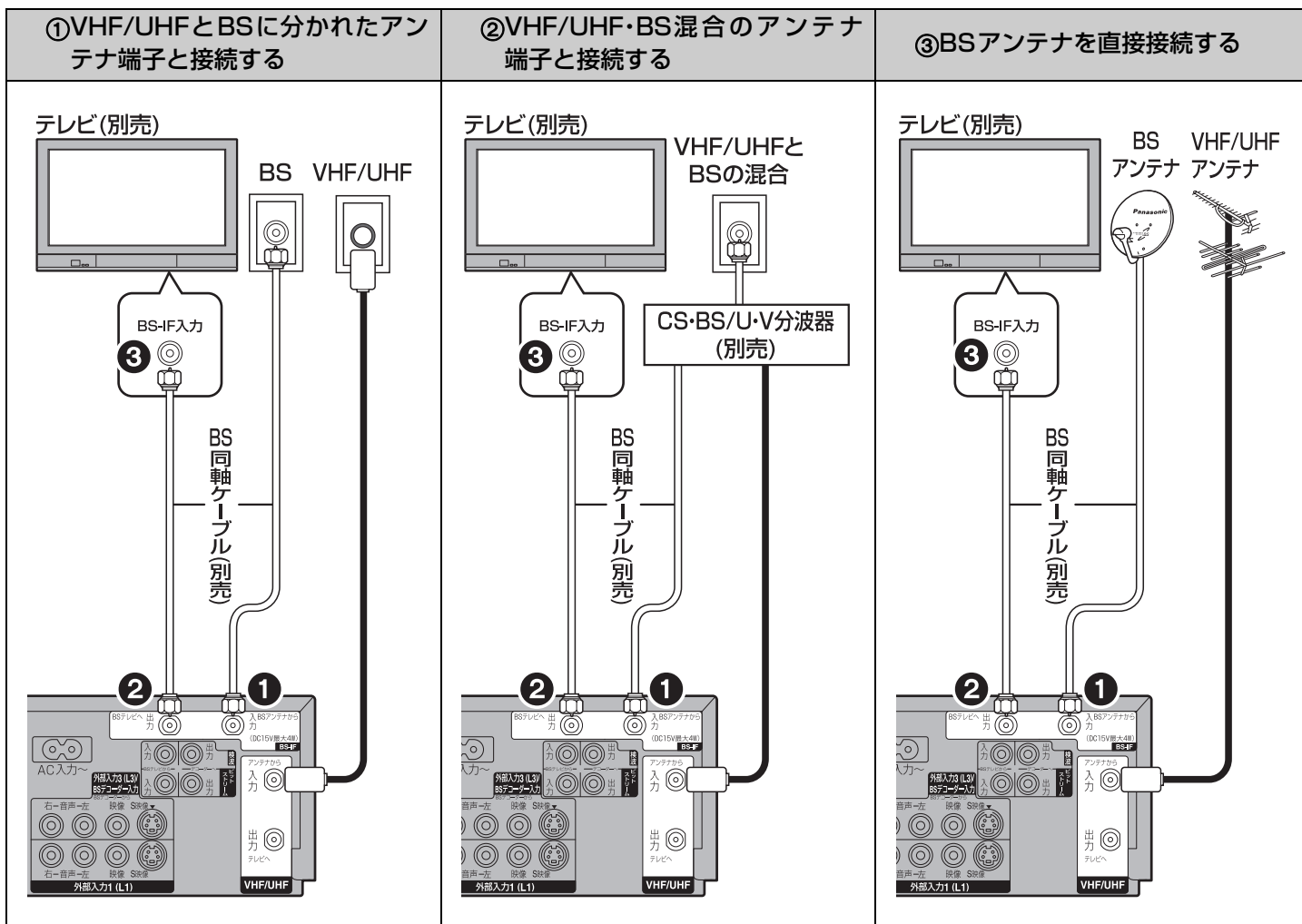
本機は、当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステム**（➜113）**に対応しています。（チューナーなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応していることをご確認ください）
Irシステムの設置･設定･操作方法は、チューナーなどの説明書をご覧ください。

Irシステムケーブルの設置例

外部コントロール

ブロードバンドレシーバー（別売）**（➜105）**を接続すると、外出先からHDDまたはDVDへのみパソコンや携帯電話で予約録画できます。（インターネットの常時接続環境が必要です）
詳しくはサポートページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bbr/
接続･操作方法はブロードバンドレシーバーの説明書をご覧ください。

G-LINK（Gガイドのユーザー調査用端子）

お客様の任意で同意された方のみ、調査用機器を接続することがあります。（Gガイドのユーザー調査については、当社では一切関知いたしません）

BSアンテナ、テレビと接続する

①VHF/UHFとBSに分かれたアンテナ端子と接続する	②VHF/UHF・BS混合のアンテナ端子と接続する	③BSアンテナを直接接続する
テレビ(別売) BS VHF/UHF BS-IF入力 ❸ BS同軸ケーブル(別売) ❷ ❶	テレビ(別売) VHF/UHFとBSの混合 BS-IF入力 ❸ CS・BS/U・V分波器(別売) BS同軸ケーブル(別売) ❷ ❶	テレビ(別売) BSアンテナ VHF/UHFアンテナ BS-IF入力 ❸ BS同軸ケーブル(別売) ❷ ❶

準備
- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- 接続は乾いた手で行ってください。
- 各機器の説明書もご覧ください。

1 BS同軸ケーブル(別売)を、
本機の❶BS-IF入力端子に接続する

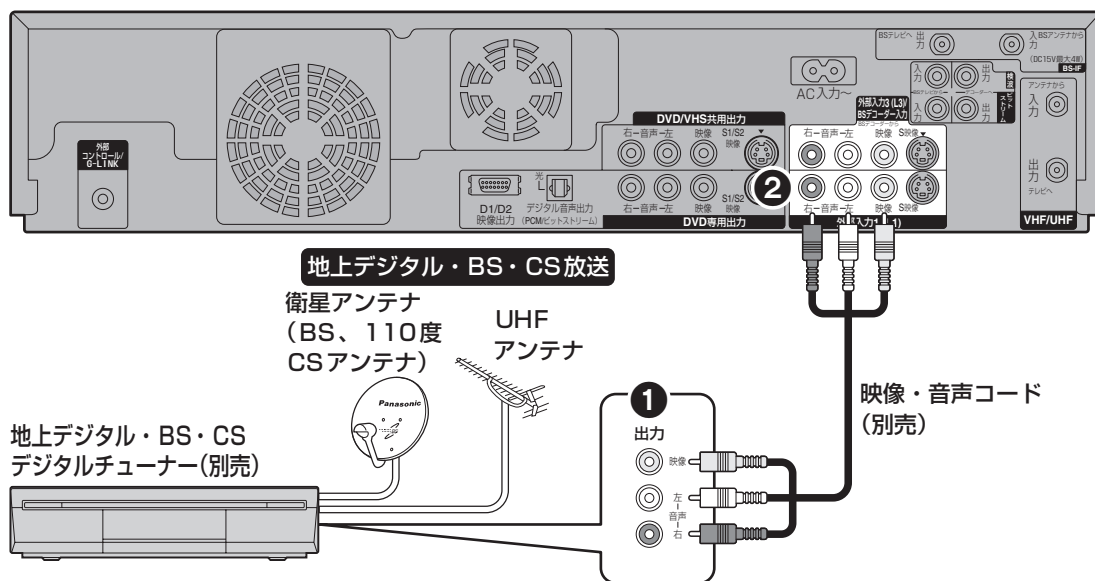
2 ◆ 接続するテレビがBS(アナログ)チューナー内蔵の場合のみ
BS同軸ケーブル(別売)を、
本機の❷BS-IF出力端子とテレビの❸BS-IFアンテナ入力端子に接続する

3 **17ページ手順3～5を行う**

お知らせ
- 本機は高感度BS(アナログ)チューナーを内蔵しており、多少の悪天候でもきれいな映像をお楽しみいただけます。
- 雷雨や豪雨のときや、アンテナに雪が付いたときなどは、一時的に映像や音声にノイズが出たり、ひどいときにはまったく受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、BSアンテナや本機の故障ではありません。
- BS放送は、放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が中断されるときがあります。

■BSアンテナを接続して電源を入れると、"U50"が表示されたとき

- BSアンテナ線などのショートが考えられます。本機後面のBS-IF入力端子に接続しているBSアンテナ線がショートしていないことを確かめ、正しく接続し直してください。
- 接栓付きBSアンテナ線を接続してください。
- BSアンテナ線以外のものは接続しないでください。

地上デジタル･BS･CSデジタルチューナーと接続する

準備
- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チューナーに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- 接続は乾いた手で行ってください。
- 各機器の説明書もご覧ください。

1 17ページ手順 1 〜 3 を行う

2 映像･音声コード（別売）を、
チューナーの❶出力（映像･音声）端子と本機の❷外部入力1（L1）［または外部入力3（L3）/BSデコーダー入力］端子に接続する
- 外部入力3（L3）/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。（➜67）

3 17ページ手順 5 を行う

■ビデオ（BSチューナー内蔵）と接続する場合は

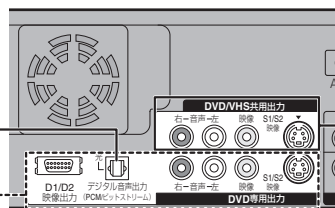
上記手順 2 で、
映像･音声コード（別売）を、
ビデオの❶出力（映像･音声）端子と本機の❷外部入力1（L1）［または外部入力3（L3）/BSデコーダー入力］端子に接続する
- 外部入力3（L3）/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。（➜67）

お知らせ
- 地上デジタルやBS、CS放送をご覧になるには、それぞれ対応したチューナー（別売）が必要です。また、有料の場合はそれぞれの放送会社との受信契約が必要な場合があります。（詳しくは、それぞれの放送会社にご相談ください）
- 110度CSデジタル放送をお楽しみいただく場合は、販売店にご相談ください。
- 本機のBS-IF入力･BS-IF出力は、110度CSデジタル放送には対応していません。

DVDの映像をより高画質で楽しむ

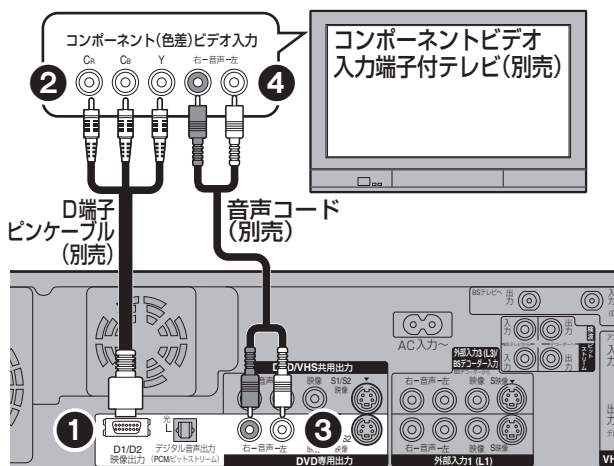
■DVD/VHS共用出力端子とDVD専用出力端子について

DVDとVHSの両方を出力する共用出力端子と、DVDのみを出力する専用出力端子があります。

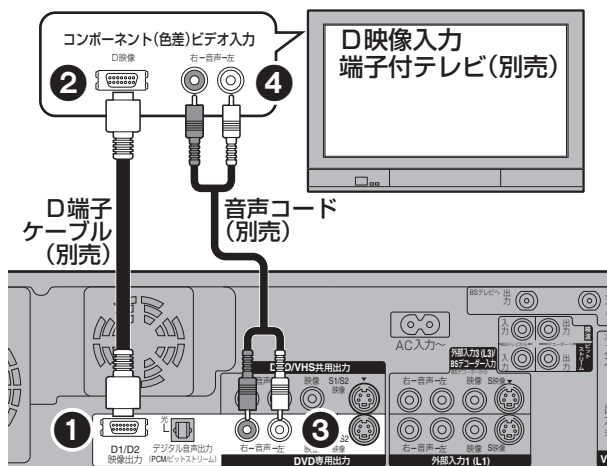
DVD専用出力端子：
DVD側の映像をより高画質で楽しむための専用端子です。
DVD専用出力端子に接続したコードは、テレビのビデオ入力2端子またはコンポーネント（色差）ビデオ入力端子に接続してください。

準備
- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- 接続は乾いた手で行ってください。
- 各機器の説明書もご覧ください。

D映像入力端子を利用する場合（プログレッシブ出力）

テレビにコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子があるときは、D端子ピンケーブル（別売）またはD端子ケーブル（別売）を接続をすると、DVDの映像をプログレッシブ出力（➜112）することができます。S映像よりさらに高画質で再生します。

■コンポーネントビデオ入力端子付テレビと接続する場合

1 17ページ手順 1 〜 4 を行う
2 D端子ピンケーブル（別売）を、本機の❶D1/D2映像出力端子とテレビの❷コンポーネント（色差）ビデオ入力（Y/CB/CRなど）端子に接続する
- コンポーネント（色差）ビデオ入力端子の表示が上図と異なるとき（Y/B-Y/R-Yなど）は、同じ色の端子どうしを接続してください。

3 音声コード（別売）を、本機の❸DVD専用出力（音声）端子とテレビの❹コンポーネント（色差）ビデオ入力（音声）端子に接続する
4 17ページ手順 5 を行う

■D映像入力端子付テレビと接続する場合

1 17ページ手順 1 〜 4 を行う
2 D端子ケーブル（別売）を、本機の❶D1/D2映像出力端子とテレビの❷コンポーネント（色差）ビデオ入力（D映像）端子に接続する
3 音声コード（別売）を、本機の❸DVD専用出力（音声）端子とテレビの❹コンポーネント（色差）ビデオ入力（音声）端子に接続する
4 17ページ手順 5 を行う

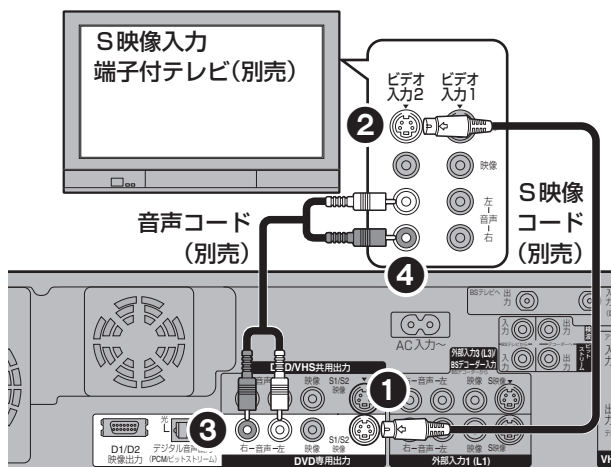
この接続をした場合、DVD（HDD）とVHSそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。
■VHSの映像をご覧いただくには…➡ テレビの入力で「ビデオ1」に切り換える
■DVD（HDD）の映像ご覧いただくには…➡ テレビの入力で「色差ビデオ」に切り換える

お知らせ
- **初期設定**の「接続するTV」をテレビに合わせて変更してください。**（➜33）**
- D端子ピンケーブルで接続する場合に、映像が乱れたり、映らないことがありますので、テレビが以下のような端子のときは接続しないでください。
  ・DVDに対応していないハイビジョン方式専用の端子
  ・DVDのマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していない525P端子
  ・ビデオカセットレコーダーのビデオ入力端子
- D映像入力端子付テレビがD1映像入力のみ対応している端子のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできません。（インターレース映像のみの出力となります）

■VHSの映像をプログレッシブ出力するとき（➜68）

＜準備 1＞接続する(つづき)

S映像入力端子を利用する場合

テレビにS映像入力端子があるときは、S映像コード(別売)を接続すると、従来の映像端子を使うよりも高画質でお楽しみいただけます。(プログレッシブ出力にはなりません)

1 17ページ手順 1 ～ 4 を行う
2 S映像コード(別売)を、本機の❶DVD専用出力(S1/S2映像)端子とテレビの❷ビデオ入力2(S映像)端子に接続する
3 音声コード(別売)を、本機の❸DVD専用出力(音声)端子とテレビの❹ビデオ入力2(音声)端子に接続する
4 17ページ手順 5 を行う

この接続をした場合、DVD(HDD)とVHSそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

■VHSの映像をご覧いただくには…
➡テレビの入力で「ビデオ１」に切り換える

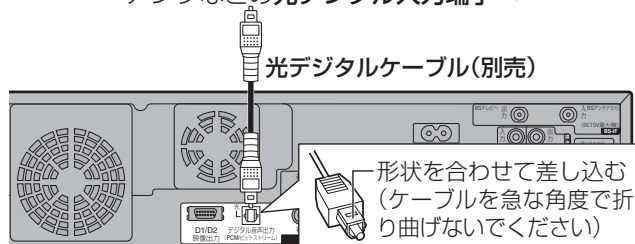
■DVD(HDD)の映像ご覧いただくには…
➡テレビの入力で「ビデオ2」に切り換える

お知らせ

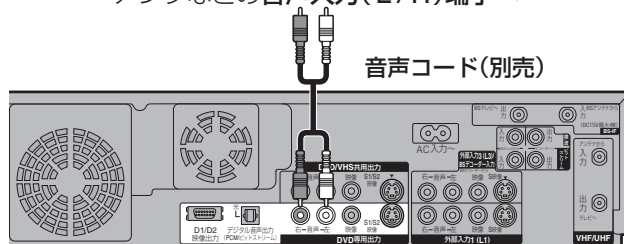
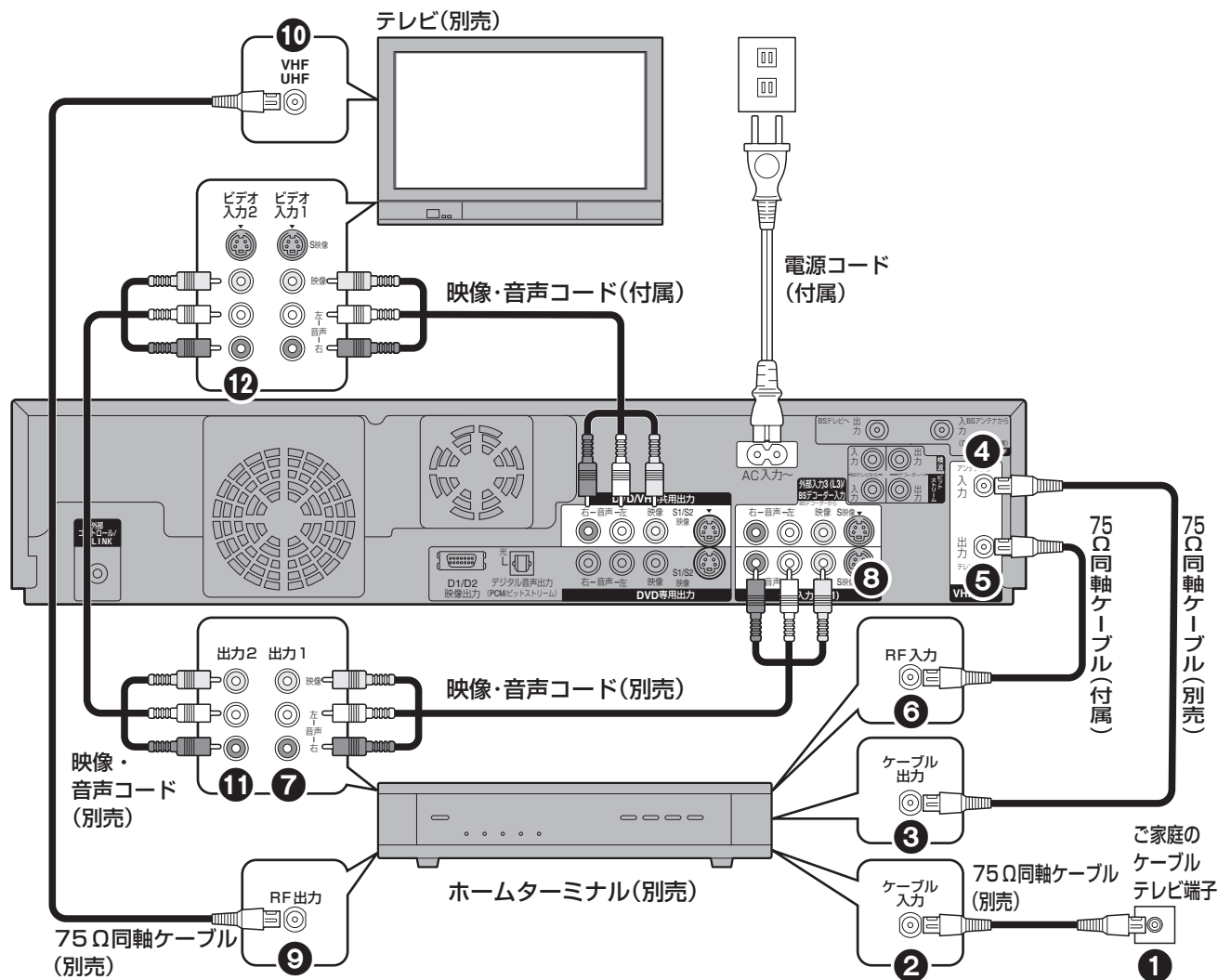
●S映像入力端子が複数ある場合は、**初期設定**の「ワイドモード」を端子に合わせて変更してください。**(➜65)**
(テレビ側で切り換えが必要な場合もあります)

DVDをより迫力のある音声で楽しむ

アンプの光デジタル入力に接続する

DVDビデオのマルチチャンネル音声が楽しめます。

お知らせ

●**初期設定**「デジタル出力」を接続する機器に合わせて設定してください。**(➜67)**
●光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ接続される機器の端子形状をご確認ください。
●DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
●DVDオーディオの場合は、2チャンネルで出力されます。

アンプの音声入力に接続する

CATVホームターミナル、テレビと接続する

準備
- ●各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●テレビ、ホームターミナルに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- ●接続は乾いた手で行ってください。
- ●各機器の説明書もご覧ください。

1 75Ω同軸ケーブル(別売)を、
ご家庭の❶ケーブルテレビ端子とホームターミナルの❷ケーブル入力端子に接続する

2 75Ω同軸ケーブル(別売)を、
ホームターミナルの❸ケーブル出力端子と本機の❹VHF/UHF入力端子に接続する

3 75Ω同軸ケーブル(付属)を、
本機の❺VHF/UHF出力端子とホームターミナルの❻RF入力端子に接続する

●ホームターミナルにRF入力、RF出力端子がないときは、直接テレビの❿VHF/UHFアンテナ入力端子に接続してください。この場合、手順5は必要ありません。

4 映像・音声コード(別売)を、
ホームターミナルの❼出力1(映像・音声)端子と本機の❽外部入力1(L1)[または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力]端子に接続する

●外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。(➜67)

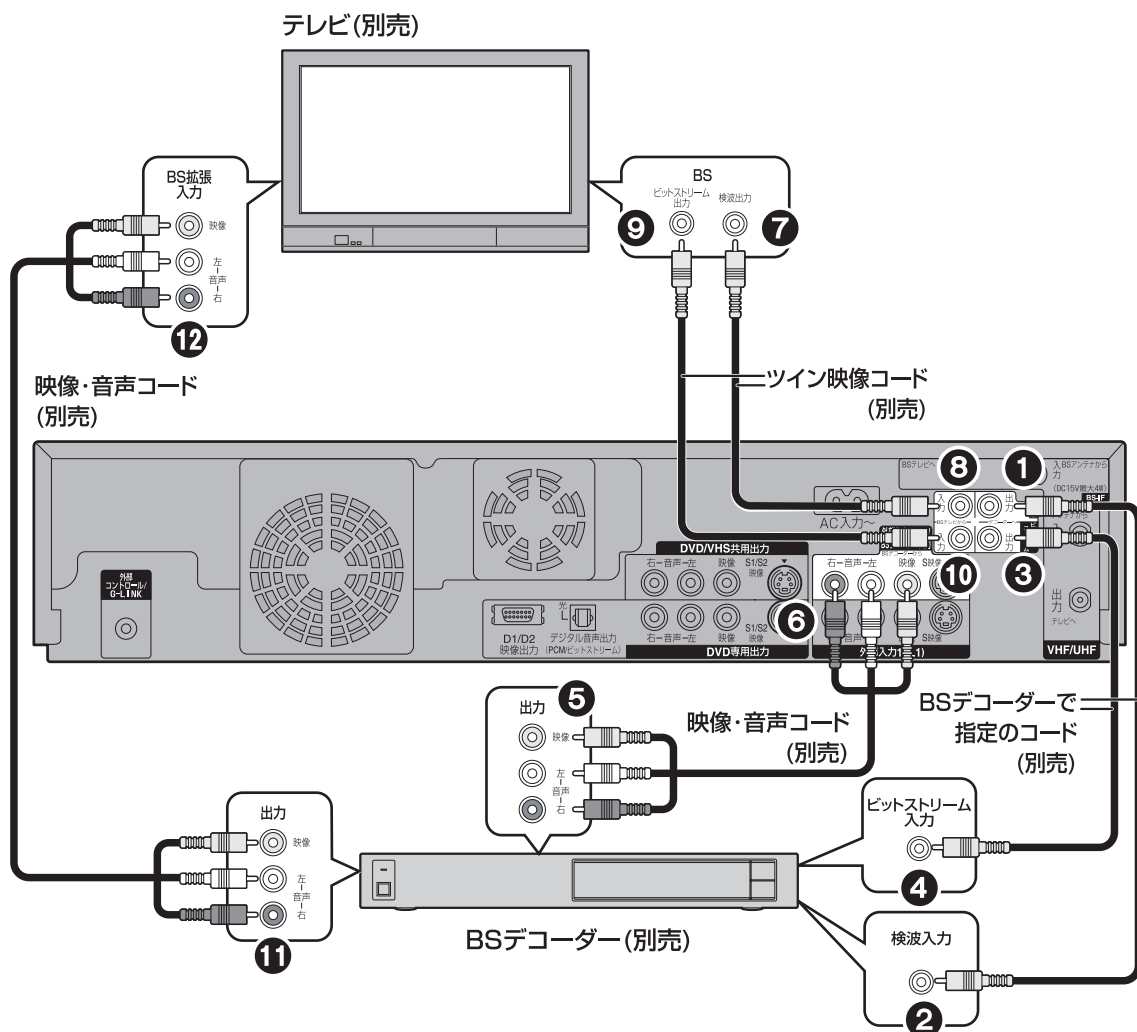
5 75Ω同軸ケーブル(別売)を、
ホームターミナルの❾RF出力端子とテレビの❿VHF/UHFアンテナ入力端子に接続する

6 映像・音声コード(別売)を、
ホームターミナルの⓫出力2(映像・音声)端子とテレビの⓬ビデオ入力2(映像・音声)端子に接続する

7 17ページ手順3、5を行う

お知らせ
- ●CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- ●CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
- ●コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- ●CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- ●マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。(➜30)特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- ●ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

<準備 1>接続する(つづき)

BS(アナログ)デコーダーと接続する [WOWOW(アナログ)を見るとき]

準備
- ●各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●テレビ、BSデコーダーに接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
- ●接続は乾いた手で行ってください。
- ●各機器の説明書もご覧ください。

1 17ページ手順1～2を行う

2 19ページ手順1～2を行う

3 BSデコーダーで指定のコード(別売)を、
本機の❶検波出力端子とBSデコーダーの❷検波入力端子に接続する

4 BSデコーダーで指定のコード(別売)を、
本機の❸ビットストリーム出力端子とBSデコーダーの❹ビットストリーム入力端子に接続する

5 映像・音声コード(別売)を、
BSデコーダーの❺出力(映像・音声)端子と本機の❻外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続する
- ●**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「BSデコーダー」に設定してください。(お買い上げ時の設定は「BSデコーダー」です)(➜67)

◆接続するテレビがBS(アナログ)チューナー内蔵の場合のみ

6 ツイン映像コード(別売)を、
テレビの❼検波出力端子と本機の❽検波入力端子に接続する

7 ツイン映像コード(別売)を、
テレビの❾ビットストリーム出力端子と本機の❿ビットストリーム入力端子に接続する

8 映像・音声コード(別売)を、
BSデコーダーの⓫出力(映像・音声)端子とテレビの⓬BS拡張入力(映像・音声)端子に接続する

9 17ページ手順3～5を行う

お知らせ
- ●WOWOWをご覧になるには、株式会社WOWOWとの受信契約と、スクランブルを解除するためのBSデコーダー(別売)が必要です。

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
HDDやDVD、SD、VHSの映像や画像を見るときも、下記の操作を行ってください。

1 テレビの入力をビデオ入力にする

入力を数回押す

テレビ画面　ビデオ1

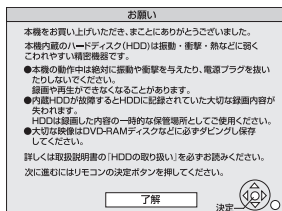
●例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは、**「ビデオ1」**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

●**[入力]**を押してもテレビの入力が切り換わらないときは、本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定するか、テレビに付属のリモコンで操作してください。**(➜34)**

2 電源を入れる

を押す

◆内蔵HDDについてのお知らせ画面が表示されたとき

●お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、下のような画面が表示されます。

※チャンネル設定をしない場合や、チャンネル設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、電源を入れるたびにこの画面が表示されます。

お願い

本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本機内蔵のハードディスク(HDD)は振動・衝撃・熱などに弱くこわれやすい精密機器です。
●本機の動作中は絶対に振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。
録画や再生ができなくなることがあります。
●内蔵HDDが故障するとHDDに記録されていた大切な録画内容が失われます。
HDDは録画した内容の一時的な保管場所としてご使用ください。
●大切な映像はDVD-RAMディスクなどに必ずダビングし保存してください。
詳しくは取扱説明書の『HDDの取り扱い』を必ずお読みください。
次に進むにはリモコンの決定ボタンを押してください。
了解　決定

●右のような画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。
(➜17～24)

➜ **1 [決定]を押す**

●内容をご了解のうえ、押してください。設置時の設定画面が表示されます。

2 「設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す

設置時の設定

チャンネル設定を行います。
アンテナ線を接続し、"設定"を選んで、"市外局番チャンネル設定"を実行してください。
設定　キャンセル
決定

●チャンネル設定をしてください。**(➜26手順4へ)**

本機HDD/DVD/SDの映像が出るか確かめる

チャンネル設定後に接続し直したときなどは、下記の操作を行って、テレビに本機の画面が映るか確かめてください。

●左記手順1～2のあとに操作します。

3 **またはSDのいずれかを押す(➜15)**

4 本機の画面が映っているか確かめる

機能選択/VHSメニューを押す

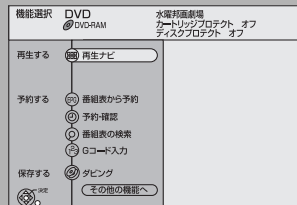
●右のような機能選択画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。

例)手順3で[HDD]を押したとき

●またはDVDビデオソフトなどを再生してみてください。**(➜36)**

●本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。**(➜17～24)**

機能選択画面について(HDD/DVD/SDのみ)

[HDD]、[DVD]または[SD]を押して、**[機能選択/VHSメニュー]**を押すと、右のような画面がテレビに表示されます。
ディスクの種類に応じて、使える機能をこの画面から選ぶことができます。

例)[DVD]DVD-RAMがディスクトレイにあるとき

●**[∧][∨]**で項目を選び、**[決定]**で実行します。
「その他の機能へ」を選んだときは、さらに**[∧][∨]**で項目を選び、**[決定]**で実行します。「戻る」を選び**[決定]**を押すと、「その他の機能へ」を選んだ前の画面に戻ります。

●機能の詳細はそれぞれのページをお読みください。

再生ナビ(➜36,56)	番組表から予約(➜48,73)
予約・確認(➜53)	番組表の検索(➜49)
Gコード入力(➜50)	ダビング(➜80～103)
プレイリスト編集(➜58,59)	ぴったり録画(➜46)
初期設定(➜65～67)	ディスク管理(➜62)

●"プロテクトを設定している"など、条件によって選べない項目は灰色で表示されます。

■**機能選択画面を消す➡** [リターン/戻る]を押す

本機VHSの映像が出るか確かめる

●左記手順1～2のあとに操作します。

3 **を押す(➜15)**

4 本機の画面が映っているか確かめる

VHSの再生をしてみる(➜68)

こんなときは…

■**再生すると、映像も音声も出ない**

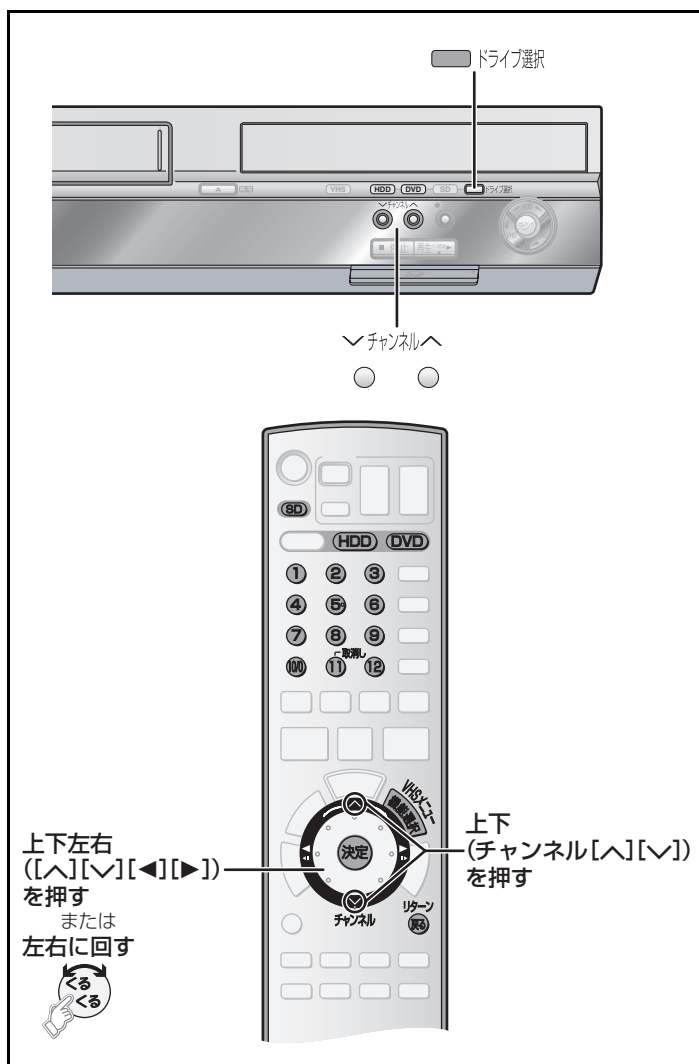
映像・音声コード(付属)を、本機のDVD専用出力(映像・音声)端子に接続していないか確かめてください。**(➜17,21)**

➡ 本機のDVD/VHS共用出力(映像・音声)端子に接続し直してください。

■**再生すると、音声は聞こえるが映像が出ない**

本機のDVD専用出力(S1/S2映像)端子に接続したS映像コード(別売)を、テレビのビデオ入力1(S映像)端子に接続していないか確かめてください。**(➜17,22)**

➡ S映像コード(別売)を、本機のDVD/VHS共用出力(S1/S2映像)端子に接続し直してください。

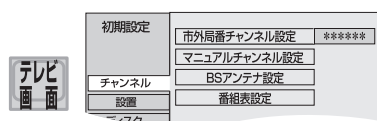
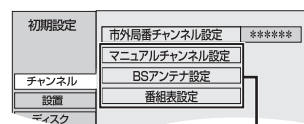
<準備2>設定する

テレビのチャンネルを合わせる
(市外局番チャンネル設定)

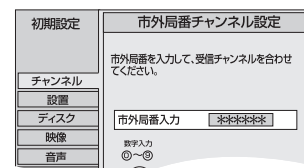
お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

準備
- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➜15)

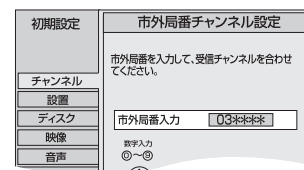
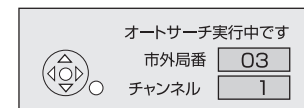
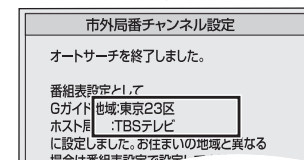
1 停止中に、[VHSメニュー 機能選択]を押す
- 機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
- 初期設定画面が表示されます。

4 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

市外局番チャンネル設定を実行し、チャンネルを設定するまで選べません。

5 「市外局番チャンネル設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す

6 お住まいの地域の市外局番を入力する(➜106)

①～⑩を押す

- 市外局番が一覧表にない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。
- 間違えたときは、[◀]または[取消し/11]を押して、再度入力してください。
- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。

7 [決定]を押す
- 自動的にお住まいの地域で受信できるチャンネルを探します。(オートサーチ)

- 右の画面に変わったら、「Gガイド地域」と「ホスト局」がお住まいの地域に合っているか確認してください。(➜108)

◆ 番組表(Gガイド)設定が正しくない場合
[➜32"番組表(Gガイド)の設定を変える"]

8 画面を消す

リターン/戻る を2回押す

チャンネル[∧][∨]や[1]～[12]を押して、チャンネルがすべてきれいに受信できているか確かめてください。

- [1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧(➔106)にあるチャンネルポジション1～12の放送局を直接選ぶことができます。

◆**普段見ているチャンネルが設定されていないとき**
(➔30"チャンネルの追加、表示チャンネルを変更したいとき")

◆**BSチャンネルが設定されていないとき**
はじめてBSアンテナを設置した場合など、BSチャンネルが正しく設定されないときがあります。「BSアンテナ設定」でアンテナレベルの確認などを行ってください。(➔31)

◆**映りの悪いチャンネルがあるとき**
(➔31"映りの悪いチャンネルを微調整したいとき")

◆**同じ放送局が複数のチャンネルに設定されているとき**
(➔31"不要なチャンネルを削除したいとき")

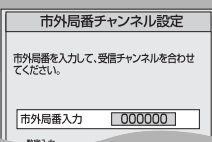
確認後、28ページ手順 9 へ
番組表(G ガイド)データを受信します。

■**ひとつ前の画面に戻る**➡ [リターン/戻る] を押す

■**初期設定画面を消す**➡ [リターン/戻る] を数回押す

最初から設定し直したいとき

- 左ページ手順 6 で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して[決定]を押すと、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

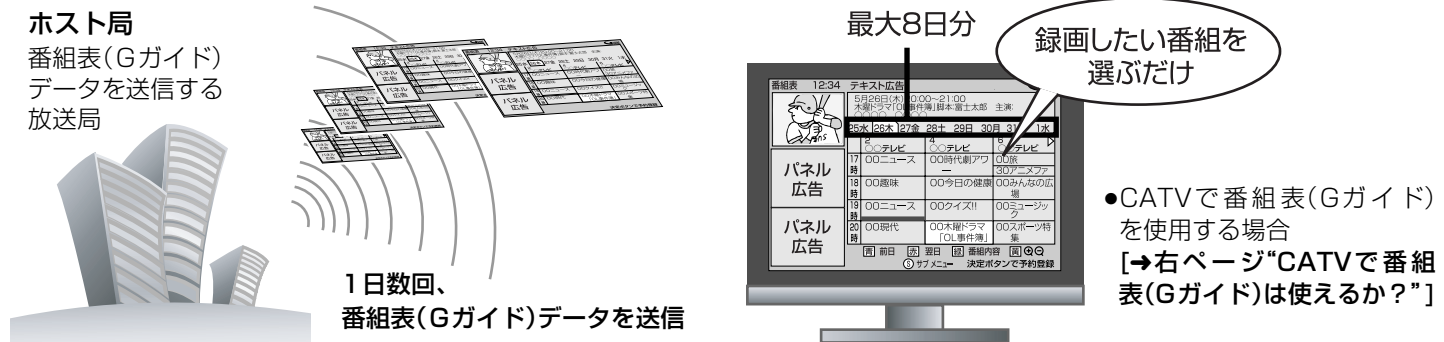
- 「初期化を終了しました。」と表示されたら完了です。
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。
- 停止中に本体HDD/DVD/SD側の**チャンネル**[∨][∧]を同時に5秒以上押しても、チャンネルの設定は工場出荷時の状態に戻ります。

(お知らせ)

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13～20に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信･表示･ガイドチャンネル一覧については、市外局番チャンネル設定一覧(➔106)をご覧ください。

番組表(Gガイド)を受信する

番組表(Gガイド)とは？

放送局(ホスト局)から送られるテレビ番組の情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
番組表(Gガイド)を利用すれば、一覧表から番組を選ぶだけで簡単に予約録画することができます。(➜48,73)
本機では**アナログ放送の番組表(Gガイド)**を最大8日先まで画面に表示できます。
お買い上げ後すぐ番組表(Gガイド)を表示させることはできません。「市外局番チャンネル設定」(➜26)と番組表(Gガイド)データの受信(➜下記)が必要です。

●CATVで番組表(Gガイド)を使用する場合
[➜右ページ"CATVで番組表(Gガイド)は使えるか？"]

番組表(Gガイド)データ送信時刻

(2005年3月現在)

ホスト局	データ送信時刻	ホスト局	データ送信時刻
HBCテレビ	0:30, 7:05, 11:05, 15:05, 17:05	CBCテレビ	0:30, 5:35, 11:05, 14:35, 17:00
秋田テレビ、東北放送、中国放送、大分放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:05	毎日放送	1:45, 6:05, 11:05, 14:35, 17:35
		山陽放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:00
新潟放送	0:30, 5:05, 11:05, 14:35, 17:35	RKB毎日放送	0:30, 6:05, 11:05, 14:35, 17:00
TBSテレビ	0:30, 5:05, 11:05, 14:30, 18:30	その他	0:30, 6:05, 11:05, 14:35, 17:05

●ホスト局や送信時刻、回数は変更されることがあります。
最新の送信時刻については、(株)インタラクティブ·プログラム·ガイドのホームページをご覧ください。
http://www.ipg.co.jp/

番組表(Gガイド)を受信する

●26,27ページ手順1～8のあとに操作します。

9 データ送信時刻(➜上記)の10分以上前に、

DVD/VHS 電源 を押して、本機の電源を切る

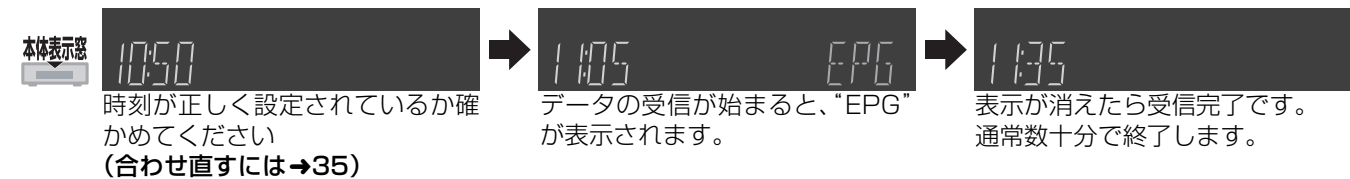
●本体表示窓でデータ受信の様子を確認できます。

本体表示窓

10:50 ➜ 11:05 EPG ➜ 11:35

時刻が正しく設定されているか確かめてください
(合わせ直すには➜35)

データの受信が始まると、"EPG"が表示されます。

表示が消えたら受信完了です。
通常数十分で終了します。

●"EPG"表示中に電源を入れた場合は、データを受信できません。
●本機を設置した時間帯によっては、番組表(Gガイド)を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。

■番組表(Gガイド)データの更新

一度番組表(Gガイド)データを受信した後も、内容更新のためにデータ受信が必要です。
データ送信時刻に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に受信されます。("EPG"表示中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、前回受信したデータが残ります)

■データ送信時刻に本機の電源が「入」状態だったら？

➜本機HDD/DVD/SD側のチャンネルがホスト局に設定されていれば、データを受信することができます。(HDDまたはDVDの録画中は受信できません。VHS側だけで録画中の場合は、データの受信ができます)
ただし、データ受信中にチャンネルを切り換えると、データを受信できないなど、いくつかお気を付けいただきたい点があります。**[詳しくは➜右ページ"本機の電源が「入」状態での番組表(Gガイド)データ受信について"]**

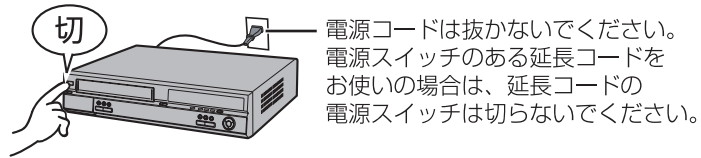
通常、番組表(Gガイド)データの受信は、電源「切」状態で行うことをおすすめします。

番組表(Gガイド)データを正しく受信できないとき

以下の項目をお確かめください。

■データ送信時刻に本機の電源を「切」にしていますか？

データ送信時刻の10分以上前に本機の電源を切ってください。

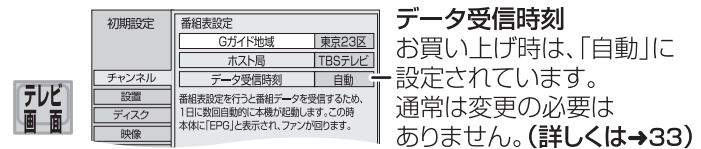
電源コードは抜かないでください。
電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。

本機では、電源を「入」にしていても番組表(Gガイド)データを受信できますが(**➜下記**)、確実に受信するためには、電源「切」状態で受信することをおすすめします。

■「Gガイド地域」「ホスト局」が正しく設定されていますか？

1 [HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す
2 停止中に、[機能選択/VHSメニュー]を押す
3 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
4 [∧][∨]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
5 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す
6 [∧][∨]で「番組表設定」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

初期設定 | 番組表設定
Gガイド地域 東京23区
ホスト局 TBSテレビ
データ受信時刻 自動
チャンネル / 設置 / ディスク / 映像
番組表設定を行うと番組データを受信するため、1日に数回自動的に本機が起動します。この時本体に「EPG」と表示され、ファンが回ります。

データ受信時刻
お買い上げ時は、「自動」に設定されています。
通常は変更の必要はありません。**(詳しくは➜33)**

「Gガイド地域」と「ホスト局」がお住まいの地域に合っているか、「Gガイド地域・ホスト局一覧」(**➜108**)でご確認ください。

- **設定を変更するには(➜32“Gガイド地域、ホスト局を変更したいとき”)**
- どちらか一方でも「－－－」の場合は、データを受信できません。
- ホスト局が受信できない(映らない)場合は、データを受信できません。近隣の地域のホスト局が受信できるときは、「ホスト局」をその局に変更すると、データを受信できます。
  その場合、「Gガイド地域」も変更後のホスト局に対応した地域に変更してください。

■時刻設定は合っていますか？

1 [HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す
2 停止中に、[機能選択/VHSメニュー]を押す
3 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
4 [∧][∨]で「初期設定」を選び、[決定]を押す
5 [∧][∨]で「設置」を選び、[▶]を押す
6 [∧][∨]で「時刻合わせ」を選び、[決定]を押す

初期設定 | 時刻合わせ
チャンネル / 設置 / ディスク
年 月 日 時 分 自動時刻チャンネル
2005 5 25(水) 1 01 自動

年・月・日・時・分の設定をご確認ください。

- **設定を変更するには(➜35“時刻を合わせ直す”の手順6)**

■本機の電源が「入」状態での番組表(Gガイド)データ受信について

以下の条件を満たす場合のみ可能です。

- **データ送信時刻に本機HDD/DVD/SD側のチャンネルがホスト局に設定されている。**
- **データ送信時刻にHDDまたはDVDの録画を行っていない。**

番組表(Gガイド)データを2日以上受信(更新)していない場合のみ
HDD/DVD/SD側のチャンネルが別のチャンネルに設定されていた場合、データ送信時刻の7分前に、テレビ画面にチャンネル切り換えを促すメッセージが表示されます。
データを受信する場合は、メッセージに従って、チャンネルを切り換えてください。データ受信には約35分かかります。

データ受信中に、チャンネルを切り換えたり、電源を切ったりした場合は、データを受信できません。
また、データ受信後、一度も[DVD/VHS電源]を押して本機の電源を切らないまま、停電やコンセントを抜くなどで本機の電源が切れると、受信したデータはなくなります。(前回受信したデータが残ります)

番組表(Gガイド)についてよくあるご質問

■表示されない放送局がある

番組表(Gガイド)が表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した「Gガイド地域」に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)には表示されません。「Gガイド地域・ホスト局一覧」(**➜108**)でご確認ください。

登録されている放送局が表示されない場合は…

➡「マニュアルチャンネル設定」でチャンネルを設定してください。(➜30“チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき”)
- 「放送局名」は「市外局番チャンネル設定一覧」(**➜106**)に従って、正しく入力してください。(手順9)

■CATVで番組表(Gガイド)は使えるか？

ご契約されているCATVが番組表(Gガイド)のデータ送信に対応していれば、地上アナログ・BSアナログ放送の番組表(Gガイド)が表示できます。(CATV独自の放送には対応していません)
CATV会社にデータ送信の有無とホスト局をご確認ください。
データ送信に対応している場合は、通常と同様に「市外局番チャンネル設定」(**➜26**)を行い、手順に従って番組表(Gガイド)データを受信してください。[CATV会社で確認したホスト局と自動設定されたホスト局が異なる場合は、**初期設定**の「番組表設定」で合わせ直してください。**[➜32“番組表(Gガイド)の設定を変える”]**

対応している放送局が表示されない場合は…

➡「マニュアルチャンネル設定」でチャンネルを設定してください。(➜30“チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき”)
- 「CH」には「C13」などを設定してください。(手順8)
- 「放送局名」には「衛星第1」など「CH」に対応した放送局名を設定してください。(手順9)

■BSデジタル、BSアナログ、CSや地上デジタルの番組表(Gガイド)は表示できるか？

番組表(Gガイド)は、地上アナログ・BSアナログ放送のみ表示できます。BSデジタル、CS、地上デジタル放送には対応していません。[CATVで番組表(Gガイド)を使用する場合は**➜上記**]

■数日経っても番組表(Gガイド)が受信できない 一部の放送局が受信できない

左記の「番組表(Gガイド)データを正しく受信できないとき」をご参照ください。
お住まいの地域の受信状態に問題(ゴーストや電波状態が弱いなど)がある場合には、正常に受信できないことがあります。

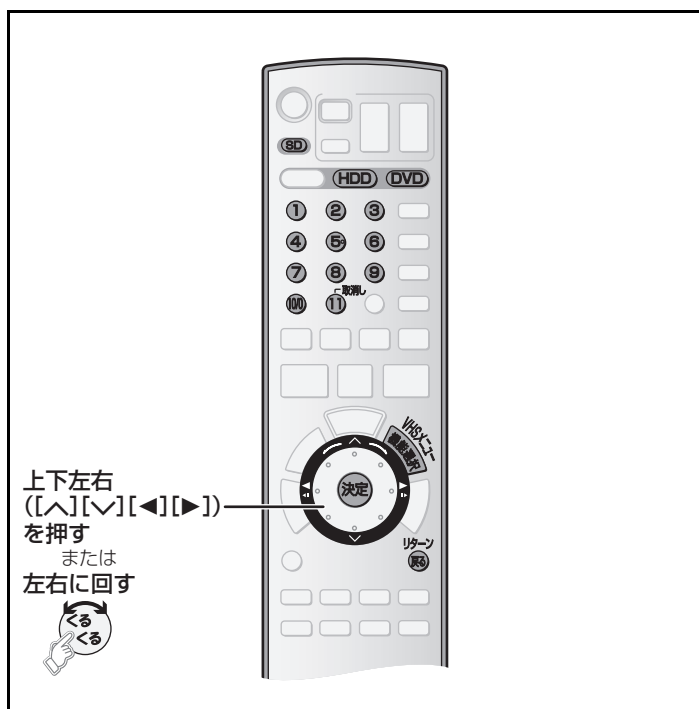
■野球放送などの自動延長に対応しているか？

本機には、スポーツ中継が延長された場合にも番組を最後まで録画できるよう、予約録画時に自動的に最大延長時間を足して録画する機能があります。(**➜53“野球延長対応機能”**)

■電源「切」状態中、表示窓に“EPG”が表示されている間は使えないのか？

使えます。ただし、データ受信は中止されます。(前回受信したデータが残ります)

うまくチャンネル設定できなかったとき

上下左右
([∧][∨][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

自分でチャンネルを合わせる
(マニュアルチャンネル設定)

市外局番チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➜15)

1 停止中に、[VHSメニュー 番組選択]を押す
- 機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、(決定)を押す
- 初期設定画面が表示されます。

4 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

市外局番チャンネル設定を実行し、チャンネルを設定するまで選べません。

5 [∧][∨]で「マニュアルチャンネル設定」を選び、(決定)を押す

映りの悪いチャンネルを微調整したいとき(➜右ページ)

Po	CH	表示	放送局名	ガイド
1	1	1	NHK総合東京	80
2	14	14	MXテレビ	14
3	3	3	NHK教育東京	90
4	4	4	日本テレビ	4
5	16	16	放送大学	16
6	6	6	TBSテレビ	6
7	42	42	tvk	42
8	8	8	フジテレビ	8
9	46	46	千葉テレビ	46
10	10	10	テレビ朝日	10

Po :チャンネルポジション(変更できません)
「1」~「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。
CH :受信チャンネル
新聞のテレビ欄などと同じチャンネルです。
表示 :表示チャンネル
テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。
BSシステム(BSのみ):
BSデコーダーの状態を選びます。
(詳しくは ➜32"BSシステム")
放送局名(VHF/UHF、BSのみ):
番組表(Gガイド)で表示させるためには、正しい放送局名が必要です。
ガイド :ガイドチャンネル
Gコード予約に必要な番号です。「――」の場合は、ガイドチャンネルを入力してください。
(➜下記の手順 10)

■**ひとつ前の画面に戻る** ➡ [リターン/戻る]を押す

■**設定を終了する** ➡ [リターン/戻る]を数回押す

チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき

- 左記手順 1 ~ 5 のあとに操作します。

6 [∧][∨]で追加または変更したい「Po」を選ぶ
- 追加の場合は、受信チャンネルが設定されていないチャンネルポジションを選びます。
- [∨]を数回押して次ページへ移っていくごとに VHF/UHF ➡ BS ➡ CATV ➡ 外部入力 ➡ 拡張チャンネルの順に変わります。(拡張チャンネルは将来のシステムに対応するもので、現在は使えません)

7 受信したいチャンネルを設定する
[▶]で「CH」の欄に移動し、[∧][∨]で設定する

8 表示したい番号を設定する
[▶]で「表示」の欄に移動し、[∧][∨]で設定する
- BSまたはCATVのときは、[∧][∨]のどちらかを押して表示を出してください(例: "――"→"BS5"、"――"→"C13")。"――"になっていると受信できません。

9 放送局名を設定する
[▶]で「放送局名」の欄に移動し、[∧][∨]で設定する
- 「市外局番チャンネル設定一覧」(➜106)を参照して、受信チャンネルに対応した放送局名を選びます。

◆**放送局コード(➜109)を使って設定するとき**
➡ **1** [決定]を押す
2 [1]~[10/0]を押して、放送局コードを入力する
3 [決定]を押す

10 ガイドチャンネルを設定する
[▶]で「ガイド」の欄に移動し、[∧][∨]で設定する
- ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。市外局番チャンネル設定一覧(➜106)の「ガイド」の項目にある数字に合わせてください。
合わせていないとGコード予約できません。
- 続けてチャンネルを追加・変更するには、手順 6 から 10 を繰り返します。

11 リターン戻る を押す

●左ページ手順4の画面に戻り、チャンネルが確定します。

CATVでBSアナログ放送を受信するときのガイドチャンネル

●CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、Gコード予約するためのガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局	ガイドチャンネル	放送局	ガイドチャンネル
BS1	71	BS9（ハイビジョン放送※）	75
BS3	72	BS11（NHK衛星第2）	76
BS5（WOWOW）	73	BS13	77
BS7（NHK衛星第1）	74	BS15	78

※本機ではハイビジョン放送は見られません。

映りの悪いチャンネルを微調整したいとき

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。この微調整は、HDD/DVD/SD/VHSの同じチャンネルの映り具合に共通に影響します。

●左ページ手順1～5のあとに操作します。

6 [∧][∨]で微調整したい「Po」を選び、決定を約3秒以上押す

7 [◀][▶]で「入」を選ぶ

8 [◀][▶]を数回押して調整する

テレビ画面

●色が付いていないとき…[▶]
●しま模様が出るとき……[◀]
（"0"にすると、元の状態に戻ります）
●BSチャンネルは微調整できません。
●受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

9 リターン戻る を押す

●左ページ手順5の画面に戻り、微調整が確定します。

不要なチャンネルを削除したいとき

同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているときは、映りの悪い方のチャンネルを削除してください。

●左ページ手順1～5のあとに操作します。

6 [∧][∨]で削除したい「Po」を選ぶ

7 取消し11 を押す

●「CH」「表示」「放送局名」「ガイド」が「——」表示に変わります。
●続けて削除するには、手順6、7を繰り返します。

テレビ画面

Po	CH	表示	放送局名	ガイド
1	1	1	NHK総合東京	80
2	14	14	MXテレビ	14
3	3	3	NHK教育東京	90
4	4	4	日本テレビ	4
5	16	16	放送大学	16
6	6	6	TBSテレビ	6
7	——	——	——	——
8	8	8	フジテレビ	8
9	46	46	千葉テレビ	46
10	10	10	テレビ朝日	10

8 リターン戻る を押す

●左ページ手順4の画面に戻り、チャンネルが削除されます。

BSアンテナを設定する（BSアンテナ設定）

BSアンテナを作動させるためには、接続に合わせた設定が必要です。BS（アナログ）放送を受信していない場合は、この設定は不要です。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➜15)

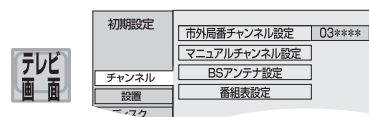
1 停止中に、VHSメニュー機能選択 を押す

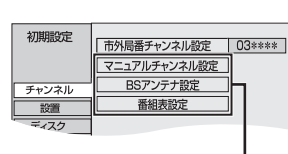
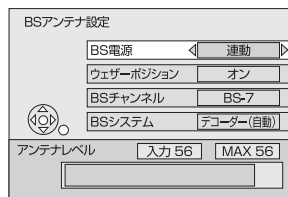
●機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

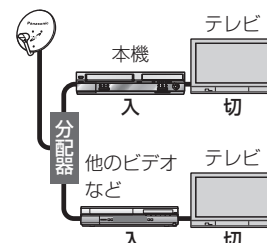
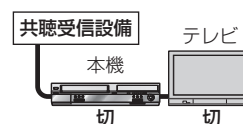
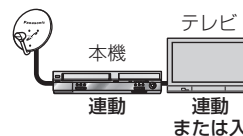
3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、決定を押す

●初期設定画面が表示されます。

テレビ画面

4 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

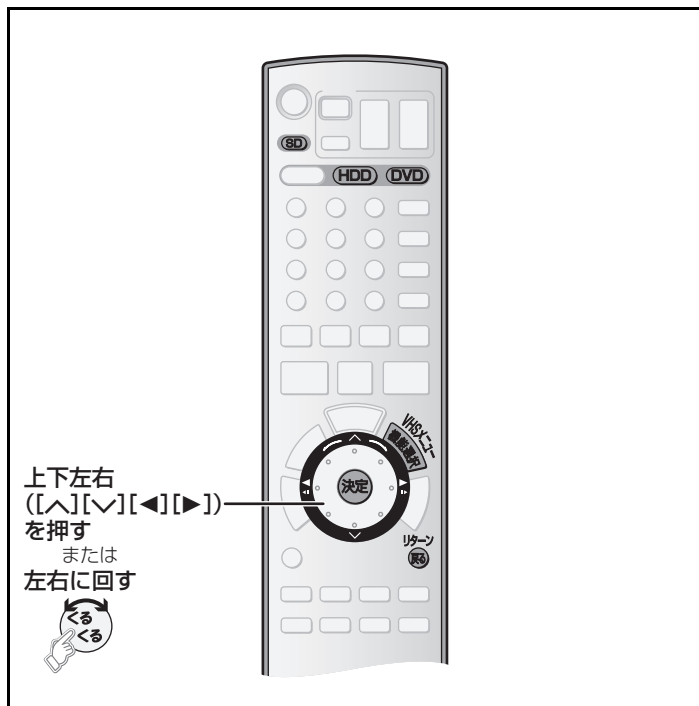
市外局番チャンネル設定を実行し、チャンネルを設定するまで選べません。

5 [∧][∨]で「BSアンテナ設定」を選び、決定を押す

6 「BS電源」が選ばれている状態で、[◀][▶]で設定する

●**共聴受信設備（マンションなど）の場合➡「切」**
共聴受信設備で電源が供給されているため、常に本機からBSアンテナへ電源を供給しません。

●**分配器などで電波を分けている場合➡「入」**
常に本機からBSアンテナへ電源を供給します。

●**BSアンテナを本機に直接接続している場合➡「連動」**
本機でBSチャンネルを選んだときや、テレビからBS電源が出力されているときのみ、本機からBSアンテナへ電源を供給します。

（つづく➜次ページ）

準備

うまくチャンネル設定できなかったとき

うまくチャンネル設定できなかったとき(つづき)

BSアンテナを設定する(BSアンテナ設定)(つづき)

7 アンテナレベルを確認する

- BSアンテナの口径や設置状態、地域、気象条件などにもよりますが、レベルは"40"以上を目安にし、最も高い値(MAX)に近付けるようにアンテナの向きを調節してください。
- レベルが"0"のとき
  BSアンテナの向きや、接続を確かめてください。
- レベルが低い(映りが悪い)とき
  BSアンテナの向きを微調整してください。(正しい方向から少しでもずれると、きれいに受信できません)

◆別のチャンネルのアンテナレベルを確認する

➡ [∧][∨]で「BSチャンネル」を選び、[◀][▶]でチャンネルを変更する

設定後、もう一度「市外局番チャンネル設定」(➔26)を行うか、「マニュアルチャンネル設定」(➔30)でチャンネルを設定し直してください。

■**ひとつ前の画面に戻る**➡ [リターン/戻る]を押す

■**設定を終了する**➡ [リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

- BSチューナー内蔵テレビをお使いのときは、本機の電源が切れているときにもテレビでBS放送が受信できるかどうか確かめてください。(テレビの説明書もご覧ください)

その他の設定について

操作手順は、31ページ手順6と同様です。

- **ウェザーポジション**
  「オン」に設定すると、受信状態に応じて画面上の細かいノイズをおさえます。
- BSシステム
  通常は「デコーダー(自動)」にしてください。
  独立音声※の放送(有料)を楽しむ場合は、「デコーダー(入)」に設定し、デコーダー側で音声を切り換えてください。
  ※BS放送の音声には、テレビ音声と独立音声の2つからなるAモードと、音楽番組などで使われる高音質のテレビ音声のみのBモード(受信時、画面に"B"と表示)があります。独立音声放送は、Aモードを使った音声のみの放送です。
  BSデコーダーを接続していないときは、「デコーダー(切)」にしてください。

番組表(Gガイド)の設定を変える(番組表設定)

市外局番チャンネル設定で、「Gガイド地域」や「ホスト局」が正しく設定されなかったときに操作します。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➔15)

1 停止中に、[VHSメニュー/機能選択]を押す
- 機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、(決定)を押す
- 初期設定画面が表示されます。

4 「チャンネル」が選ばれている状態で、[▶]を押す

市外局番チャンネル設定を実行し、チャンネルを設定するまで選べません。

5 [∧][∨]で「番組表設定」を選び、(決定)を押す

■**ひとつ前の画面に戻る**➡ [リターン/戻る]を押す

■**設定を終了する**➡ [リターン/戻る]を数回押す

Gガイド地域、ホスト局を変更したいとき(Gガイド地域/ホスト局)

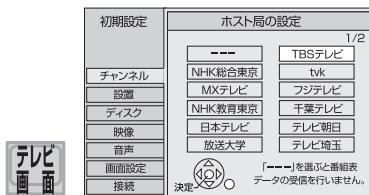
■**Gガイド地域**

- 上記手順1〜5のあとに操作します。

6 「Gガイド地域」が選ばれている状態で、
(決定)を押す

7 [∧][∨][◀][▶]でお住まいの地域(➔108)を選び、(決定)を押す

■ホスト局

●左ページ手順1～5のあとに操作します。

6 [∧][∨]で「ホスト局」を選び、(決定)を押す

7 [∧][∨][◀][▶]でホスト局(➜108)を選び、(決定)を押す

お知らせ

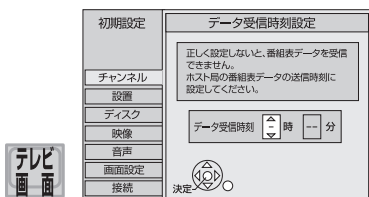
●設定内容が「―――」の場合は、番組表(Gガイド)データを受信できません。
●画面にはホスト局以外の放送局も表示されます。「Gガイド地域・ホスト局一覧」(➜108)に従って、正しく選んでください。
●ホスト局が受信できない(映らない)場合は、データを受信できません。
近隣の地域のホスト局が受信できるときは、その局を「ホスト局」に設定すると、データを受信できます。「ホスト局」を変更した場合は、「Gガイド地域」も変更後のホスト局に対応した地域に変更してください。

番組表(Gガイド)データの受信時刻を変更したいとき(データ受信時刻)

通常は「自動」のまま、変更する必要はありません。1日に数回あるデータ送信時刻(➜28)の一部が変更になった場合でも、その他の時刻に送信されるデータの受信時に、自動的に受信時刻が再設定されます。ただし、いずれのデータ送信時刻にも受信できない場合は、ホスト局がすべての送信時刻を一度に変更した可能性があります。その場合のみデータ受信時刻設定が必要です。(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページ(http://www.ipg.co.jp/)で最新の送信時刻を確認し、設定してください。

●左ページ手順1～5のあとに操作します。

6 [∧][∨]で「データ受信時刻」を選び、(決定)を押す

7 [◀]で「設定」を選び、(決定)を押す

8 "時"が選ばれている状態で、[∧][∨]で設定する

9 [◀][▶]で"分"を選び、[∧][∨]で設定する

10 (決定)を押す

お知らせ

●データ受信時刻設定を行うと、ホスト局のデータ送信時刻(➜28)に加えて、設定した時刻にもデータ受信の準備を行います。(実際にその時刻に放送局からデータが送信されなければデータ受信は行いません)
●いったんデータを受信すると、受信時刻が自動的に設定されるため、以降は変更の必要はありません。データ受信後は、設定は「自動」に戻ります。

テレビのタイプを設定する(接続するTV)

ワイドテレビ(16:9)やプログレッシブ(➜下記)対応テレビと接続したとき設定してください。

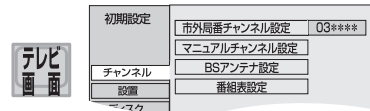
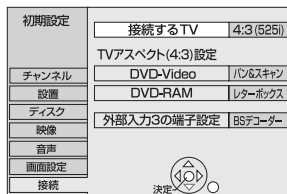
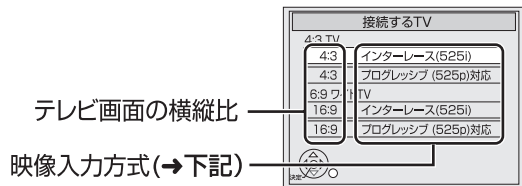
準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➜15)

1 停止中に、(機能選択 VHSメニュー)を押す

●機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、(決定)を押す

●初期設定画面が表示されます。

4 [∧][∨]で「接続」を選び、[▶]を押す

5 「接続するTV」が選ばれている状態で、(決定)を押す

6 [∧][∨]で接続したテレビタイプを選び、(決定)を押す

■ひとつ前の画面に戻る
➡[リターン/戻る]を押す

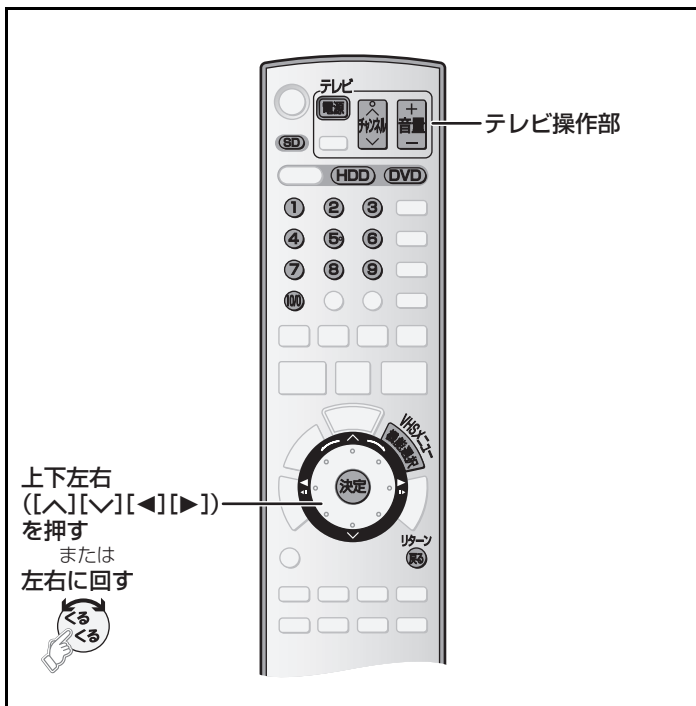
■設定を終了する
➡[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

●プログレッシブ対応テレビでの映像の横縦比は、16:9です。4:3のディスク素材は、16:9の横縦比になるように左右に引き伸ばされます。4:3のまま表示するには、テレビ側で調整するか、プログレッシブ対応テレビでは**再生設定**の「プログレッシブ」を「切」にしてください。(➜40)

●**インターレース:**
従来の映像信号で、525i(i:インターレース=飛び越し走査)と呼ばれます。従来のテレビに接続する場合や、お使いのテレビがどちらであるかわからないときに選んでください。

●**プログレッシブ:**
インターレースの倍の走査線をもつ映像信号です。525p(p:プログレッシブ=順次走査)と呼ばれます。本機のD1/D2映像出力端子から出力されます。

その他の設定(つづき)

本機のリモコンでテレビも操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部(➜上記)でテレビの操作ができます。

1 メーカー番号を合わせる

テレビ電源 を押しながら、① ～⑩⑩ を押す

●メーカー番号は、2けたで入力してください。
例)01の場合…[10/0]→[1]
10の場合…[1]→[10/0]

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	01, 10, 22, 23	パイオニア	13
アイワ	18	ビクター	14
NEC	06, 15	日立	05, 20
三洋	07, 16	富士通ゼネラル	09
シャープ	02, 11, 21	フナイ	19
ソニー	03, 17	三菱	08, 12
東芝	04		

2 正しく操作できるか確かめる

テレビ電源 を押して、チャンネル や 音量 を数回押す

●テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり、音量を調節してみてください。

お知らせ

●複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。
●正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
●[1]～[12]を使ってテレビのチャンネル操作はできません。テレビのチャンネルを変更したいときは、テレビ操作部の[∧∨チャンネル]をお使いください。

2台以上の当社製DVDレコーダーなどを使うとき(リモコンモード)

複数の当社製機器を同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。
●当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。このときは、リモコンモードを変えてください。
●通常は工場出荷時のまま「リモコン1」でお使いください。(当社製機器が本機しかないときなど)

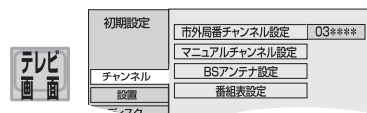
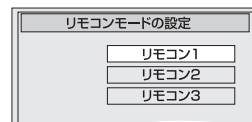
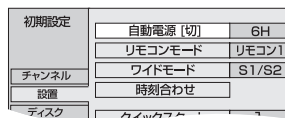
準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➜15)

本体側のリモコンモードを変える

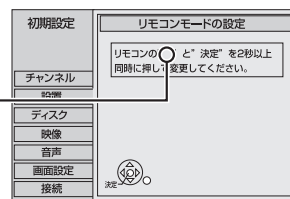
1 停止中に、VHSメニュー機能選択 を押す
●機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

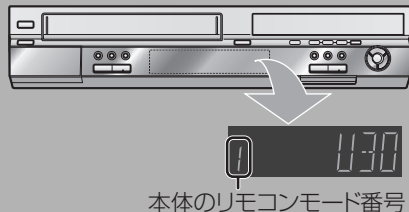
3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、決定 を押す
●初期設定画面が表示されます。

4 [∧][∨]で「設 置」を選び、[▶]を押す

5 [∧][∨]で「リモコンモード」を選び、決定 を押す

6 [∧][∨]で「リモコン2」または「リモコン3」を選び、決定 を押す

リモコン側のリモコンモードを変える

7 ② または ③ を押しながら、決定 を2秒以上押したままにする

8 決定 を押す
●上記手順4の画面に戻ります。

■ひとつ前の画面に戻る➡ [リターン/戻る]を押す
■設定を終了する➡ [リターン/戻る]を数回押す

■操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき

本体のリモコンモード番号

●本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。
表示されたリモコンモード番号のボタンを押しながら、[決定]を２秒以上押してください。

お知らせ

●チューナーなどのIrシステム(➜113)を使用する場合は、本機で設定したリモコンモードにIrシステムのリモコンモードを合わせてください。詳しくは、チューナーなどの説明書をご覧ください。

時刻を合わせ直す

時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➜15)

1 停止中に、[VHSメニュー 機能選択] を押す

●機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、[決定] を押す

●初期設定画面が表示されます。

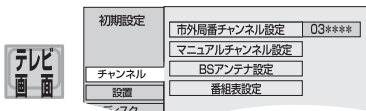
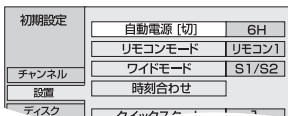
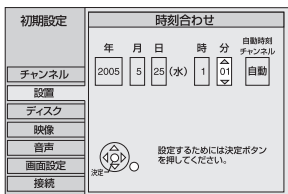
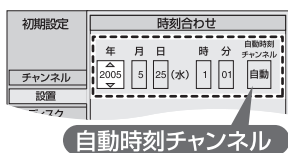
4 [∧][∨]で「設 置」を選び、[▶] を押す

初期設定
自動電源［切］ 6H
リモコンモード リモコン1
ワイドモード S1/S2
時刻合わせ
チャンネル
設置
ディスク

5 [∧][∨]で「時刻合わせ」を選び、[決定] を押す

初期設定 時刻合わせ
年 月 日 時 分 自動時刻チャンネル
2005 5 25 (水) 1 01 自動
チャンネル
設置
ディスク
映像
音声
画面設定
接続
設定するためには決定ボタンを押してください。

6 [◀][▶]で各項目を選び、[∧][∨]で修正する

初期設定 時刻合わせ
年 月 日 時 分 自動時刻チャンネル
2005 5 25 (水) 1 01 自動
自動時刻チャンネル

● “時刻”は24時間表示です。
● “自動時刻チャンネル”(➜右記)は、NHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。表示チャンネル(➜30)で合わせてください。
● “年”は西暦1988～2087年までです。

7 [決定] を押す

●上記手順4の画面に戻り、時計が動き始めます。

■**ひとつ前の画面に戻る➡**[リターン/戻る]を押す

■**設定を終了する➡**[リターン/戻る]を数回押す

自動時刻合わせ機能について

●毎日12時に本機が電源「切」状態であれば、NHK教育テレビの時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正しますが、誤差が2分以上あるときは、時計を合わせ直してください。
●「自動時刻チャンネル」を「自動」にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
●自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、“時報”と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻合わせで正しい時刻に合わせ直してください。
●次のようなときは働きません。
・「自動時刻チャンネル」を「––」にしているとき。
（自動時刻合わせ機能が働いていない状態）
・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
・時報のバックに音楽が流れているとき。
・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
●電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

HDD・ディスクを再生する

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

1 再生するドライブを選ぶ

HDD または DVD を押す

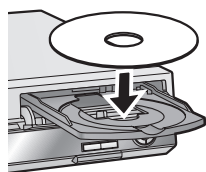
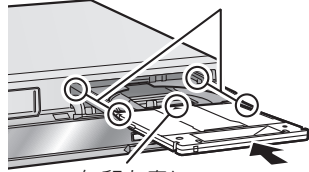
●本体のランプが点灯します。(➜15)

◆ [DVD] を選んだとき

➡ **本体の[▲開/閉]を押してトレイを開き、ディスクを入れる**

●もう一度 [▲ 開/閉] を押すと、トレイが閉まります。
●電源が切れていても取り出せます。

(カートリッジなし)　(カートリッジあり)

ラベル面(両面ディスクでは、再生したい側のラベル面)を上に

2 再生を始める

再生 を押す

HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR) :
最後に録画された番組(タイトル)から再生します。

例)DVD-RAM

DVD-V DVD-A CD VCD :ディスクの先頭から再生します。

◆ メニュー画面が表示されたとき(➜右記)

■ メニュー画面が表示されたとき

➡ 画面表示に従って操作してください。

DVD-V DVD-A

[∧][∨][◀][▶] で項目を選び、[決定] を押す

●[1]～[10/0]で項目を選べるディスクもあります。(**選びかた➜下記**)

VCD

[1]～[10/0](2けた)で項目を選ぶ

例)　5の場合… [10/0]→[5]
　　15の場合… [1]→[5]

◆**再生の途中でメニュー画面を表示させるには**

➡ DVD-V **[再生ナビ/トップメニュー]** または **[サブ メニュー]** を押す
➡ DVD-A **[再生ナビ/トップメニュー]** を押す
➡ VCD **[リターン/戻る]** を押す

■ 映像が縦に引き伸ばされているとき

録画時、**初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜66**)が「入」になっていると、16:9 映像の番組を 4:3 映像で記録します。(お買い上げ時の設定は「入」です)テレビ側の画面モードを変更して調整できます。

■ 写真(JPEG/TIFF)を再生する(➜41)

お知らせ

●HDDで録画中に、DVDに切り換えて再生できます。(逆もできます) **[HDD]** または **[DVD]** を押してドライブを切り換え、**[再生▶]** を押してください。
●両面ディスクは、両面にまたがって再生することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
●8 cm DVD-RAMの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
●カートリッジ付きディスクの場合、プロテクト(**➜62**)を設定しているときは、ディスクを入れると自動的に再生が始まります。
●ディスクによっては、メニュー画面や映像･音声が出るまで時間がかかることがあります。
●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは **[停止■]** を押して停止させてください。

番組(タイトル)を選んで再生する

HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

見たい番組(タイトル)を一覧表から簡単に探すことができます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●**[HDD]** または **[DVD]** を押して、再生するドライブを選ぶ。(➜15)

1

再生ナビ/トップメニュー を押す

●タイトル一覧が表示されます。

例)HDD

絵表示について

- :書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組(タイトル)
- :録画禁止信号により録画できなかった番組(タイトル)(デジタル放送など)
- X :HDDにダビング中の番組(タイトル)やデータが壊れているなど、再生できない番組(タイトル)
- :録画中の番組(タイトル)
- :HDDにリリーフ(代替)録画された番組(タイトル)(➜49)
- :「1回だけ録画可能」の番組(タイトル)(➜6)
- P :PAL方式で録画された番組(タイトル)(再生できません)

2 HDD RAM

◆**写真(JPEG)一覧が表示されている場合のみ**

ダビング 青(ビデオ)を押して、タイトル一覧に切り換える

3 [∧][∨][◀][▶]で番組(タイトル)を選び、決定を押す

●選んだ番組(タイトル)の再生が始まります。

◆前後のページを表示する

➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

●[∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■タイトル一覧を消す➡[再生ナビ/トップメニュー]を押す

再生中のいろいろな操作

停止

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

停止■を押す

止めた位置を一時的に記憶します。

●本体表示窓の"再生"が点滅します。(再生ナビからの再生やプレイリストの場合は点滅しません)

"再生"点滅中に[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します(続き再生メモリー機能)

●止めた位置は

・数回[停止■]を押すと"再生"の点滅が消え、解除されます。

・電源を切るかトレイを開けると解除されます。

●[停止■]を押すと右のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度[停止■]を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。

一時停止(静止画)

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

一時停止Ⅱを押す

●もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。

早送り/早戻し(サーチ)

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

スロー/サーチ 巻戻し◀◀ または スロー/サーチ 早送り▶▶を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります(5段階)。

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(CD、VCDでは動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。

●[再生▶]で通常再生に戻ります。

●早送り1速時のみ音声が出ます。DVDオーディオ(動画部以外)、CDではすべての速度で音声が出ます。

●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

スキップ

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

再生中または一時停止中に、スキップ 頭出し|◀◀ または スキップ 頭出し▶▶|を押す

押した回数だけ番組(タイトル)、場面や曲を飛び越して再生します。

ダイレクト再生

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

①～⑩を押す

番組(タイトル)や曲の番号を入力して再生します。

●停止中(右の画面表示中)のみ働くディスクもあります。

◆HDDやMP3、写真(JPEGやTIFF)が入っているディスク

➡3けたで入力

例)5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]

15の場合…[10/0]→[1]→[5]

●MP3や写真(JPEG/TIFF)を再生するには(➜41)

◆DVDオーディオのグループ

➡停止中(上の画面表示中)に1けたで入力

例)5の場合…[5]

◆それ以外のディスク、DVDオーディオのトラック

➡2けたで入力

例)5の場合…[10/0]→[5]　15の場合…[1]→[5]

●プレイバックコントロール(➜113"PBC")付きビデオCDでは、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の"PBC"が消えます)

早見再生(1.3倍速)

HDD RAM

再生▶を約1秒以上押し続ける

通常の再生よりも速い速度で再生します。

●もう一度[再生▶]を押すと、通常の再生に戻ります。

●早見再生中は、自動CM早送り再生(➜40)は働きません。

スロー再生

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) -RW(VR) VCD

一時停止中に、スロー/サーチ 巻戻し◀◀ または スロー/サーチ 早送り▶▶を押す

押すごとに速度が速くなります(5段階)。

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します(VCDでは動作しません)。1クリック回すごとに速度が速くなります(5段階)。速度を遅くすることはできません。

●[再生▶]で通常再生に戻ります。

●ビデオCDは送り方向[▶▶]にのみ働きます。

●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。(DVD-V DVD-A VCD を除く)

コマ送り/コマ戻し

HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) -RW(VR) VCD

一時停止中に、[◀ⅠⅠ]または[ⅠⅠ▶]を押す

押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。

●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。

●[再生▶]で通常再生に戻ります。

●ビデオCDは送り方向[ⅠⅠ▶]にのみ働きます。

(つづく➜次ページ)

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作(つづき)

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

1 [タイムワープ] を押す

飛び越し時間表示
約5秒たつと自動的に消えます。
[タイムワープ/◀◀高速リターン]
をもう一度押すと、再表示されます。

- 子画面にテレビの受信映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。
- [再生▶]を押すと子画面が消えます。

2 飛び越し時間が表示中に、[∧][∨]で飛び越す時間を設定し、(決定)を押す

- [∧][∨]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[∧]、戻し[∨]します。

子画面でテレビを見る

HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

[タイムワープ] を押す

- 子画面にテレビの受信映像が表示されます。
- 再生画面の音声が出ます。
- [再生▶]を押すと子画面が消えます。

- 飛び越し時間表示が消えているときは、**チャンネル**[∧][∨]で子画面のチャンネルを切り換えることができます。(録画中は切り換えることができません)
- 子画面はブルーバック(➔67)にはなりません。

30秒先へスキップする

HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

[30秒スキップ] を押す

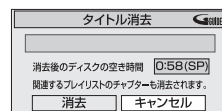
押すごとに、約30秒飛びこして再生します。
- 自動CM早送り再生(➔40)が働かないときなどに使うと便利です。

再生中の簡単な編集

消去する

HDD RAM -R -RW(V) +R

番組(タイトル)などを再生中に消去します。

1 再生中に、[HDD/DVD 消去 リセット]を押す

例)番組(タイトル)を消去する(HDD)

2 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

- 一度消去すると、元に戻せません。
- 録画中やダビング中は消去できません。
- チャプター再生中(➔56)は働きません。チャプターを消去するには、「チャプター消去」で消去してください。(➔57)
- -R +R 消去してもディスク残量は増えません。
- -RW(V) 最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

チャプターを作成する

HDD RAM

再生中に、[チャプター作成 緑]を押す

押した位置でチャプター(➔56"タイトル/チャプターについて")を区切ります。
- スキップ(➔37)するとチャプターを飛びこします。
- 録画しながら録画中の番組を戻して再生しているとき(タイムワープ)(➔47)や、ダビング中は働きません。

音声を切り換える

HDD RAM DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

●ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)
●電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押す。(➜15)

放送受信時

初期設定「高速ダビング用録画」(➜66)が「切」になっていないと、切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です)

[音声/黄] を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副)

● HDD RAM 録画中に[音声/黄]を押しても、記録される音声に影響はありません。
●外部入力から録音する場合、入力した音声(L/R)のまま出力されます。
●次のときは音声を選ぶことができません。
・「DVD」選択中、ディスクトレイにDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っているとき
・録画モードが「XP」で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜67)が「LPCM」になっているとき
・HDDまたはDVDからVHSへのワンタッチダビング(➜86,98)の実行中
●音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、**初期設定**の「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、二重音声などを切り換えできません。
以下のどちらかの方法で切り換えできるようになります。
・「Dolby Digital」を「PCM」にする。(➜67)
・音声コード(別売)も音響機器に接続(➜22)し、音響機器側で入力を切り換える。

ディスク再生時

[音声/黄] を押す

押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD RAM -RW(VR)

二重放送の主、副両音声を録画した場合は、主音声が"L"、副音声が"R"に記録されています。

●モノラル音声を再生する場合、切り換えに関わらずすべてモノラルとなります。

2カ国語オート再生機能について

●次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
・外部入力録画または"TP"チャンネル(➜81)で録画したディスクを再生中
・[音声/黄]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)

操作の状態を確認する(情報表示)

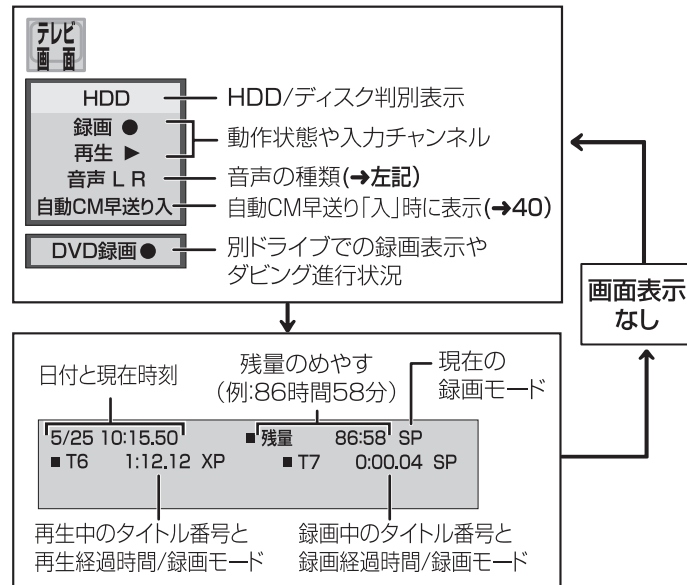
本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押す。(➜15)

[画面表示/赤] を押す

押すごとに切り換わります。

●残量の数字は目安です。

例)HDD

見る/聞く HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生設定

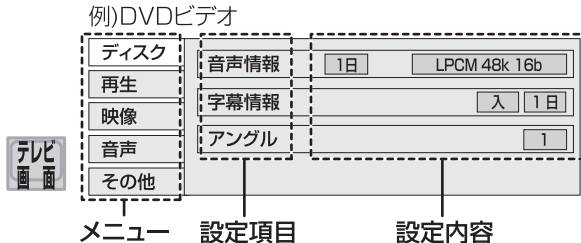
設定の基本操作

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押す。(➜15)

●マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 [再生設定]を押す
●再生設定画面が表示されます。
●ディスクによりメニューは異なります。

例)DVDビデオ

メニュー	設定項目	設定内容
ディスク	音声情報	1日 LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入 1日
映像	アングル	1
音声		
その他		

2 [∧][∨]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [∧][∨]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [∧][∨]で設定を変える
●[決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

■**設定を終了する➡ [再生設定]を押す**

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※ DVD-V DVD-A
音声や言語を選びます。(音声属性/言語➜右記)
● HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR) 音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-V DVD-A
字幕表示の入/切や、言語を選びます。(言語➜右記)
● HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR) 入/切のみ(字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません)

音声チャンネル HDD RAM -RW(VR) VCD
音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-V DVD-A
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
●スライドショー :決められた順番で再生
●ページ :静止画を選んで再生
・ランダム :順不同に再生
・リターン :決められた静止画を再生

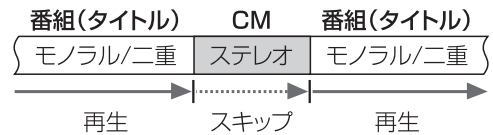
PBC(プレイバックコントロール)(➜113) VCD
PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。(変更はできません)

※ディスクに収録されているメニュー画面(➜36)でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
●All :ディスク全体
●Chapter :チャプター
●Group :グループ全体
●Title :タイトル全体
●PL :プレイリスト
●Track :トラック

自動CM早送り HDD RAM (音声が下記の場合のみ)
CMを自動的に飛ばして再生します。

番組(タイトル)	CM	番組(タイトル)
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

●早見再生中(➜37)は働きません。
●外部入力から録画した番組(タイトル)では働きません。
●設定した内容は電源を切っても保持されます。
●録画内容により、正しく働かないことがあります。
例:上記図のCM部分が5分以上の場合など

画質を設定する(映像)

画質選択
HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
映像ディスク再生時の画質を選びます。
●**ノーマル** :標準
●**ソフト**:ざらつきの少ない柔らかな画質
●**ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
●**シネマ** :映画鑑賞向け
●**ユーザー** :さらに画質を調整
[◀][∧][∨]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す
・コントラスト(白黒の強弱)
・ブライトネス(画面全体の明るさ)
・シャープネス(鮮やかさ)
・カラー(色の濃さ)
・ガンマ(暗くて見えにくい映像の輪郭)
・インテグレイティッドDNR(動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正)

MPEG-DNR(画質選択が「ユーザー」以外の場合のみ)
HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
「入」を選ぶと、ノイズや文字周りのもやの補正をします。

プログレッシブ(➜112)
(**初期設定**「接続するTV」で「プログレッシブ(525p)対応」を選んだ場合のみ)
映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード(「プログレッシブ」(➜ 上記)が「入」の場合のみ)
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●Auto1(標準):24コマ/秒のフィルム素材を自動判別
●Auto2 :Auto1に加えて、30コマ/秒のDVDビデオにも対応(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)
●Video :Auto1またはAuto2でぶれが生じるとき

外部入力NR(「L1」「L2」「L3」「TP」を選局しているときのみ)
テープからのダビング時に、ノイズを減らして高画質で記録します。
●**自動**(標準):テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
●**入** :テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
●**切** :映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

音声効果を設定する(音声)

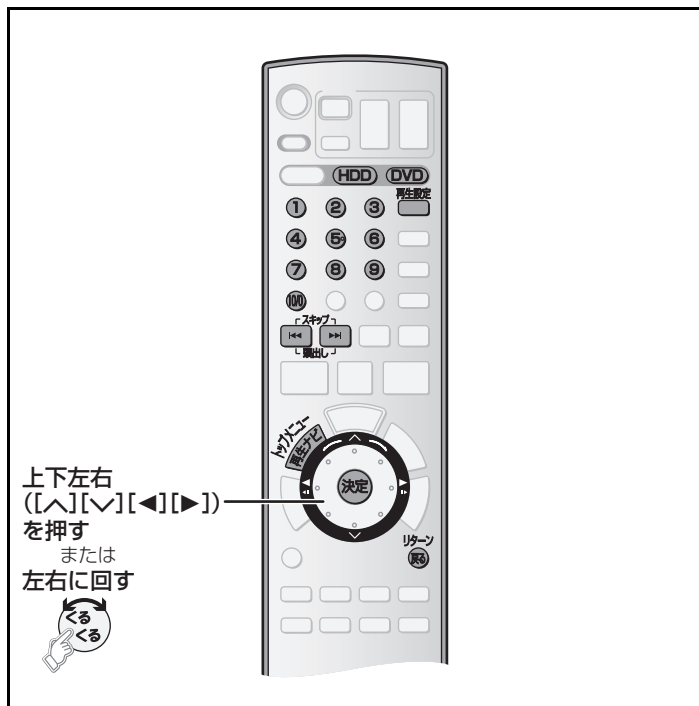
サラウンド(アドバンスドサラウンド)
HDD RAM -R -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
(ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ)
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
●本機で録音した二重音声には働きません。

シネマボイス
HDD RAM -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)
(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
セリフを聞き取りやすくします。

設定画面の表示位置を変更する(その他)

表示位置
●1(標準位置)～5:設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

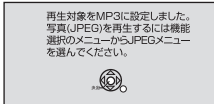
〈音声属性〉
LPCM/PPCM/ꓷꓷDigital/DTS/MPEG:信号タイプ
ch:チャンネル数 k:サンプリング周波数(kHz) b:ビット数(bit)
〈言語〉
日:日本語 英:英語 仏:フランス語 独:ドイツ語
伊:イタリア語 西:スペイン語 蘭:オランダ語 中:中国語
露:ロシア語 韓:韓国語 ＊:その他

MP3や写真(JPEG/TIFF)を再生する HDD DVD SD

HDD RAM SD [➜43"写真(JPEG/TIFF)について"]
CD [➜43"MP3や写真(JPEG/TIFF)について"]

MP3を再生する

CD

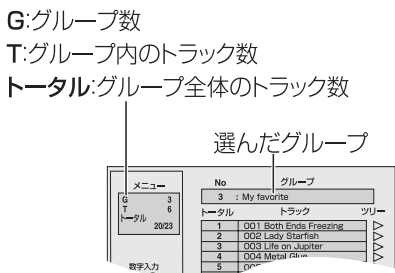
●パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。

●MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると右図のような画面が表示されます。[決定]を押してから、下記手順を行ってください。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[DVD] を押す。(➜15)

1 トップメニュー 再生ナビ を押す

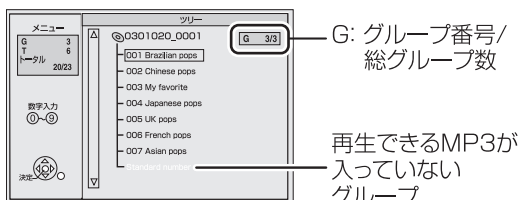
●フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

G:グループ数
T:グループ内のトラック数
トータル:グループ全体のトラック数

選んだグループ

2 [⋀][⋁]でトラックを選び、決定を押す

●選んだトラックの再生が始まります。
●[1]～[10/0]でもトラックを選べます。
例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
　15の場合…[10/0]→[1]→[5]

◆別のグループを選ぶ

➡ **1** [▶]を押す

2 [⋀][⋁]でグループを選び、[決定]を押す
●選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

◆前後のページを表示する
➡ [⏮](前ページ)または[⏭](次ページ)を押す

■ひとつ前の画面に戻る➡[リターン/戻る]を押す

■メニュー画面を消す➡[再生ナビ/トップメニュー]を押す

写真(JPEG/TIFF)を再生する

HDD RAM SD CD

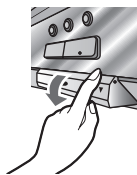
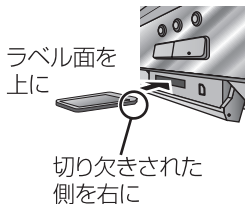
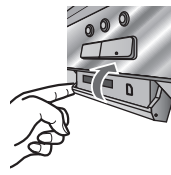
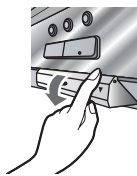
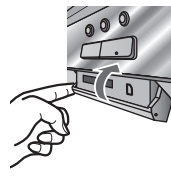
●本機では、8 MB～1 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜5)

カードの出し入れについて

●本体表示窓の"SD"点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

●カードの出し入れは本機の電源を切った状態で行ってください。

●miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)
入れかた

❶ スロットのふたを開ける
❷ カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む
❸ スロットのふたを閉じる

出しかた

❶ スロットのふたを開ける
❷ カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す
❸ スロットのふたを閉じる

●録画中やダビング中は写真の再生はできません。

●パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。

●MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると右図のような画面が表示されます。42ページの手順の前に、JPEGメニューを選んでください。
(➜42"JPEGメニューを選ぶ")

(つづく➜次ページ)

写真(JPEG/TIFF)を再生する(つづき)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD]、[DVD]または[SD]を押して、再生するドライブを選ぶ。(➔15)

1 [再生ナビ] を押す

絵表示について
- :書き込み禁止(プロテクト)を設定された写真やフォルダ
- :プリント枚数(DPOF)が設定された写真

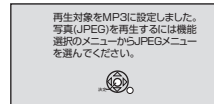
例)SDメモリーカード

2 HDD RAM
[画面表示 赤](写真)を押して、写真(JPEG)一覧に切り換える

3 [∧][∨][◀][▶]で見たい写真を選び、[決定]を押す
- 選んだ写真が画面に表示されます。
- [1]〜[10/0]でも写真を選べます。
  - HDD RAM SD :4けたで入力
    例) 5の場合…[10/0]→ [10/0]→[10/0]→[5]
    15の場合…[10/0]→ [10/0]→[1]→[5]
  - CD :3けたで入力
    例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
    15の場合…[10/0]→[1]→[5]

◆別のフォルダを選ぶ(➔右記)

◆前後のページを表示する
➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■再生をやめる ➡ [停止■]を押す

■再生中に前後の写真を見る ➡ [◀][▶]を押す

■再生ナビ/メニュー画面を消す
➡ [再生ナビ/トップメニュー]を押す

ブロードバンドレシーバー(別売:DY-NET2)を接続し、「写真ポケットサービス」(有料)に登録すると、HDDに「公開写真」フォルダが自動的に作成されます。パソコンや携帯電話からこの「公開写真」フォルダに写真をインターネット経由で送付したり、また、「公開写真」フォルダ内の写真を外出先からパソコンや携帯電話で閲覧することができます。
詳しくは、サポートページをご覧ください。
(http://panasonic.jp/support/bbr/)

JPEGメニューを選ぶ

CD

1 [決定]を押す

2 [VHSメニュー/機能選択]を押す

3 「メニュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [∧][∨]で「JPEGメニュー」を選び、[決定]を押す
(➔左記"写真(JPEG/TIFF)を再生する"手順3へ)

■選択画面を消す ➡ [リターン/戻る]を押す

別のフォルダを選ぶ

HDD RAM SD CD
(本機で表示されるフォルダ構造例➔112)

- 左記手順1〜2のあとに操作します。

3 [∧]で「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
- フォルダ選択画面が表示されます。

HDD RAM SD　　CD

◆上位フォルダを切り換える RAM SD
(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ)
➡ 1 [サブ メニュー]を押す
2 [∧][∨]で「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
3 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

4 [∧][∨]でフォルダを選び、[決定]を押す
- 選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

■フォルダ選択画面からメニュー画面に戻る
➡ [リターン/戻る]を押す

写真を連続して再生する(スライドショー)

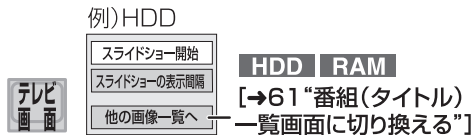
HDD RAM SD CD

●左ページ"写真(JPEG/TIFF)を再生する"手順1～2のあとに操作します。

3 [∧]で「フォルダ選択」を選び、サブメニュー(S)を押す

例)HDD

HDD RAM

[➔61"番組(タイトル)一覧画面に切り換える"]

4 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、決定を押す

■表示間隔を変える

➡ 1 [∧][∨]で「スライドショーの表示間隔」を選び、[決定]を押す

2 [◀][▶]で表示間隔[0秒～30秒]を変更し、[決定]を押す

■スライドショーを停止する➡[停止■]を押す

写真を回転、拡大する

HDD RAM SD CD

1 再生中に、サブメニュー(S)を押す

画素数の小さい写真のみ表示されます。

2 [∧][∨]で項目を選び、決定を押す

■回転した写真を元に戻す

➡[サブ メニュー]を押して逆方向への回転を選び、[決定]を押す

■拡大した写真を元に戻す

➡[サブ メニュー]を押して「縮小」を選び、[決定]を押す

お知らせ

●回転、拡大の情報は保存されません。
●拡大すると写真の一部が欠けることがあります。

消去する

HDD RAM SD

1 消去したい写真を再生中に、HDD/DVD 消去 リセットを押す

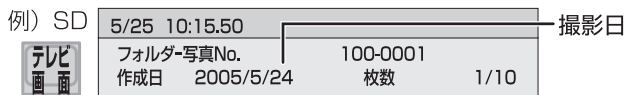
2 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

●**消去すると、元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。

写真の情報を見る(情報表示)

HDD RAM SD CD

再生中に、画面表示 赤を2回押す

例)SD

■情報表示を消す➡[画面表示/赤]を押す

CD

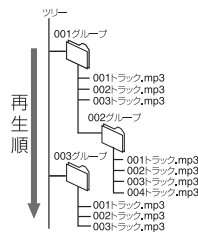
MP3や写真(JPEG/TIFF)について

●使用できるフォーマット:ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet
●フォルダ数(グループ数):ディスク上にルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示されます。
●ファイル数:ディスク上の最大999個のファイル(トラック)が再生されます。
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
●ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
●本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
●ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式には対応してません。
●記録状態によっては再生できないものがあります。

MP3について

●ファイル形式:MP3
　※ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●ビットレート:
　32 kbps～320 kbpsまで
●サンプリング周波数:
　16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
●ID3タグには対応していません。

MP3のフォルダ構成

再生したい順番を指定する場合は、けた数をそろえた数字を付けてください。

写真(JPEG/TIFF)について

●ファイル形式:JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式]
　※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数:34×34～6144×4096
　(サブサンプリングは、4:2:2または4:2:0)
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●Motion JPEGには対応していません。

●MP3データは上記、写真(JPEG/TIFF)データは112ページの図のようなフォルダ構成で作成すると見ることができます。
●最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

HDD RAM SD

写真(JPEG/TIFF)について

●使用できるフォーマット:
　DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)
　DCF:Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]
●ファイル形式:JPEG、TIFF [非圧縮RGB(点順次)方式]
●画素数:34×34～6144×4096
　(サブサンプリングは、4:2:2または4:2:0)
●最大300フォルダ(上位フォルダ含む)と最大3000ファイルに対応しています。
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●Motion JPEGには対応していません。

HDD・ディスクに録画する

■録画するディスクについて

本機ではいろいろなディスクに録画することができます。目的に合ったディスクに録画してください。(詳しくは➜4)

- ディスクに残量がある限り自動的に未記録の部分に録画を行いますので、カセットのように未記録部分を探す必要がありません。上書きは行いませんので、不要な番組(タイトル)がある場合は消去(➜56)してください。

・ HDD RAM 録画した番組(タイトル)を消去すると、消去した番組(タイトル)分ディスク残量が増えます。

どの番組を消去しても残量が増えます

番組(タイトル1)	番組(タイトル2)	‥‥‥	最後に録画した番組(タイトル)	残量

・ -RW(V) 最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません　　消去すると残量が増えます

番組(タイトル1)	番組(タイトル2)	‥‥‥	最後に録画した番組(タイトル)	残量

・ HDD RAM -RW(V) -RW(VR) フォーマット(➜63)すると、一度に未記録状態にすることができます。

・ -R +R 消去しても残量は増えません。

1枚のディスクに録画できる番組(タイトル)数

HDD 最大500番組(タイトル)
[長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組(タイトル)に分けて記録されます]

RAM -R -RW(V) 最大99番組(タイトル)

+R 最大49番組(タイトル)

■録画の画質と時間について(録画モード)

数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。

単位:時間

録画モード ＼ ディスク	HDD(内蔵)(200 GB)	DVD-RAM 片面(4.7 GB)	DVD-RAM 両面※1(9.4 GB)	DVD-R/DVD-RW/+R(4.7 GB)
XP(高画質)	約44	約1	約2	約1
SP(標　準)	約89	約2	約4	約2
LP(長時間)	約177	約4	約8	約4
EP(長時間)	約355(約266※2)	約8(約6※2)	約16(約12※2)	約8(約6※2)
FR(自動調整)	最大355	最大8	片面あたり最大8	最大8

※1 両面の連続再生・録画はできません。

※2 **初期設定**の「EP時の記録時間」(➜66)で設定できます。

- EPモードの音質は「EP(6H)モード」の方が高音質です。
- RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

FR(フレキシブルレコーディング):

ディスクの残量に合わせて、XP〜EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。

- ぴったり録画やダビング、予約録画時にのみ設定できます。
- 本体表示窓で、XP〜EPがすべて表示されます。(➜ 右図)
- ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

"FR"設定時

■デジタル放送を録画するとき

- HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rには録画できません。(詳しくは➜6)

■録画する番組の映像・音声の記録について

(詳しくは➜11)

HDD RAM -R -RW(V) +R

- **16:9映像の番組**
  ➜ 4:3映像で記録します。
- **海外ドラマなどの二重放送**
  ➜ 主、副音声のどちらか一方のみ記録します。
  初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜66)

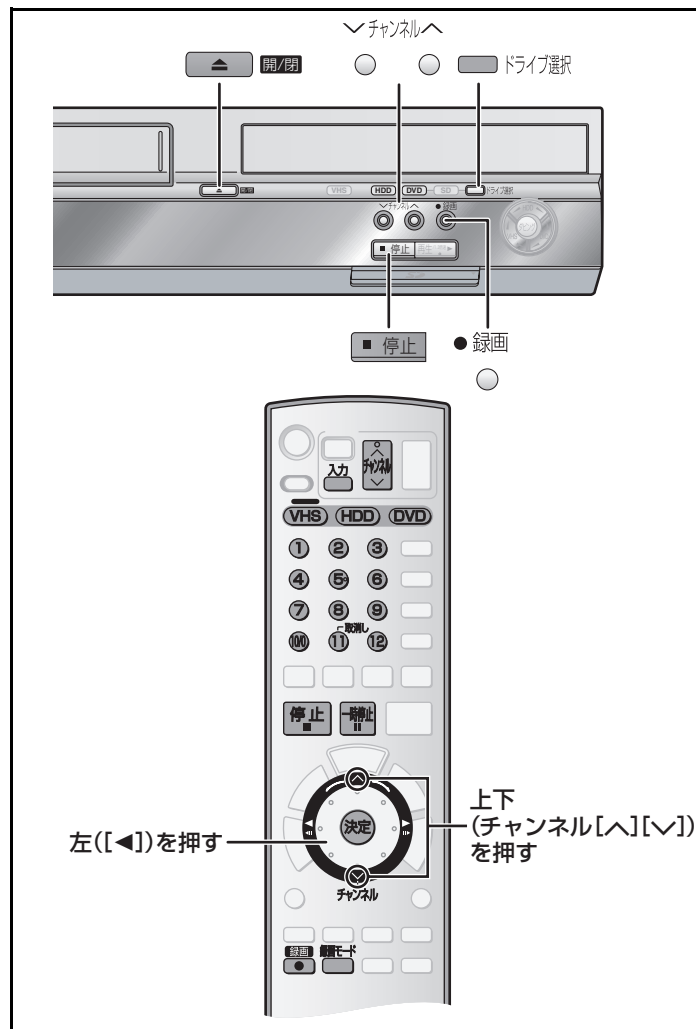
◆ **16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには**※

HDD RAM

➜ **初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜66)**
二重放送を録画する場合、音声を選ぶ必要はありません。主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

※録画後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングすることはできなくなります。(1倍速でダビングします)

■録画したあとは

-R -RW(V) +R 他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➜63,112)が必要です。

見ている番組を録画する

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●本機の時刻が正しいことを確かめる。

1 録画先を選ぶ

HDD または DVD を押す

●本体のランプが点灯します。(➜15)

◆ [DVD] を選んだとき

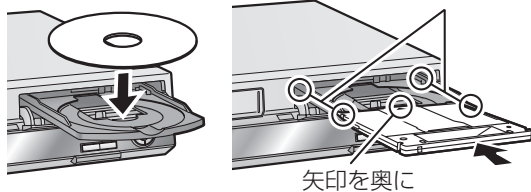
➡ **本体の[▲開/閉]を押してトレイを開き、録画可能なディスクを入れる**

●もう一度[▲開/閉]を押すと、トレイが閉まります。

●電源が切れていても取り出せます。

(カートリッジなし) (カートリッジあり)

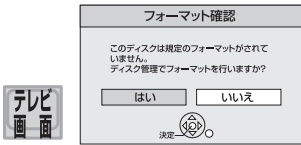
ラベル面(両面ディスクでは、録画したい側のラベル面)を上に

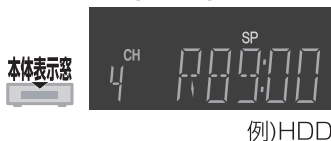
つめを合わせる

矢印を奥に

◆ **フォーマット確認画面が表示されたとき**

新品のDVD-RW、パソコンや他の機器などで記録したDVD-RAM、またはDVD-RW(DVD-Video方式)を本体に入れたときなどに表示されます。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし記録していた内容はすべて消去されます。

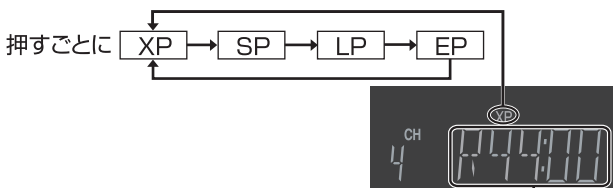
➡ **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す**

●引き続き操作が必要です。(➜63“ディスクやカードを初期化する”)

2 録画したいチャンネルを選ぶ

チャンネル[∧][∨]または①～⑫を押す

例)HDD

●[1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧(➜106)に記載されているチャンネルポジション1～12 の放送局を選ぶことができます。(市外局番チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)

3 録画モード(詳しくは ➜左ページ)を選ぶ

録画モード を数回押す

残量(「R」:Remain(リメイン)、「44:00」:44時間)

●録画モードを「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。
(記録音声モードの設定〔XP時〕➜67)

4 録画を始める

録画 ● を押す

●本体表示窓に経過時間が表示されます。

■**一時停止する** ➡ [一時停止❚❚]を押す

●もう一度押すと録画を続けます。[**録画●**]を押しても再開できます。[番組(タイトル)は分割されません]

■**録画をやめる** ➡ [停止■]を押す

●録画開始した位置から停止した位置までを1番組(タイトル)として記録します。

● -R -RW(V) +R 録画停止には約30秒かかります。

■**録画中にVHSを再生・録画する**

➡ [VHS]を押して、VHS側の各種操作を行う

■**録画中にテレビで別番組を見る**

➡ **1** **[入力]を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える**

2 **テレビ操作部の[∧∨チャンネル]を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ**

●録画に影響はありません。

●予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

お知らせ

●HDDとDVDに、同時に録画することはできません。

●両面ディスクは、両面にまたがって録画することはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。

●8 cm DVD-RAMや8 cm DVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。

●録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。[一時停止中は変えることができますが、別番組(タイトル)として録画されます]

●番組表(Gガイド)(➜48)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的にタイトル名が付きます。[3分以上録画した番組(タイトル)のみ]

● -R -RW(V) +R 他の機器で再生するには、録画後にファイナライズ(➜63,112)が必要です。

録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

HDD RAM -R -RW(V) +R

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

録画中に、本体HDD/DVD側の ●録画 を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。

-- --:-- --(OFF)→30分後 →60分後 →90分後 →120分後

●本体表示窓は下図のように変わります。

●リモコンの[**録画●**]では働きません。

●ぴったり録画時(➜46)や予約録画中(➜48～54)は働きません。

●録画の一時停止中にチャンネルや録画モードを変更した場合、録画終了時刻の設定は解除されます。

●録画終了時には、自動的に電源は切れません。

■**解除する**

➡ 本体の[**●録画**]を数回押し、録画終了時刻を“-- --:-- --”にする

●終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

■**録画をやめる** ➡ [停止■]を押す

HDD・ディスクに録画する(つづき)

ディスクの残量に合わせて録画する(ぴったり録画)

HDD RAM -R -RW(V) +R

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(**録画モード➔44**)で録画できます。

■こんなとき「ぴったり録画」を使うと便利です。

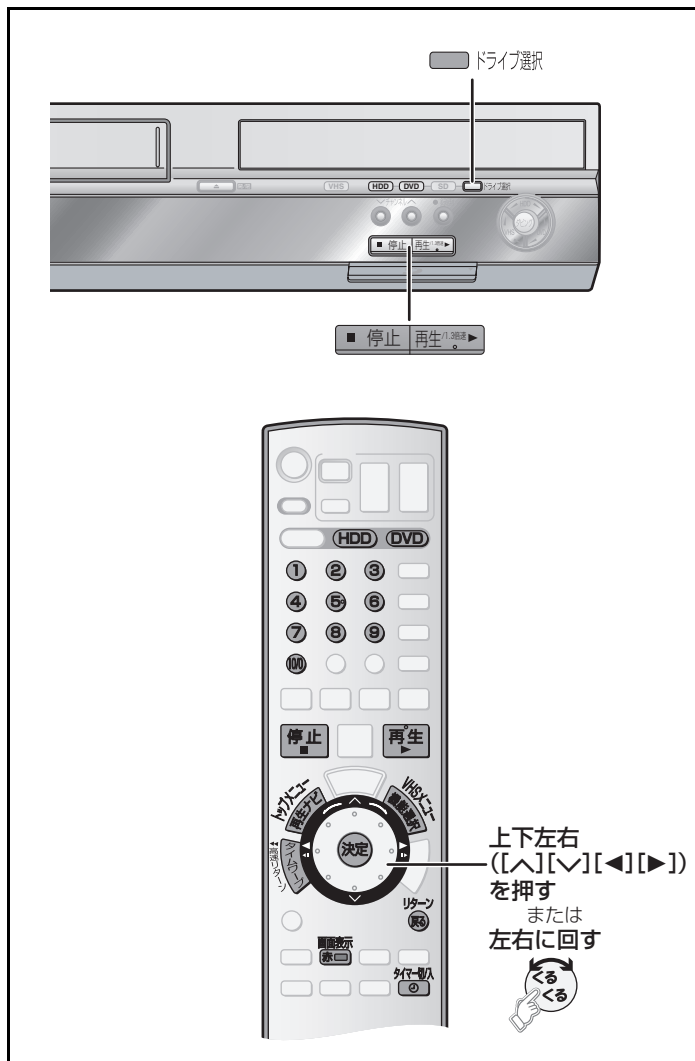
RAM -R -RW(V) +R

ディスク1枚にぴったり収めたいときや残量が気になるディスクに録画したいとき

例)1時間30分の番組を4.7 GBのDVD-RAMに録画する

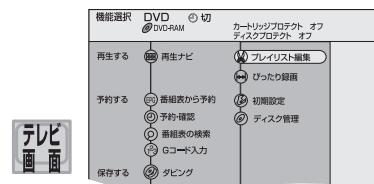
HDD

4.7 GBディスクへのダビング時にぴったり収まるようHDDに録画したいとき

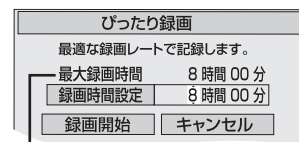
ディスクの容量に合わせるために、録画した番組(タイトル)を編集したり、ダビング時に録画モードを変更したりする必要はありません。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [HDD]または[DVD]を押して、録画先を選ぶ。(➔15)
- 録画したいチャンネルを選ぶ。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➔4)

1 停止中に、[VHSメニュー 機能選択]を押す

- 機能選択画面が表示されます。

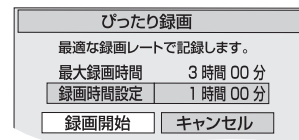
2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

例)DVD-RAM

3 [∧][∨]で「ぴったり録画」を選び、(決定)を押す

ぴったり録画
最適な録画レートで記録します。
最大録画時間 8時間00分
録画時間設定 8時間00分
録画開始 キャンセル

最大録画時間
EP(8H)モードで録画した場合の時間です。

4 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[∧][∨]で録画したい時間を設定する

- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 [◀][▶]で「録画時間設定」に戻り、[∨][◀]で「録画開始」を選んで、(決定)を押す

- 録画が始まります。
- 本体表示窓の録画モードがすべて点灯します。

■ぴったり録画の画面を消す
➡ [リターン/戻る]を押す

■録画をやめる
➡ [停止■]を押す

■残りの録画時間を確認する
➡ [画面表示/赤]を押す
- 残りの録画時間を表示します。

録画しながら再生する

HDD RAM

●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押して、録画中のドライブを選ぶ。(➜15)

録画中の番組を頭から見る(追っかけ再生)

録画を続けながら、番組(タイトル)の先頭から再生します。

録画中に、[再生▶]を押す

●早送り(早戻し)中、音声は出ません。

■再生をやめる
➡[停止■]を押す

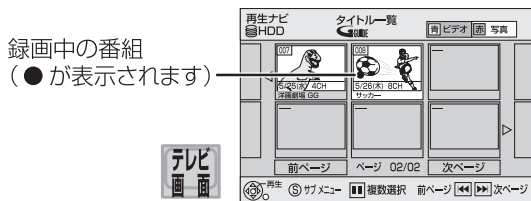
■録画をやめる
➡再生停止後、約2秒以上待って[停止■]を押す

■予約録画(➜48～52)をやめる
➡[タイマー切/入]を押す
●本体HDD/DVD側の[■停止]を約3秒以上押しても止まります。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

録画中に他の番組を見る(同時録画再生)

録画を続けながら、すでに録画してある別番組(タイトル)を再生します。
●ドライブを切り換えて再生することもできます。[HDD]または[DVD]を押してください。(➜15)

1 録画中に、[再生ナビ/トップメニュー]を押す

●タイトル一覧(➜36)が表示されます。

2 [∧][∨][◀][▶]で再生したい番組(タイトル)を選び、(決定)を押す

■再生をやめる
➡[停止■]を押す

■タイトル一覧を消す
➡[再生ナビ/トップメニュー]を押す

■録画をやめる
➡ **1** 再生停止後、[再生ナビ/トップメニュー]を押す
2 (ドライブを切り換えて再生していた場合)
[HDD]または[DVD]を押して、録画中のドライブを選ぶ
3 [停止■]を押す

■予約録画(➜48～52)をやめる
➡[タイマー切/入]を押す
●本体HDD/DVD側の[■停止]を約3秒以上押しても止まります。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

録画中の番組を戻して見る(タイムワープ)

録画を続けながら、録画中の番組(タイトル)や録画済みの番組(タイトル)で、見たい場面を時間を指定して、2画面で見ることができます。

1 録画中に、[タイムワープ/◀◀高速リターン]を押す

再生画面
録画画面
テレビ画面
飛び越し時間表示
約5秒たつと自動的に消えます。
[タイムワープ/◀◀高速リターン]をもう一度押すと、再表示されます。

●30秒前に戻って再生を始めます。
●子画面に録画中の映像が表示されます。
●再生画面の音声が出ます。

2 飛び越し時間が表示中に、[∧][∨]で飛び越す時間を設定し、(決定)を押す

●[∧][∨]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[∧]、戻し[∨]します。

■子画面を消す
➡[再生▶]を押す
●もう一度[タイムワープ/◀◀高速リターン]を押すと、子画面が表示されます。

■再生をやめる
➡[停止■]を押す

■録画をやめる
➡再生停止後、約2秒以上待って[停止■]を押す

■予約録画(➜48～52)をやめる
➡[タイマー切/入]を押す
●本体HDD/DVD側の[■停止]を約3秒以上押しても止まります。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入]を押すと予約録画が再開されます。

HDD・ディスクに予約録画する

●1カ月以内の番組を32番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜51)は1番組(タイトル)として数えます]
VHS側の予約数には影響しません。
●本機の予約録画には以下の3とおりの方法があります。お好みの方法で予約設定をしてください。
・**番組表(Gガイド)を使って予約録画(➜右記)**
・**Gコード®を使って予約録画(➜50)**
・**日時を指定して予約録画(タイマー予約)(➜51)**

■デジタル放送を録画するとき

●HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rには録画できません。(詳しくは➜6)

■録画する番組の映像・音声の記録について
(詳しくは➜11)

HDD RAM -R -RW(V) +R

●**16:9 映像の番組**
➡4:3 映像で記録します。
●**海外ドラマなどの二重放送**
➡主、副音声のどちらか一方のみ記録します。
初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜66)

◆ **16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには**※

HDD RAM

➡ **初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜66)**
二重放送を録画する場合、音声を選ぶ必要はありません。
主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。
※録画後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングすることはできなくなります。(1倍速でダビングします)

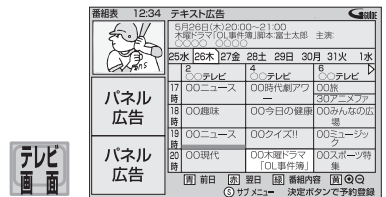
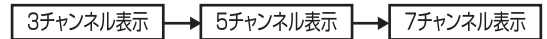
番組表(Gガイド)を使って予約録画する

HDD RAM -R -RW(V) +R

予約したい番組を、番組表(Gガイド)から選ぶだけで予約できます。

番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。(詳しくは➜26,28)

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜35"時刻を合わせ直す")
●DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜4)

1 番組表 を押す

◆番組表(Gガイド)の見かた(➜右ページ)
◆別の日の番組表(Gガイド)を見る
➡[ダビング/青](前日)または[画面表示/赤](翌日)を押す
◆一画面に表示されるチャンネル数を変更する
[音声/黄]を押すごとに、

2 [∧][∨][◀][▶]で予約したい番組を選び、決定 を押す

●予約内容を確認してください。

残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➜右ページ]
タイトル名には"GG" (Gガイド)が付きます。
[N(ニュース)などの特殊な文字は入りません]

◆録画先を変更する
➡[◀][▶]で"録画先"を選び、[∧][∨]で設定する
◆録画モードを変更する
➡[◀][▶]で"モード"を選び、[∧][∨]で設定する
●[録画モード]を数回押しても選べます。
●あらかじめ録画モードを"XP"に設定していても、残量不足による録画の失敗を防ぐために、"FR"(➜44)で設定されます。"XP"で録画する場合は、予約一覧(➜53)から録画モードを選び直してください。
◆タイトル名を変更する
➡[◀][▶]で「タイトル名入力」を選び、[決定]を押す
●文字入力について(➜64)
◆その他予約内容を変更する
➡[◀][▶]で項目を選び、[∧][∨]で設定する

3 決定 を押す

●予約した番組に"予"が表示されます。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のHDD/DVD側の"⊖"が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。

●予約録画待機中でも、HDD・DVDの再生(RAM)、および VHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

●続けて予約する場合は手順2へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

4 HDD・DVDの再生(RAM)、およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS 電源 **を押す**

●電源の切/入に関わらず予約録画は実行されます。
●電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)

■録画先を「VHS」にする➡73ページ手順2へ

■前の画面に戻る➡[**リターン/戻る**]を押す

■番組表(Gガイド)を消す➡[**番組表**]を押す

■予約録画を途中でやめる

➡[**HDD**]または[**DVD**]を押したあと、[**タイマー切/入⊖**]を押す(本体表示窓のHDD/DVD側の"⊖"が消灯)
●本体HDD/DVD側の[**■停止**]を約3秒以上押しても止まります。
●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー切/入⊖**]を押すと予約録画が再開されます。

■予約内容を確認する・取り消す・修正する(➡53)

お知らせ

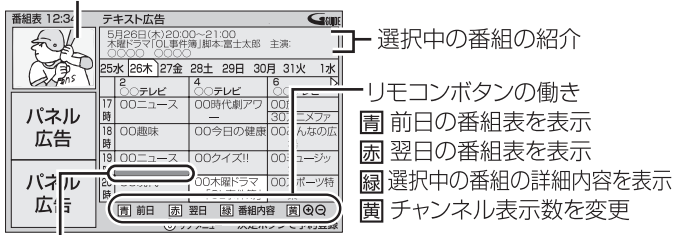
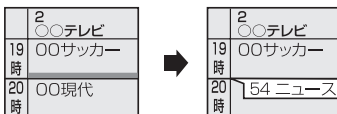
●予約設定画面には、ディスクの残量も表示されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
●テレビ画面に"予約内容にミスがあります。"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
●編集中や1倍速(**➡81**)でダビング中は、予約録画は実行されません。
●HDDとDVD合わせて32番組予約されているときは、録画先が「VHS」しか選べません。VHS側でもすでに16番組予約されているときは、テレビ画面に"予約がいっぱいで登録できません。"と表示されます。不要な予約を取り消してください。(**➡53,76**)
●録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。
●予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。
●予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたときでも、予約番組が野球延長対応機能の対象番組であれば、自動的に録画終了時刻を延長します。(**➡53"野球延長対応機能"**)

■リリーフ(代替)録画について

●以下のような場合、録画先が"DVD"の予約番組は、自動的に録画先を"HDD"に変更して録画されます。
・ディスク残量が足りない場合(トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む)
・高速ダビング中に予約録画が実行された場合
●リリーフ録画された番組(タイトル)には、HDDのタイトル一覧(**➡36**)で"↱"が表示されます。
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

番組表(Gガイド)の見かたと便利な機能

テレビ画面

番組表を表示する前に見ていたチャンネルの映像

短い番組はグレーの線で表示されます。
選ぶと、番組情報が表示されます。

■選んだチャンネルに切り換えてテレビを見る

➡[**停止■**]を押す
●録画中は、録画チャンネル以外に切り換えることはできません。

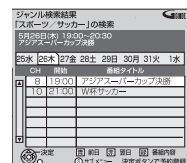
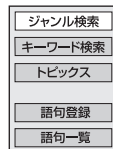
■番組の詳しい内容を見る

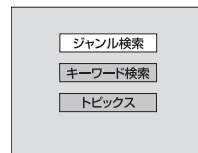
➡番組を選び、[**チャプター作成/緑**](番組内容)を押す

■ジャンル/キーワードで番組を探して予約する、トピックス(映画、音楽、スポーツなどの簡単な情報)**を見る**

➡**1** [**サブ メニュー**]を押す
2 [**∧**][**∨**]で項目を選び、[**決定**]を押す
3 画面指示に従って[**∧**][**∨**]で項目を選び、[**決定**]を押す
●キーワードの"新規登録"(最大登録数:8)を選んだ場合は(**文字入力➡64**)

ジャンル検索
キーワード検索
トピックス
語句登録
語句一覧

4 ジャンル/キーワード検索後、[**∧**][**∨**]で予約したい番組を選び、[**決定**]を押す
●[**ダビング/青**](前日)または[**画面表示/赤**](翌日)を押すと別の日の検索結果を表示します。

機能選択画面から検索を行うこともできます

➡[**機能選択/VHSメニュー**]を押したあと、[**∧**][**∨**]で「番組表の検索」を選び、[**決定**]を押す
(**➡上記手順2へ**)

■語句を登録する/登録語句を消去する

番組表(Gガイド)上の語句を語句一覧に登録しておくと、タイトル入力やキーワード検索のときに呼び出すことができ、便利です。

登録できる語句数:20個まで
登録できる文字数(1個あたり):
半角　登録開始文字から20文字
その他　登録開始文字から10文字

(つづく➡次ページ)

録る

HDD・ディスクに予約録画する

HDD・ディスクに予約録画する(つづき)

番組表(Gガイド)の見かたと便利な機能
(つづき)

◆**語句を登録する**

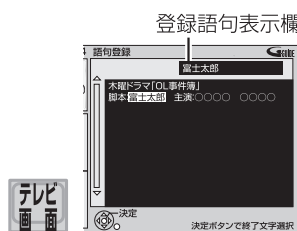
➡ **1** [∧][∨][◀][▶]で登録したい語句が表示されている番組を選び、[**サブ メニュー**]を押す

2 [∧][∨]で「語句登録」を選び、[**決定**]を押す

3 [∧][∨][◀][▶]で登録開始文字を選び、[**決定**]を押す

4 [∧][∨][◀][▶]で登録終了文字を選び、[**決定**]を押す

5 [◀]で「登録」を選び、[**決定**]を押す

登録語句表示欄

◆**登録語句を消去する**

➡ **1** [**サブ メニュー**]を押す

2 [∧][∨]で「語句一覧」を選び、[**決定**]を押す
●登録語句が一覧表示されます。

3 [∧][∨][◀][▶]で消去したい語句を選び、[**サブ メニュー**]を押す

4 「語句消去」が選ばれている状態で、[**決定**]を押す

5 [◀]で「消去」を選び、[**決定**]を押す

Gコード®を使って予約録画する

HDD RAM -R -RW(V) +R

Gコード®(➜**下記**)を入力するだけで予約できます。

Gコード®とは
テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。
(最大8けた)

■**予約を正しく行うために**
●ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。(➜**30,31**)

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜**25**)
●[HDD]または[DVD]を押す。(➜**15**)
●本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜**35"時刻を合わせ直す"**)
●DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜**4**)

1 [Gコード] **を押す**

2 Gコード®を入力する
①~⑩を押す

◆**Gコード®を間違えたとき**
➡ **[◀]または[取消し/11]を押して、再度入力する**

3 (決定) **を押す**
●予約内容が表示されます。

残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[**リリーフ(代替)録画➜49**]

◆**録画先を変更する**
➡ **[◀][▶]で"録画先"を選び、[∧][∨]で設定する**

◆**録画モードを変更する**
➡ **[◀][▶]で"モード"を選び、[∧][∨]で設定する**
●録画モードについて(➜**44**)
●あらかじめ録画モードを"XP"に設定していても、残量不足による録画の失敗を防ぐために、"FR"(➜**44**)で設定されます。"XP"で録画する場合は、予約一覧(➜**53**)から録画モードを選び直してください。
●[**録画モード**]を数回押しても選べます。

◆**予約する番組(タイトル)の「タイトル名入力」をする**
➡ **[◀][▶]で「タイトル名入力」を選び、[決定]を押す**
●文字入力について(➜**64**)
●入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的にタイトル名が付きます。

◆ "CH"の項目が「G−−」になっているとき

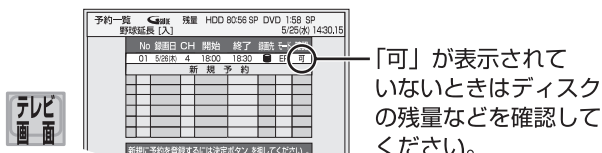
ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

➡ "CH"が選ばれている状態で、[∧][∨]で予約したいチャンネルに合わせる
- 予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。(➜30)

◆ その他の予約内容を変更する

➡ [◀][▶]で項目を選び、[∧][∨]で設定する

4 決定を押す

- 予約内容一覧画面が表示されます。

「可」が表示されていないときはディスクの残量などを確認してください。

- 続けて予約する場合は手順1へ戻ります。

5 タイマー切/入を押す

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のHDD/DVD側の"◴"が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。

- 予約録画待機中でも、HDD・DVDの再生(RAM)、およびVHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

6 HDD・DVDの再生(RAM)、およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS 電源を押す

- 電源の切/入に関わらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)

■ 画面を消す

➡ [リターン/戻る]を数回押す

■ 予約録画を途中でやめる

➡ [HDD]または[DVD]を押したあと、[タイマー切/入◴]を押す(本体表示窓のHDD/DVD側の"◴"が消灯)
- 本体HDD/DVD側の[■停止]を約3秒以上押しても止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[タイマー切/入◴]を押すと予約録画が再開されます。

■ 予約内容を確認する・取り消す・修正する(➜53)

お知らせ
- 予約設定中に[VHS]を押してしまったときは、VHS側の画面に切り換わります。[HDD]または[DVD]を押すと、予約設定画面に戻ります。
- 予約設定画面には、ディスクの残量も表示されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
- テレビ画面に"予約内容にミスがあります。"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 本体表示窓に"PROG FULL"と表示されたときは、すでに32番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➜53)
- 編集中や1倍速(➜81)でダビング中は、予約録画は実行されません。
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたときでも、予約番組が野球延長対応機能の対象番組であれば、自動的に録画終了時刻を延長します。(➜53"野球延長対応機能")

日時を指定して予約録画する(タイマー予約)

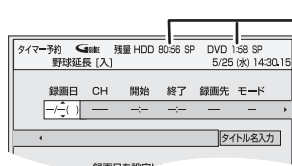
HDD RAM -R -RW(V) +R

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]または[DVD]を押す。(➜15)
  - 本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜35"時刻を合わせ直す")
  - DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜4)

1 予約確認を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「新規予約」を選び、決定を押す

残量
録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。
[リリーフ(代替)録画➜49]

3 予約内容を設定する

[◀][▶]で項目を選び、[∧][∨]で設定する

- 時刻は、[∧][∨]を押し続けると30分単位で変わります。
- "録画日"・"CH"・時刻("開始"・"終了")は[1]〜[10/0]でも選べます。
- "モード"は[録画モード]でも選べます。

◆ 録画日を設定する

[∧][∨]を押すごとに、

◆ 録画を自動更新(オートリニューアル)する

HDD (「毎週」、「毎日」予約の場合のみ)(➜52)

◆ 予約する番組(タイトル)の「タイトル名入力」をする

➡ [◀][▶]で「タイトル名入力」を選び、[決定]を押す
- 文字入力について(➜64)
- 入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的にタイトル名が付きます。

4 決定を押す

「可」が表示されていないときはディスクの残量などを確認してください。

- 続けて予約する場合は手順2へ戻ります。

(つづく➜次ページ)

日時を指定して予約録画する(タイマー予約)(つづき)

5 [タイマー切/入] を押す

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のHDD/DVD側の"◷"が点灯)が、自動的に電源が切れない場合があります。

- 予約録画待機中でも、HDD・DVDの再生(RAM)、およびVHSの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

6 **HDD・DVDの再生(RAM)、およびVHSの再生・録画をしないときは、電源を切る**

[DVD/VHS 電源] を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)

■**画面を消す** ➡ [リターン/戻る] を数回押す

■**予約録画を途中でやめる**

➡ [HDD] または [DVD] を押したあと、[**タイマー切/入**◷] を押す(本体表示窓のHDD/DVD側の"◷"が消灯)

- 本体HDD/DVD側の[**■停止**]を約3秒以上押しても止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー切/入**◷]を押すと予約録画が再開されます。

■予約内容を確認する・取り消す・修正する(➜右ページ)

■ HDD **予約録画する番組を自動更新(オートリニューアル)するには**

「毎週予約」か「毎日予約」で同じ番組を録画する場合、前回録画した番組(タイトル)に上書きして録画するよう設定することができます。

➡ **[◀][▶]で「更新」を選び、[∧][∨]で「入」に設定する**

- 番組(タイトル)にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は上書きされません。[別番組(タイトル)として録画され、次回からそれが更新されます]
- 番組(タイトル)が更新されると、元の番組(タイトル)から作られたプレイリスト(**➜58**)も消去されます。
- HDDの残量が少ないと番組の最後まで上書きされないことがあります。

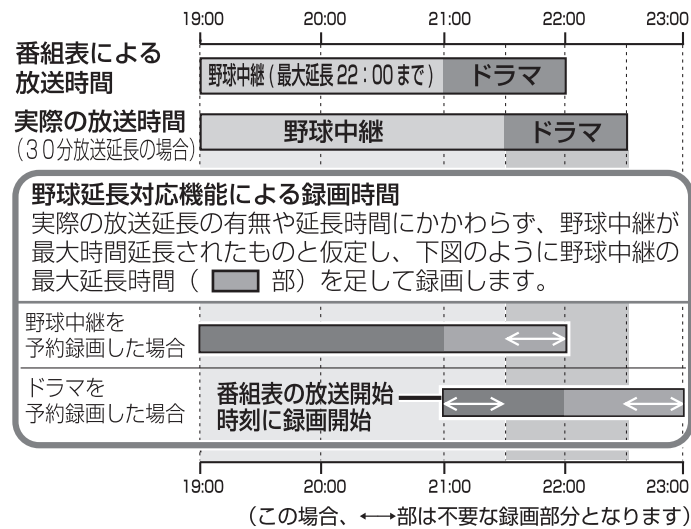
お知らせ

- 予約設定中に[**VHS**]を押してしまったときは、VHS側の画面に切り換わります。[**HDD**]または[**DVD**]を押すと、予約設定画面に戻ります。
- 予約設定画面には、ディスクの残量も表示されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
- 本体表示窓に"PROG FULL"と表示されたときは、すでに32番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(**➜右ページ**)
- 編集中や1倍速(**➜81**)でダビング中は、予約録画は実行されません。
- 録画する番組が連続する場合は、次の番組の始まりがHDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは約30秒間録画されません。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 予約時間内に、野球延長対応機能の対象番組(またはその一部)が含まれている場合は、自動的に録画終了時刻を延長します。(**➜右ページ"野球延長対応機能"**)

野球延長対応機能

「スポーツ中継の延長によって予約番組の放送開始時間が遅れ、最後まで録画できなかった…」野球延長対応機能は、自動的に録画時間を延長することで、このような録画の失敗を防ぎます。
この機能は番組表のデータを読み取り、延長情報(「最大22時まで延長」などの延長に関係する言葉)を検出することで実現しています。

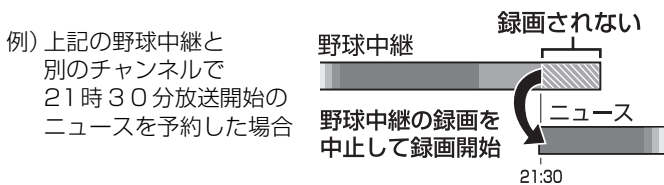
野球延長対応機能が働く条件
19時から21時までの間に放送される野球やサッカーなどのスポーツ番組が番組表に延長情報を含む場合、同じチャンネルの翌朝5時までの番組を自動的に延長録画します。

例)延長情報を含む野球中継、または同じチャンネルのドラマを予約録画すると…

■予約番組が延長録画されるかどうか確認する

➡ 予約一覧画面で確認してください。野球延長対応機能の対象番組には 延 が表示されます。(➜右記)

■延長録画時間が別の予約番組と重なった場合

延長部分の録画よりも新たに始まる予約録画を優先します。延長部分の録画は途中で終了します。

例)上記の野球中継と別のチャンネルで21時30分放送開始のニュースを予約した場合

お知らせ

- 最大で120分、録画時間を延長します。それ以上の放送延長部分は録画されません。
- 野球延長対応機能が働くと、録画後の番組(タイトル)に不要な録画部分が含まれる場合があります **(➜上図)**。編集機能でこの箇所を消去できます。**(➜56)**
- 延長情報に、最大何時まで延長するかの情報が含まれていない場合(例:試合終了まで放送延長の場合など)は、**初期設定**「延長時間」で設定された時間分、録画時間を延長します。**(➜66)**
- 本機で検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。

■野球延長対応機能を無効にする

➡ **初期設定**「野球延長」を「切」に設定する **(➜66)**
- 「切」にした場合、すでに予約した番組も延長されません。(予約登録時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効になります)

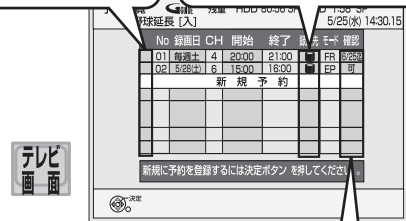
予約内容を確認する・取り消す・修正する

HDD RAM -R -RW(V) +R

予約済みの内容をテレビ画面で確認·取り消し·修正することができます。
また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。(本体の電源が「切」のときでも操作できます)

準備
- テレビ画面で確認·取り消し·修正するときは、テレビに本機の画面を出す。**(➜25)**
- [HDD] または [DVD] を押す。**(➜15)**

1 [予約確認] を押す

- 予約状況が絵文字などで表示されます。

この欄に何も表示されない予約は、何らかの理由で録画ができない場合があります。
必ず、以下のいずれかの表示を確認してください。
可: 録画が可能な番組
ただし、野球延長対応機能の対象番組は次のような表示になります。
延長可:延長部分を含む録画が可能
本編可:延長部分の一部、または延長部分のすべてが録画されない(HDDの残量が足りない場合や、延長部分の録画時間が他の予約と重複する場合など)

例)19時から21時まで放送の野球中継(最大延長22時まで)

月/日迄: 毎週·毎日予約で、録画可能な予約の最終日
代替: HDDにリリーフ(代替)録画 **(➜49)**

- 録画中は内容が正しく表示されない場合があります。

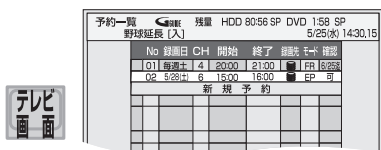
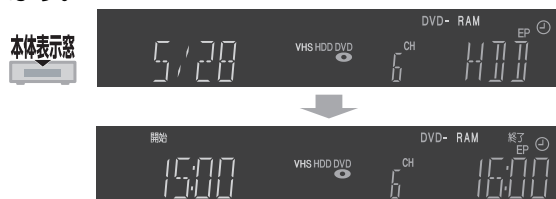
お知らせ

- 実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には一覧から自動的に消去されます。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。実行後、次の予約で重複していない部分がある場合、別の番組として録画されます。

(つづく➜ 次ページ)

HDD・ディスクに予約録画する(つづき)

予約内容を確認する・取り消す・修正する(つづき)

2 取り消し/修正したい予約内容を選ぶ

[∧][∨]で選ぶ

テレビ画面

●本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。

本体表示窓

3 ◆取り消すとき

⑪(取消し)を押す

◆修正するとき

(決定)を押す

1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[∧][∨]で予約内容を修正する

●予約録画中の番組は、録画モードが"FR"以外なら予約終了時刻の変更ができます。

2 [決定]を押す

■**予約一覧画面を消す➡**[**リターン/戻る**]を数回押す
(約1分そのままにしたときは、[**リターン/戻る**]を押さなくても消えます)

予約待機を解除する

準備 ●[HDD]または[DVD]を押す。(➜15)

予約待機中に、(タイマー切/入)を押す

本体表示窓

●本体表示窓の"(時計)"が消えます。
●もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。(本体表示窓のHDD/DVD側の"(時計)"が表示)

お知らせ

●予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
●予約録画中に行うと、予約録画が止まります。
●本体HDD/DVD側の[■**停止**]を約3秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除することができます。

BSデジタル放送などをHDD・ディスクに録画する HDD DVD

本機はBSデジタル放送に対応していません。録画するには、以下の機器と接続してください。
●BSデジタルチューナー内蔵テレビ(➜17)
●地上デジタル・BS・CSデジタルチューナー(➜20)
●CATVホームターミナル(➜23)

■デジタル放送を録画するとき

●HDDまたはCPRM対応のDVD-RAMを使用してください。DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rには録画できません。(詳しくは➜6)

■録画する番組の映像・音声の記録について(詳しくは➜11)

HDD RAM -R -RW(V) +R

●16:9 映像の番組
➜4:3 映像で記録します。

●海外ドラマなどの二重放送
➜主、副音声のどちらか一方のみ記録してください。両音声を記録すると、再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。
接続する機器側で、「主音声」または「副音声」のどちらか一方のみを出力する設定にする
(接続した機器側で音声を選べない場合 ➜右記)

◆ 16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※ HDD RAM

➜ 1 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜66)
2 (二重放送を録画する場合のみ)
接続した機器側で、「主音声」と「副音声」の両方が出力されるように設定する
●主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

※録画後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定の場合は、この操作を行わないことをおすすめします。
・高速でダビングできなくなります。(1倍速でダビングします)
・**主、副音声の両方を記録した番組(タイトル)をダビングすると、ディスクに両音声とも記録され、ディスク再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。**

BSデジタルチューナー内蔵テレビなどから録画する

HDD RAM -R -RW(V) +R

準備
●本体の外部入力(L1～L3)にBSデジタルチューナー内蔵機器などを接続する。(➜17,20)
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押して、録画先を選ぶ。(➜15)
●本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜35"時刻を合わせ直す")
●DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜4)

1 BSデジタルチューナー内蔵機器などを接続した外部入力チャンネルを選ぶ
チャンネル[∧][∨]を押す
L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(後面)に接続したとき

2 録画モード(➜44)を選ぶ
[録画モード]を数回押す

3 テレビ側またはチューナー側で、
録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画を始める
[録画]を押す

■録画をやめる

➜[停止■]を押す

■ディスクの残量に合わせて録画する

➜ぴったり録画(➜46)

お知らせ

●テレビのモニター出力(➜17)から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
●デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
●地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

Ir(アイアール) システムを使って録画する

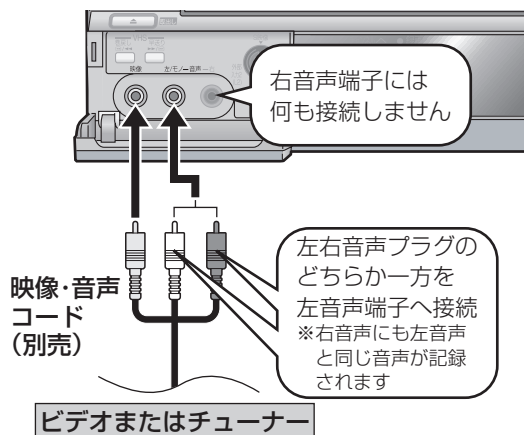
本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム(➜113)に対応しています。チューナーなどから予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送ることで、連動録画ができます。

Irシステムケーブルの設置例

お知らせ

●チューナーなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応していることをご確認ください。
●Irシステムの設置・設定・操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。
●チューナーなどから予約録画の信号を受けたときに、本機がVHS側の操作モードになっていた場合は、VHS側へ録画されてしまうことがあります。HDDまたはDVDに録画したい場合は、本機をHDDまたはDVDの操作モードに切り換えておいてください。(➜15)

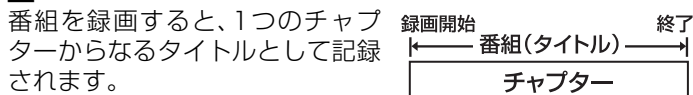
■接続した機器側で音声を選べない場合

録画前に、ビデオやチューナーなどの映像・音声プラグを本機前面のL2端子に接続し直す。

●左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、両方のスピーカーから記録したい音声が出るか確認してください。
●L2端子以外の端子で上記接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出ません。

録画した番組(タイトル)を編集する

録画した番組(タイトル)の不要部分を消去したり、タイトル名を付けたりすることができます。
●ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気を付けください。
●録画中(➜44～55)やダビング中(➜82～104)などは編集できません。
●VHS側でカセットに録画された番組は表示されません。

■タイトル/チャプターについて

番組を録画すると、1つのチャプターからなるタイトルとして記録されます。

HDD RAM
好みの位置で複数のチャプターに区切ることができます。
(➜38,右ページ"チャプターを作成する")

番組(タイトル)
チャプター チャプター チャプター チャプター

最大記録数

タイトル　: HDD 500
RAM -R -RW(V) 99
+R 49
チャプター: HDD (1タイトルあたり)約1000
RAM -R -RW(V) 約1000
+R 約254
(記録状態によって変化します)

(お知らせ)
●二重放送の番組のCM部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。
● -R -RW(V) +R ファイナライズ(➜63,112)すると自動的に約5分ごとのチャプターが作成されます。

番組(タイトル)編集の基本操作

HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

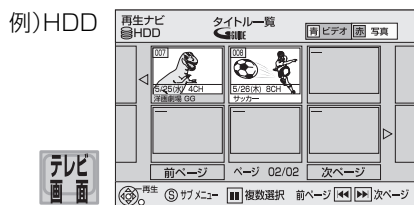
準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押して、編集したい映像が入っているドライブを選ぶ。(➜15)
● RAM ディスク(➜62)やカートリッジ付きディスク(➜62)の誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。

1 再生中または停止中に、

を押す

例)HDD

●タイトル一覧が表示されます。

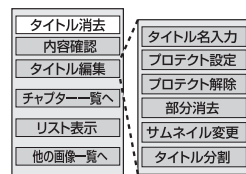
テレビ画面

2 HDD RAM
◆写真(JPEG)一覧が表示されている場合のみ
ダビング 青(ビデオ)を押して、タイトル一覧に切り換える

3 [∧][∨][◀][▶]で編集する番組(タイトル)を選ぶ

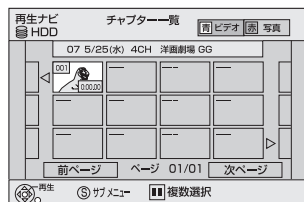
◆前後のページを表示する
➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
●[∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

◆複数の番組(タイトル)をまとめて編集する
➡ [∧][∨][◀][▶]で番組(タイトル)を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

4 サブメニュー S を押す

例)HDD

5 [∧][∨]で編集する項目を選び、決定を押す

●以下、それぞれの編集を行ってください。
(➜下記"番組(タイトル)を編集する")
●「タイトル編集」を選んだときは、さらに[∧][∨]で項目を選び、[決定]を押します。(➜下記"番組(タイトル)を編集する")
◆"チャプター一覧へ"を選んだ場合は(➜手順6へ)

6 [∧][∨][◀][▶]で再生または編集するチャプターを選ぶ

◆前後のページを表示する
➡上記手順3

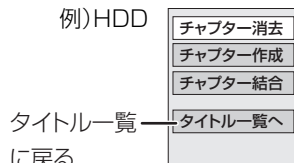
◆複数のチャプターをまとめて編集する➡上記手順3

7 ◆再生する➡[決定]を押す
●選んだチャプターの再生が始まります。

◆編集する
➡[サブ メニュー]を押す
(➜手順8へ)

例)HDD

チャプター消去
チャプター作成
チャプター結合
タイトル一覧へ

タイトル一覧に戻る

8 [サブ メニュー]を押した場合のみ
[∧][∨]で編集する項目を選び、決定を押す

●以下、それぞれの編集を行ってください。
(➜右ページ"チャプターを編集する")

■前の画面に戻る➡[リターン/戻る]を押す
■画面を消す➡[再生ナビ/トップメニュー]を押す

編集中の便利な機能
●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜37,38)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップを使ってチャプターを飛び越すことで、番組(タイトル)の終わりにも飛ぶことができます。

番組(タイトル)を編集する

●左記手順1～5のあとに操作します。

番組(タイトル)を消す　タイトル消去

HDD RAM -R -RW(V) +R
消去すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

6 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

●-R +R 消去しても残量は増えません。
●-RW(V) 最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみディスク残量が増えます。

内容を確認する 内容確認

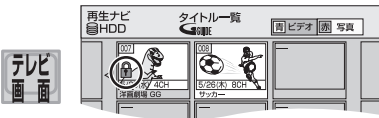
HDD RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)
タイトル名、録画日、チャンネルなどが表示され、確認できます。
◆画面を消す➡[決定]を押す

タイトル名を付ける タイトル名入力

HDD RAM -R -RW(V) +R
●文字入力について(➜64)

誤消去防止の設定/解除 プロテクト設定/解除

HDD RAM
大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組(タイトル)ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

6 [◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す
●プロテクト設定すると🔒が表示されます。解除すると消えます。

番組(タイトル)の不要な部分を消す 部分消去

HDD RAM
録画した番組(タイトル)の消したい部分を指定して消去します。

6 消去する部分の開始点(イン点)で、決定を押す

●編集中の便利な機能(➜左ページ)

7 消去する部分の終了点(アウト点)で、決定を押す

8 [∨]で「終了」を選び、決定を押す
◆続けて別の不要な部分を消去するとき
➡「次へ」を選んで[決定]を押す
(手順9を行ったあと、手順6へ)

9 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

タイトル一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する サムネイル変更

HDD RAM -R -RW(V) +R

6 再生▶を押す

7 お好みの場面で、決定を押す
編集中の便利な機能(➜左ページ)
◆場面を選び直すとき
➡ **1** [∧][∨]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
2 お好みの場面で、[決定]を押す

8 「終了」が選ばれている状態で、決定を押す

1つの番組(タイトル)を2分割する タイトル分割

HDD RAM
分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

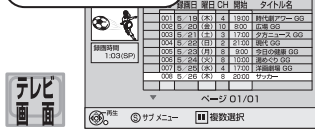
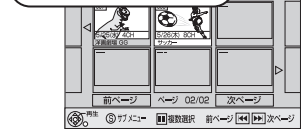
6 分割する位置で、決定を押す
●編集中の便利な機能(➜左ページ)
◆分割点を確認するとき
➡「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す
●分割点の前後10秒間が再生されます。
◆分割点を選び直すとき
➡ **1** [∧][∨]で「分割」を選ぶ
2 [再生▶]を押して、再生を始める
3 分割する場面で、[決定]を押す

7 [∧][∨]で「終了」を選び、決定を押す

8 [◀]で「分割」を選び、決定を押す

お知らせ
●分割した点の前後で、映像や音声が一瞬途切れる場合があります。
●タイトル名(➜左記)や番組の録画制限(➜6)などの情報は、分割した番組(タイトル)の両方に反映されます。

タイトル一覧の表示方法を変更する リスト表示 サムネイル表示

HDD RAM -R -RW(V) +R
タイトル一覧の表示方法の設定ができます。(電源を切っても保持されます)

項目ごとに番組(タイトル)を並べ替える 並び替え

HDD [リスト表示(➜上記)のみ]
たくさんの番組(タイトル)の中から再生したい番組(タイトル)を探すときなどに便利です。再生ナビ画面を消したり、写真の再生ナビ画面に切り換えると取り消されます。

6 [∧][∨]で項目を選び、決定を押す
●それぞれの項目に並べ替えられます。

●「No」以外の項目で並べ替えているときは
・選んだ番組(タイトル)の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません)
・スキップやタイムワープ(➜37,38)は、再生中の番組(タイトル)内でのみ働きます。

写真一覧画面に切り換える 他の画像一覧へ

HDD RAM

6 「写真」が選ばれている状態で、決定を押す

チャプターを編集する

HDD RAM
●左ページ手順1～8のあとに操作します。

チャプターを消す チャプター消去

実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

9 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

チャプターを作成する チャプター作成

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。

9 チャプターを区切る位置で、決定を押す
●編集中の便利な機能(➜左ページ)
●繰り返して複数の位置を指定できます。

10 [∧][∨]で「終了」を選び、決定を押す

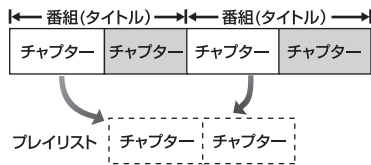
チャプターをつなぐ チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターを1つにつなぎます。

9 [◀]で「結合」を選び、決定を押す

プレイリストを作成・再生・編集する

■プレイリストについて

チャプター作成(➜38,57)で作成した好みのチャプターを集めて、再生したい順に並べたものです。

●ダビング(➜80)すると、ダビング先では番組(タイトル)になります。
●プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。
●プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組(タイトル)やチャプターには影響しません。

HDD RAM

最大記録数

プレイリスト：99

プレイリストのチャプター：約1000(記録状態によって変化します)

●最大記録数を超える場合は、すべて登録されません。

プレイリストを作成する

HDD RAM

●録画中やダビング中は、プレイリストの作成はできません。

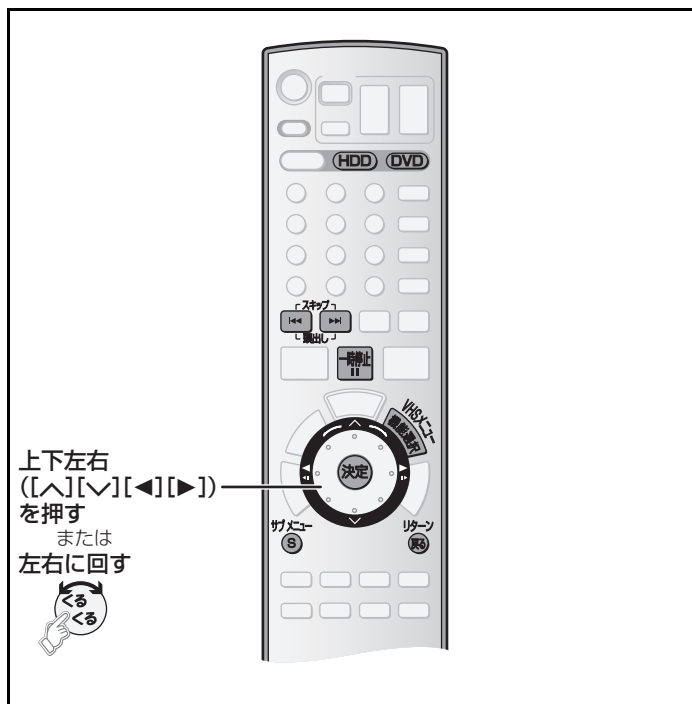
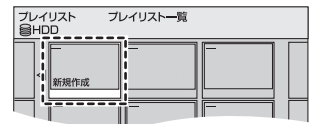
準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押して、編集したい映像が入っているドライブを選ぶ。(➜15)
● RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜62)

1 停止中に、[VHSメニュー 機能選択]を押す

●機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

テレビ画面

3 「プレイリスト編集」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [∧][∨][◀][▶]で「新規作成」を選び、[決定]を押す

●はじめてプレイリストを作成するときは、そのまま[決定]を押してください。

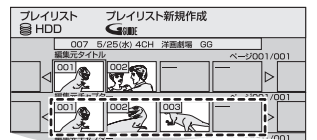
◆前後のページを表示する

➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
●[∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

5 [◀][▶]でプレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元タイトルを選び、[∨]を押す

◆編集元タイトル内のチャプターをすべて選ぶ

➡ 編集元タイトルを選んだあと、[決定]を押す(➜手順7へ)

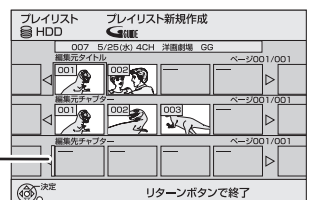
6 [◀][▶]でプレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、[決定]を押す

◆編集元チャプターを選び直す➡[∧]を押す

◆別の編集元タイトルを選ぶ

➡ [∧]を数回押して編集元タイトルの行を選び、手順5に戻る

お知らせ

●編集元タイトルのチャプターを新たに作成することもできます。作成するには、編集元タイトルや編集元チャプターを選んで、[サブ メニュー]を押し、"チャプター作成"を表示させて[決定]を押します。
(操作方法は➜57"チャプターを作成する")

7 手順6で選んだ編集元チャプターの挿入位置を[◀][▶]で選び、[決定]を押す

◆続けて編集元チャプターを追加する

➡ 手順6～7を繰り返す

8 作成が終わったら、[リターン 戻る]を押す

●選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

■前の画面に戻る

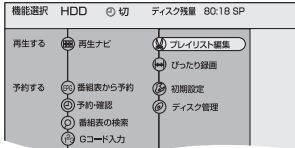
➡ [リターン/戻る]を押す

■画面を消す

➡ [リターン/戻る]を数回押す

プレイリストの再生/編集の基本操作

HDD RAM

-RW(VR)（再生のみ）

●プレイリストのチャプターを編集しても、元のタイトルやチャプターには影響しません。
●録画中やダビング中は、プレイリストの編集はできません。

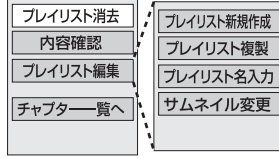
準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]または[DVD]を押して、再生または編集したい映像が入っているドライブを選ぶ。(➜15)
● RAM ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定（プロテクト）を解除(➜62)し、プレイリスト作成(➜左ページ)済みのディスクを入れる。

1 停止中に、[機能選択]を押す
●機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 「プレイリスト編集」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [∧][∨][◀][▶]で再生または編集するプレイリストを選ぶ

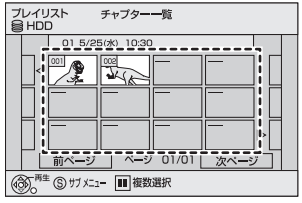
◆前後のページを表示する
➡[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
●[∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

◆複数のプレイリストをまとめて編集する
➡[∧][∨][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す（複数選択）
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

5 ◆再生する➡[決定]を押す
●選んだプレイリストの再生が始まります。

◆編集する
➡[サブ メニュー]を押す
(➜手順6へ)

6 [サブ メニュー]を押した場合のみ
[∧][∨]で編集する項目を選び、[決定]を押す
●以下、それぞれの編集を行ってください。
(➜右記"プレイリストを編集する")
●"プレイリスト編集"を選んだときは、さらに[∧][∨]で項目を選び、[決定]を押します。
(➜右記"プレイリストを編集する")
"チャプター一覧へ"を選んだ場合は(➜手順7へ)

7 [∧][∨][◀][▶]で再生または編集するチャプターを選ぶ

◆前後のページを表示する
➡左記手順4
◆複数のチャプターをまとめて編集する
➡左記手順4

8 ◆再生する➡[決定]を押す
●選んだチャプターの再生が始まります。
◆編集する
➡[サブ メニュー]を押す
(➜手順9へ)

9 [サブ メニュー]を押した場合のみ
[∧][∨]で編集する項目を選び、[決定]を押す
●以下、それぞれの編集を行ってください。
(➜60"プレイリストのチャプターを編集する")

■前の画面に戻る
➡[リターン/戻る]を押す
■画面を消す
➡[リターン/戻る]を数回押す

プレイリストを編集する

●左記手順 1～6 のあとに操作します。

プレイリストを消す　プレイリスト消去

HDD RAM

消去すると、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

7 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

内容を確認する　内容確認

HDD RAM -RW(VR)

作成日などが表示され、確認できます。

◆画面を消す➡[決定]を押す

プレイリストを新しく作成する　プレイリスト新規作成

HDD RAM

(操作方法は➜左ページ"プレイリストを作成する"手順5～7)

プレイリストを複製する　プレイリスト複製

HDD RAM

7 [◀]で「複製」を選び、[決定]を押す
●最も新しいプレイリストとして複製されます。

プレイリスト名を付ける　プレイリスト名入力

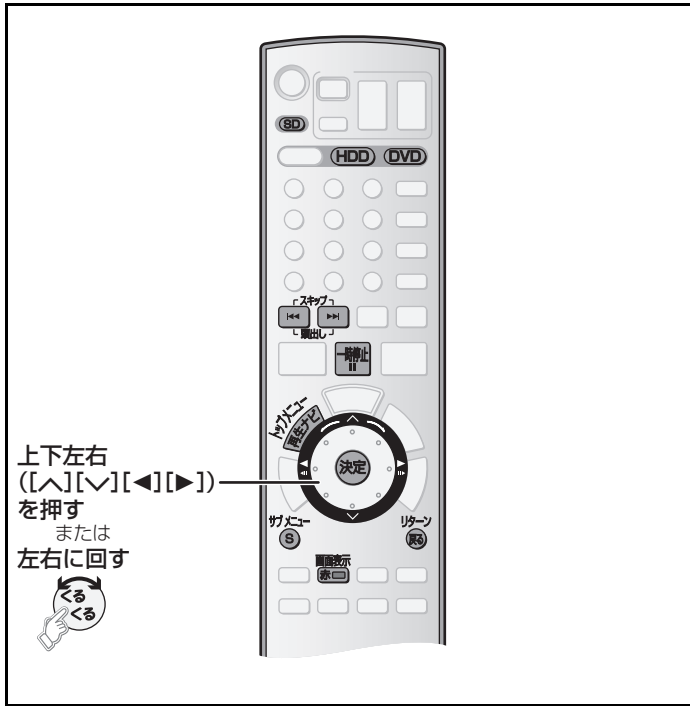
HDD RAM

●文字入力について(➜64)

プレイリスト一覧で表示される画像（サムネイル）を選ぶ　サムネイル変更

HDD RAM

(操作方法は➜57"タイトル一覧で表示される画像（サムネイル）を変更する")

写真を編集する

プレイリストのチャプターを編集する

HDD RAM

●59ページ手順1～9のあとに操作します。

チャプターを追加する [チャプター追加]

(操作方法は➔58"プレイリストを作成する"手順5～8)

チャプターの順番を変える [チャプター移動]

10 [∧][∨][◀][▶]で移動先を選び、(決定)を押す

カーソルが移動します

チャプターを作成する [チャプター作成]

(操作方法は➔57"チャプターを作成する")

チャプターをつなぐ [チャプター結合]

選択中のチャプターと次のチャプターを1つにつなぎます。

10 [◀]で「結合」を選び、(決定)を押す

チャプターを消す [チャプター消去]

10 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

●チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

写真編集の基本操作

HDD RAM SD

●本機では、8 MB～1 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➔5)
●CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

準備
●[HDD]、[DVD]または[SD]を押して、編集したい写真が入っているドライブを選ぶ。(➔15)
●ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➔62)

1 (トップメニュー/再生ナビ)を押す

例)SDメモリーカード

2 HDD RAM
(画面表示 赤)(写真)を押して、写真(JPEG)一覧に切り換える

3 [∧][∨][◀][▶]で編集したい写真を選ぶ

◆前後のページを表示する
➡[◀◀](前ページ)または[▶▶](次ページ)を押す
●[∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

◆複数の写真をまとめて編集する
➡[∧][∨][◀][▶]で写真を選び、[一時停止II]を押す操作を繰り返す(複数選択)
●☑が表示されます。もう一度[一時停止II]を押すと解除されます。

◆別フォルダの写真を選ぶ(➔42)

4 (サブメニュー S)を押す

例)SDメモリーカード

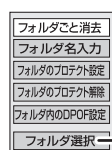
5 [∧][∨]で編集する項目を選び、(決定)を押す

●以下、それぞれの編集を行ってください。
(➔右ページ"写真を編集する")

■前の画面に戻る
➡[リターン/戻る]を押す

■画面を消す
➡[再生ナビ/トップメニュー]を押す

■フォルダごと編集する
●左ページ手順 1～2のあとに操作します。
➡ **1** **[∧]で「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す**
2 **[∧][∨]で編集したいフォルダを選び、[サブ メニュー]を押す**
例)SDメモリーカード

フォルダごと消去
フォルダ名入力
フォルダのプロテクト設定
フォルダのプロテクト解除
フォルダ内のDPOF設定
フォルダ選択

RAM SD
上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ表示されます。
上位フォルダを切り換えるには
➡ [決定]を押したあと、[◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

●前後のページを表示する➡**左ページ手順3**
●複数のフォルダをまとめて編集する
➡**左ページ手順3**
3 **編集する項目を選び、[決定]を押す**
●以下、それぞれの編集を行ってください。
(➡下記"写真を編集する")

写真を編集する

●左ページ手順1～5のあと、または上記手順**1**～**3**のあとに操作します。

消去する 写真の消去 フォルダごと消去

HDD RAM SD

消去すると、元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから行ってください。

6 **[◀]で「消去」を選び、決定を押す**
●フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。(フォルダ内の下位フォルダは除く)

フォルダ名を付ける フォルダ名入力

HDD RAM SD

●文字入力について(➡64)
●本機で入力したフォルダ名は、他の機器では表示されないことがあります。

誤消去防止の設定/解除
写真のプロテクト設定/解除
フォルダのプロテクト設定/解除

HDD RAM SD

6 **[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す**
●プロテクトを設定すると"🔒"が表示されます。解除すると消えます。
●本機でフォルダにプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。

番組(タイトル)一覧画面に切り換える
他の画像一覧へ

HDD RAM

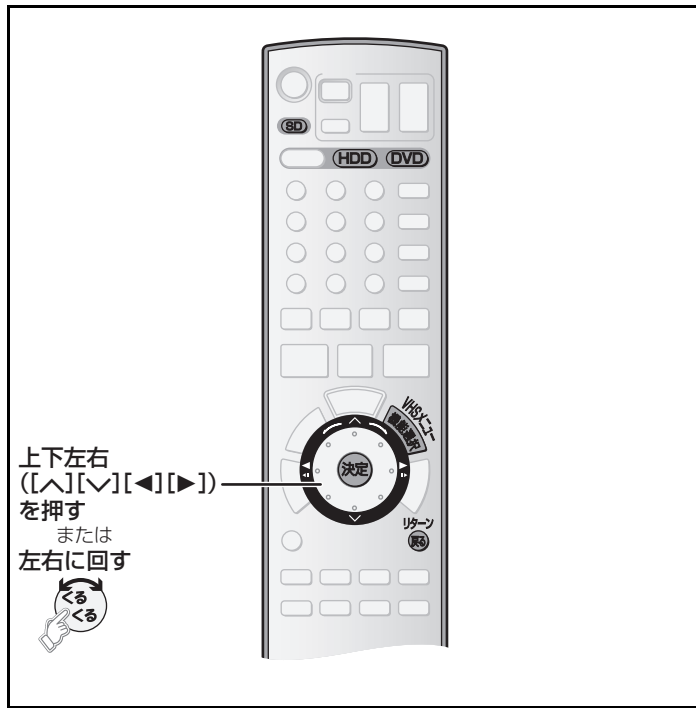
6 **「ビデオ」が選ばれている状態で、決定を押す**

プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する
写真のDPOF設定 フォルダ内のDPOF設定

SD

6 **[◀][▶]で枚数(0枚～9枚)を選び、決定を押す**
●DPOFマークが表示されます。(「フォルダ内のDPOF設定」では設定したフォルダの中の写真に表示されます)

■**設定を解除する➡「0枚」に設定する**
●本機での設定は他の機器で見られない場合があります。
●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。
●写真やフォルダがDCF規格(**➡43"HDD RAM SD 写真(JPEG/TIFF)について"**)でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

HDD・ディスクやカードを整理する

HDD　RAM　-R　-RW(V)　+R　SD

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [HDD]、[DVD]または[SD]を押して、編集したいドライブを選ぶ。(➜15)
- RAM　SD ディスク(➜右記)やカートリッジ付きディスク(➜右記)、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。

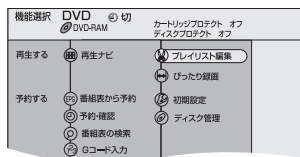
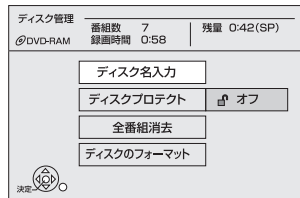
ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)

RAM　-R　-RW(V)　+R

ディスクごとにタイトルを付けることができます。

1 停止中に、を押す

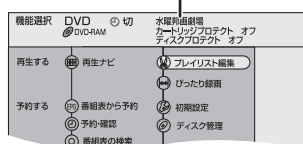
- 機能選択画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [∧][∨]で「ディスク管理」を選び、決定を押す

4 「ディスク名入力」が選ばれている状態で、決定を押す

- 文字入力について(➜64)

入力したディスク名は、[機能選択/VHSメニュー]を押すと表示されます。

例)DVD-RAM

-R　-RW(V)　+R
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

■前の画面に戻る➜[リターン/戻る]を押す

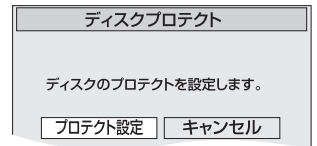
■画面を消す➜[リターン/戻る]を数回押す

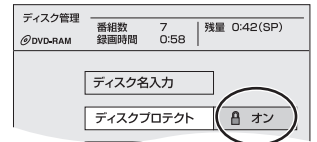
誤消去防止の設定/解除(ディスクプロテクト)

RAM

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

- 左記手順1～3のあとに操作します。

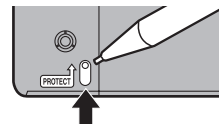
4 [∧][∨]で「ディスクプロテクト」を選び、決定を押す

5 [◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

- プロテクト設定すると"🔒 オン"が表示されます。

■前の画面に戻る➜[リターン/戻る]を押す

■画面を消す➜[リターン/戻る]を数回押す

カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合

本機で上記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定(プロテクト)ができます。

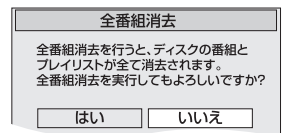
カートリッジ付きディスク　　SDメモリーカードなど

設定すると、本機に入れたとき自動的に再生します。

スイッチを「LOCK」側にする。

番組(タイトル)をすべて消去する(全番組消去)

HDD　RAM

- 左記手順1～3のあとに操作します。

4 [∧][∨]で「全番組消去」を選び、決定を押す

5 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

6 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

- **実行すると元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。

■前の画面に戻る➜[リターン/戻る]を押す

■画面を消す➜[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ

- 番組(タイトル)を全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- プロテクトを設定した番組(タイトル)がある場合は、働きません。

ディスクやカードを初期化する
(HDDのフォーマット/ディスクのフォーマット/カードのフォーマット)

HDD RAM -RW(V) -RW(VR) SD

- SD 本機では、8 MB～1 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜5)

フォーマット(➜112)を実行すると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません(パソコンのデータなども含む)。すべて消してよいか確認してから行ってください。[番組(タイトル)やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます]

- 左ページ手順1～3のあとに操作します。(カードの場合は、手順3で「カード管理」を選んでください)

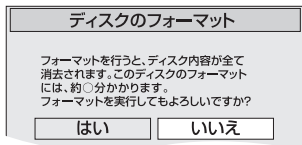
4 [∧][∨]で「ディスクのフォーマット」を選び、決定を押す

例)DVD-RAM

テレビ画面

ディスクのフォーマット

フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。フォーマットを実行してもよろしいですか?

はい　いいえ

- HDDを選んでいるときは「HDDのフォーマット」を、SDを選んでいるときは「カードのフォーマット」を選んでください。

5 [◄]で「はい」を選び、決定を押す

6 [◄]で「実行」を選び、決定を押す

- フォーマットが始まります。通常は数分、DVD-RAMでは最大約70分かかります。

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。**ディスクやカードが使えなくなることがあります。

■ **フォーマットを中止する➡[リターン/戻る]**を押す
- RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

■ **前の画面に戻る➡[リターン/戻る]**を押す

■ **画面を消す➡[リターン/戻る]**を数回押す

お知らせ

- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- DVD-R、+R、CD-R/RWはフォーマットできません。
- 本機ではDVD-RWをフォーマットすると、DVD-Video方式になります。

他の機器で再生できるようにする
[トップメニュー/ファーストプレイ選択/他のDVD機器再生(ファイナライズ)]

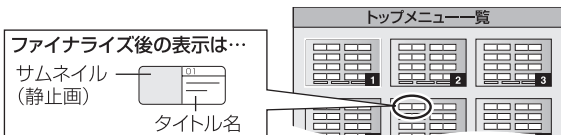
-R -RW(V) +R

本機で録画したDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます。

- 左ページ手順1～3のあとに操作します。

トップメニュー

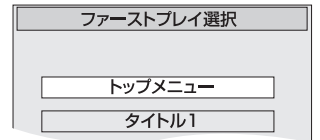
ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

4 [∧][∨]で「トップメニュー」を選び、決定を押す

5 [∧][∨][◄][►]でお好みの背景を選び、決定を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。[➜57"タイトル一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する"]

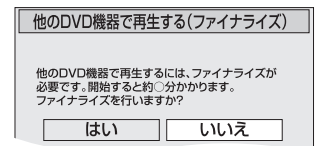
ファーストプレイ選択

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

6 [∧][∨]で「ファーストプレイ選択」を選び、決定を押す

7 [∧][∨]で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定を押す

トップメニュー：画面を表示する
タイトル1　　：ディスクの先頭から再生する

他のDVD機器再生(ファイナライズ)(➜112)

8 [∧][∨]で「他のDVD機器再生(ファイナライズ)」を選び、決定を押す

9 [◄]で「はい」を選び、決定を押す

10 [◄]で「実行」を選び、決定を押す

- ファイナライズが始まります。残量が少ない場合は数分、最大約15分かかります。中断できません。

お知らせ

- **ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。**ディスクが使えなくなります。

■ **前の画面に戻る➡[リターン/戻る]**を押す

■ **画面を消す➡[リターン/戻る]**を数回押す

お知らせ

- 本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
- 本機でファイナライズされたディスクは、記録状態により他のDVDプレーヤーでは再生できない場合があります。
  再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(約4倍)
- ファイナライズすると…
  - ・-R +R **再生専用となり、録画や編集はできなくなります。**
  - ・-RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(**➜左記**)すると、繰り返して録画や編集ができます。
  - ・高速モードでダビングした番組(タイトル)では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
  - ・直接録画した番組(タイトル)や、高速モード以外でダビングした番組(タイトル)では、約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します)
  - ・番組(タイトル)やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。

文字入力

録画した番組(タイトル)などに名前を付けたり、番組表(Gガイド)で検索するキーワードを入力します。

入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
HDD DVD-RAM	タイトル名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名	36	18
	ディスク名 (DVD-RAMのみ)	64	32
DVD-R DVD-RW(DVD-Video方式) +R	タイトル名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	フォルダ名	36	18
番組表(Gガイド)	キーワード	30	15

※予約録画時　半角英数:44文字　　その他:22文字

お知らせ

●予約録画時のタイトル名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

1 入力画面を表示する

◆予約録画する番組(タイトル)に名前を付ける
「タイトル名入力」を選ぶ
(➜48手順2、➜50手順3、➜51手順3)

◆録画した番組(タイトル)に名前を付ける
「タイトル名入力」を選ぶ(➜56手順5)

◆プレイリストに名前を付ける
「プレイリスト名入力」を選ぶ(➜59手順6)

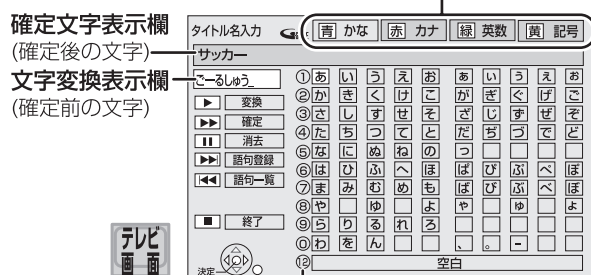
◆ディスクに名前を付ける
「ディスク名入力」を選ぶ(➜62手順4)

◆写真のフォルダに名前を付ける
「フォルダ名入力」を選ぶ(➜60手順5)

◆番組表(Gガイド)で検索するキーワードを入力する
(➜49"ジャンル/キーワードで番組を探して予約する"手順3)

2 入力する文字の種類を選ぶ

[青](かな)、[赤](カナ)、[緑](英数)、[黄](記号)を押して、[決定]を押す

●[∧][∨][◀][▶]で文字の種類を選んで、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選ぶ

[∧][∨][◀][▶]で選び、[決定]を押す

●確定文字表示欄では"_"の部分に文字が挿入されます。
●この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

◆ひらがなを入力する
➡[早送り▶▶](確定)を押す

◆ひらがなを漢字変換する
➡ **1** [再生▶](変換)を押す
●変換候補選択画面が表示されます。
2 [∧][∨]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
●[|◀◀]または[▶▶|]を押すと、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
●[リターン/戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

◆よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出す
(➜下記)

◆消去する
➡[一時停止❚❚](消去)を押す

4 入力が終わったら、

[停止■](終了)を押す

●"書き込み中です…"と表示されたあと、タイトル一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

■途中で終わる
➡[リターン/戻る]を数回押す(文字は入力されません)

よく使う語句を登録する

登録できる語句数:20個まで
登録できる文字数(1個あたり): 半角英数　先頭から20文字
その他　先頭から10文字

1 登録したい語句を入力後、[スキップ▶▶|頭出し](語句登録)を押す

2 [◀]で「登録」を選び、[決定]を押す

■登録を中止する➡[リターン/戻る]を押す
■番組表(Gガイド)上の語句を登録する➡(➜49)

登録した語句を呼び出す

1 [スキップ|◀◀頭出し](語句一覧)を押す

2 [∧][∨][◀][▶]で呼び出す語句を選び、[決定]を押す

●確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。

登録した語句を消去する

1 [スキップ|◀◀頭出し](語句一覧)を押す

2 [∧][∨][◀][▶]で消去する語句を選び、[サブメニュー S]を押す

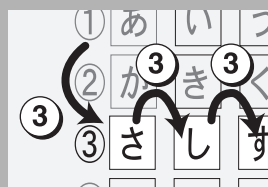
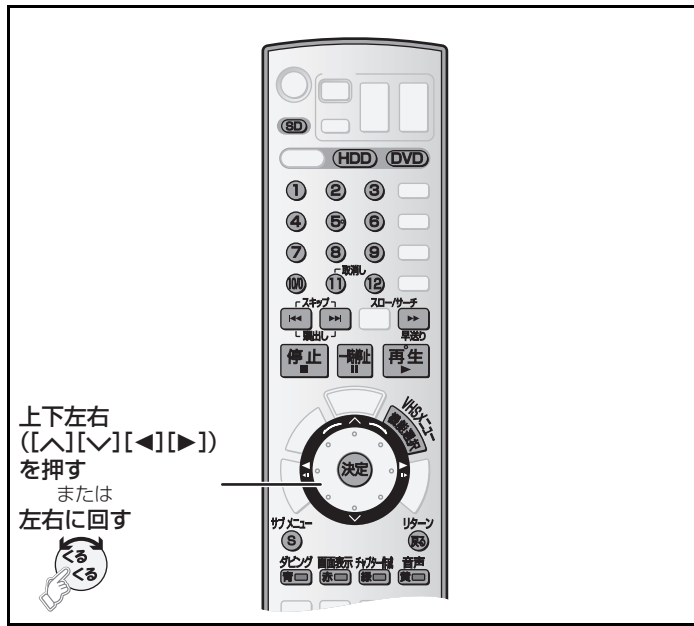
3 「語句消去」が選ばれている状態で、[決定]を押す

4 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す

■前の画面に戻る➡[リターン/戻る]を数回押す

[1]～[10/0]、[12]でも文字を入力できます。
例:ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す
●「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

本機の設定を変える（初期設定一覧） HDD DVD

初期設定変更の基本操作

初期設定一覧（➜65～67）をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。（➜25）
●[HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。（➜15）

例）「自動電源〔切〕」の設定を変える場合

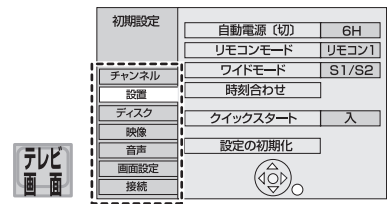
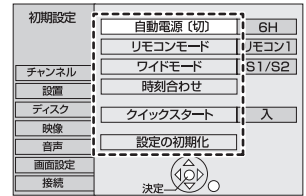
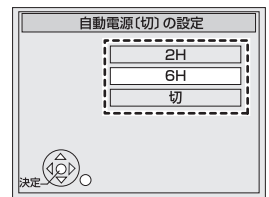
1 停止中に、VHSメニュー 機能選択 を押す

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [∧][∨]で「初期設定」を選び、決定 を押す
●初期設定画面が表示されます。

4 [∧][∨]でメニュー（「設置」）を選び、[▶] を押す

5 [∧][∨]で設定項目（「自動電源〔切〕」）を選び、決定 を押す

6 [∧][∨]で設定内容を選び、決定 を押す

■**ひとつ前の画面に戻る**➡[リターン/戻る]を押す
■**初期設定画面を消す**➡[リターン/戻る]を数回押す

お知らせ
●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
チャンネル	市外局番チャンネル設定（➜26）	▶市外局番入力
	マニュアルチャンネル設定（➜30）	▶CH ▶表示 ▶放送局名 ▶ガイド ▶微調整
	BSアンテナ設定（➜31）	▶BS電源 ▶ウェザーポジション ▶BSチャンネル ▶BSシステム
	番組表設定（➜32）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●Gガイド地域（➜32）	お住まいの地域を設定します。
	●ホスト局（➜32）	番組表（Gガイド）データの送信局を設定します。
	●データ受信時刻（➜33） 通常は変更しないでください。	→[決定]を押して、確認画面で「設定」を選んで[決定]を押し、さらに設定します。 ●<u>自動</u> ●時/分：[取消し/11]を押した場合やデータ受信後は、「自動」に戻ります。
設置	自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2H ▶<u>6H</u> ▶切
	リモコンモード（➜34）	▶<u>リモコン1</u> ▶リモコン2 ▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 （➜22） （S映像出力 ➜113）	▶S1 ：テレビの端子が「S」または「S1」のとき。 ▶<u>S1/S2</u>：テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶切 ：テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ（➜35）	▶（年/月/日/時/分） ▶自動時刻チャンネル
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。 ●[番組表]を押して約1秒後に、番組表（Gガイド）を表示します。（➜48,73） ●[DVD/VHS電源]を押して約1秒後にHDD、DVD-RAMへの録画が可能な状態になります。（➜45） 「入」設定時は、待機時消費電力が増えます。	▶<u>入</u> ▶切
	設定の初期化 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 （チャンネルの設定、時刻と視聴制限は除く）	▶する ▶<u>しない</u>

本機の設定を変える（初期設定一覧）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
ディスク	**再生設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**視聴制限** DVDビデオの視聴制限ができます。 ・暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ・**暗証番号は忘れないでください。**	▶レベル8 すべて視聴可：すべてのディスクが視聴可。 ▶レベル7～1：制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶レベル0 すべて視聴不可：すべてのディスクが視聴不可。 ▶ロック解除　▶暗証番号変更　▶レベル変更　▶一時解除
	●**DVD-AudioのVideoモード再生** DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	▶入（電源「切」または本体の[▲開/閉]で「切」に戻ります） ▶切
	●**音声言語** DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶日本語　▶英語 ▶オリジナル（ディスクの最優先言語で再生） ▶その他＊＊＊＊ （＊には[1]～[10/0]で言語番号(➜右ページ)を入力（選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(➜36)でのみ切り換えるものもあります））
	●**字幕言語** DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶オート： 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶日本語　▶英語　▶その他＊＊＊＊
	●**メニュー言語** テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶日本語　▶英語　▶その他＊＊＊＊
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**EP時の記録時間** 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 （録画モード➜44）	▶EP（6H）：4.7 GBディスクに6時間記録 ▶EP（8H）：4.7 GBディスクに8時間記録
	●**高速ダビング用録画** HDDに録画後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。（➜右記） 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、DVD-R、DVD-RW(DVDVideo方式)、+Rへの高速ダビングはできなくなります。	▶入：高速ダビング対応にする →[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。 ・録画される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは 4：3 になります。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜ 下記)で選んだほうの音声のみ記録されます。 ・本機を接続した入力(ビデオ 1 など)でテレビを視聴中、音声を切り換えることはできなくなります。(二重放送の音声は、「二重放送音声記録」で選ばれている方が出力されます) ▶切
	野球延長設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**野球延長** 「入」に設定すると、番組表に延長情報を含む番組と、同じチャンネルのそれ以降に放送される番組を予約録画する際、自動的に録画時間を延長します。（➜53）	▶入　▶切 予約時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効となります。
	●**延長時間** 延長録画を何分行うかを設定します。	▶30分　▶60分　▶120分 通常は、番組の最大延長時間に合わせて最大120分、録画を延長します。番組表に最大何分延長するかの情報が含まれていない場合(例：試合終了まで放送延長の場合など)のみ、ここで設定された時間分、延長録画を行います。
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 （フレーム/フィールド➜112）	▶オート ▶フィールド：動きのある映像や“オート”時にぶれが生じるとき ▶フレーム　：“オート”時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生する状態が選べます。	▶入：なめらかに再生(早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶切：精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	S-VHSダビング設定 S-VHS方式またはS-VHS ET方式で記録されたテープからディスクへダビングするときに、S-VHS方式でダビングするか、SQPBでダビングするかを選びます。 （➜91）	▶S-VHS 再生：S-VHS方式のまま再生し、ダビングするとき。Y(輝度信号)の帯域が広いままでダビングできるので、より高画質となります。 ▶SQPB：VHS方式で再生し、ダビングするとき。(S-VHS本来の高画質にはなりません)
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶入（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ▶切
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。 ●DVD-R、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R に録画/ダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」(➜上記)を「入」にして録画する場合 ●「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜右ページ)を「LPCM」にして録画する場合	▶主音声　▶副音声 他のビデオからのダビングなど、外部入力から録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声	**デジタル出力**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHz に変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。	▶**入**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶**切**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。
	●**Dolby Digital** ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 ドルビーデジタル DOLBY DIGITAL
	●**DTS** DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream：DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶PCM：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。 DTSデジタルサラウンド DIGITAL dts SURROUND
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。(XPでの録画時やダビング時に働きます)	▶Dolby Digital(➜113) ▶LPCM(➜113)： ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜左ページ)であらかじめ選んでください。
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶入 ▶切(表示しない)
	ブルーバック 受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	▶入 ▶切(表示しない)
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	▶常時 明 ▶常時 暗 ▶オート：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。 「常時 暗」または「オート」に設定したときは、本体のワンタッチダビングボタンの周りのランプが消灯します。
接続	**接続するTV** 接続したテレビに合わせて設定します。(➜33)	▶4:3インターレース(525i) ▶4:3プログレッシブ(525p)対応 ▶16:9インターレース(525i) ▶16:9プログレッシブ(525p)対応
	TVアスペクト(4:3)設定 4:3テレビでの16:9映像の映しかたを選びます。 ●DVD-Video	▶パン&スキャン：左右の切れた映像で再生するとき。 ・パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき。
	TVアスペクト(4:3)設定 ●DVD-RAM	▶スルー：録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶パン&スキャン：左右の切れた映像で再生するとき。 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき。
	外部入力3の端子設定 後面の外部入力3(L3)に接続する機器に合わせて設定します。	▶ライン：BSデコーダー以外と接続したとき。 ▶BSデコーダー：BSデコーダーと接続したとき。

言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387
アイマラ	6589	オランダ	7876	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイルランド	7165	カザフ	7575	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア(白ロシア)	6669
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アファル	6565	ガリチア	7176	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アフリカーンス	6570	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アムハラ	6577	カンボジア	7577	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アラビア	6582	キルギス	7589	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ(マレー)	7783
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルメニア	7289	クルド	7585	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
イタリア	7384	クロアチア	7282	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ヴォラピュック	8679	ゲール		チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウクライナ	8575	（スコットランド）	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウズベク	8590	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
英語	6978	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
エストニア	6984	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エスペラント	6979	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285

VHSを再生する

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[VHS]を押す。(➜15)

1 録画済みのカセットを入れる

●自動的に電源が入ります。

2 再生を始める

[再生 ►]を押す

■停止する➡ [停止■]を押す

■カセットを取り出す

➡【本体】　[▲取出し]を押す
【リモコン】[VHS]を押したあと、[停止■]を約3秒以上押す
●VHS側が予約録画の待機中(➜73)のときは働きません。

お知らせ

●誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
●カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生►]を押すだけで再生を始めます。
●5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜右ページ)

SQPB(S-VHS 簡易再生)機能について
(SQPB＝ S-VHS　Quasi Playback)

●S-VHS方式で録画された S-VHS カセットも再生することができます。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
●デジタル(D-VHS)方式で録画された D-VHS カセットは再生できません。

プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむとき

VHSの再生時も、DVDのプログレッシブ回路をとおして、本機後面のD1/D2映像出力端子からVHSの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。
(プログレッシブ ➜112)
このときは同時にHDDまたはDVDで地上波放送･外部入力の録画を行うことはできません。

以下の準備･設定を行ってください。

1 本機とテレビをD端子ケーブル(別売)、またはD端子ピンケーブル(別売)を使って接続する(➜21)
2 [HDD]、[DVD]または[SD]を押して、初期設定「接続するTV」で「4：3プログレッシブ(525p)対応」、または「16：9プログレッシブ(525p)対応」を選ぶ(➜33,67)
3 HDD/DVD/SD側で"TP"チャンネルを選ぶ(➜81)
(VHS側の映像が映ります)

上記の準備･設定のあと、[VHS]を押してVHS側に切り換え、VHS側の再生操作を行ってください。

再生中のいろいろな操作

早送り/巻き戻し

停止中に、[◄◄ 巻戻し]または[►► 早送り]を押す

●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
●早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。
また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。

高速リターン

を押す

高速で巻き戻しします。

●テープカウンター表示は出ません。
●高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。
また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
●カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
●始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"0:00.00"になります。
●途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

早送り/巻き戻し再生

[◄◄ 巻戻し]または[►► 早送り]を短く押す(または押し続ける)

短く押すごとに速度が切り換わります。

標準のとき　　　：約9倍速⟷約13倍速
3倍･5倍のとき：約27倍速⟷約43倍速

●マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります(3段階)。速度を遅くすることはできません。再生速度は、録画モード(➜71)によって異なります。
●[再生►]で通常再生に戻ります。
●[巻戻し ◄◄][早送り ►►]を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。

お知らせ

●音声は出ません。
●13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。
●5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
●テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
●約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

一時停止（静止画）

[一時停止] を短く押す

- もう一度押すと、再生を再開します。
- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- 静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

スロー再生

[一時停止] を約2秒以上押し続ける

- 一時停止中に、マルチジョグの左回し/右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。
  右回し：スロー再生（3段階）
  左回し：逆再生（逆スロー再生はできません）
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

自動巻戻し再生

同じ番組を繰り返し再生します。

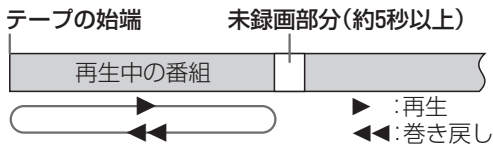
[再生] を約5秒以上押し続ける

テレビ画面

- もう一度[再生▶]を押すと通常再生に戻ります。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
- この機能は解除するまで働き続けます。

お知らせ

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。（未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます）

テープの始端　未録画部分（約5秒以上）
再生中の番組
▶：再生
◀◀：巻き戻し

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

自動CM早送り再生

CMを自動的に早送りして再生します。

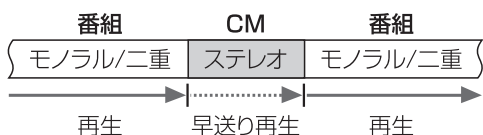
再生前または再生中に、[30秒スキップ] を押す

テレビ画面

- "自動CM早送り 入"を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- 解除するには[30秒スキップ]を押し、"自動CM早送り 切"を表示させます。
- 電源を切っても解除されます。

お知らせ

- 番組がモノラル放送または二重放送（2カ国語放送など）で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  （CMの前後が少し切れた状態で再生されます）

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	早送り再生	再生

- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき（CMも通常どおり再生されます）
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
  - ・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
  - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

① **トラッキングがずれている**
（白い帯状のノイズが出るときなど）

② **ビデオヘッドが汚れている**
（画面全体にノイズが出るときなど）

③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

準備 ●[VHS]を押す。（➜15）

① トラッキングを調整するには

再生中に、[再生設定+]または[予約延長−]を押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- [再生設定(＋)]と[予約延長(−)]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お知らせ

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体VHS側のチャンネル[∨][∧]でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングするには

再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。
またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。

本体表示窓

テレビ画面

乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）（➜105）を入れ、[録画]を押して約10秒間録画する

- 約10秒後に[停止■]を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるときは

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、[再生設定+]または[予約延長−]を押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- [再生設定(＋)]と[予約延長(−)]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ

- 本体VHS側のチャンネル[∨][∧]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。
  （テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください）

VHSを再生する(つづき)

時刻、テープカウンター、テープ残量を確認する

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[VHS]を押す。(➜15)

を押す

5秒以内に押すごとに、下図のように表示が切り換わります。
●ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

テレビ画面

日付/現在時刻表示

●自動時刻合わせ機能(➜35)が働いているときは、秒まで表示されます。

テープカウンター表示

●テープカウンター表示になっているときに[HDD/DVD消去/リセット]を押すと、値が"0：00．00"になります。

テープ残量表示

●テープ残量の表示は目安です。
●カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
●次のときは、正しい表示になりません。
・VHSメニュー(➜79)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
・品質の悪いカセットを使ったとき

画面表示について(オンスクリーン)

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

画面表示の一例

❶ **音声(➜右記)/自動CM早送り(➜69)**
❷ **動作表示**　：再生、早送りなど、本機の動作状態。
❸ **日付/現在時刻表示(➜上記)**
❹ **チャンネル表示**：チャンネル切り換え時、録画開始時。
❺ **録画モード表示**：録画開始時、テープ残量表示時など。
❻ **テープカウンター/テープ残量表示(➜上記)**

お知らせ

●次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
・静止画、スロー再生中
・VHSメニュー(➜79)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
●テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

音声を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。
●ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[VHS]を押す。(➜15)

音声(黄)を押す

押すごとに切り換わります。

◆テレビ放送受信中

ステレオ放送：
ステレオ音声→左音声→右音声

二重放送(2カ国語放送など)：
主音声+副音声→主音声→副音声

モノラル放送(外部入力チャンネルも含む)：
左音声+右音声→左音声→右音声

◆録画したテレビ番組の再生中

ステレオの番組：
ステレオ音声→左音声→右音声→ノーマル音声(左+右)

二重音声の放送(2カ国語など)：
主音声+副音声→主音声→副音声→ノーマル音声(主音声)

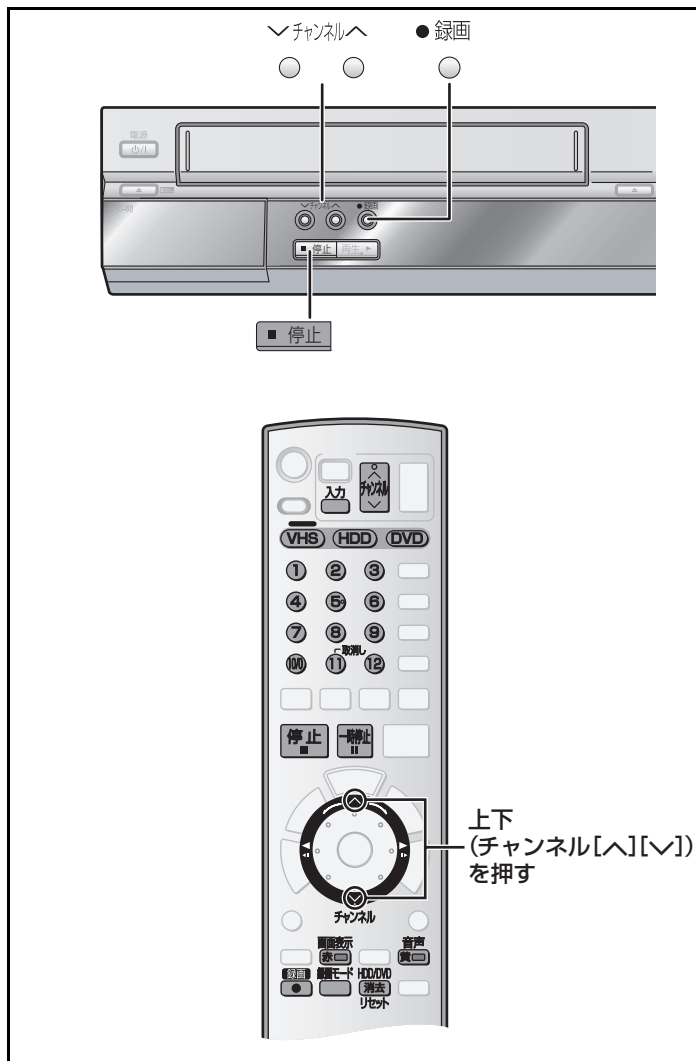
モノラルの番組：
左音声+右音声→左音声→右音声→ノーマル音声(モノラル)

2カ国語オート再生機能について

●次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
・外部入力録画または、本機で"DC"チャンネル(➜81)で録画したカセットを再生中
・[音声/黄]を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
・番組の途中から再生を始めたとき
この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは[音声/黄]で音声を選んでください。

お知らせ

●電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
●選んだ音声だけを録音することはできません。
●録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
●ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中は、音声を選ぶことができません。

VHSに録画する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- [VHS] を押す。(➜15)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。

1 「つめ」の折れていないカセットを入れる

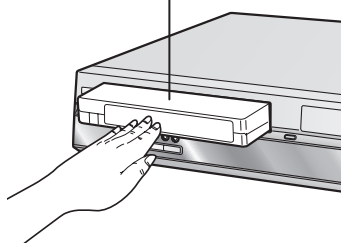
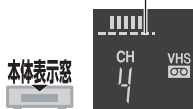
テープの見える面を上に

- 自動的に電源が入ります。

2 録画したいチャンネルを選ぶ

チャンネル [∧] [∨] または①～⑫を押す

テープ残量

本体表示窓

3 録画モードを選ぶ

[録画モード] を数回押す

標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍：標準に対して5倍の録画ができます。

4 録画を始める

[録画●] を押す

■一時停止する➡ [一時停止❚❚] を押す
- もう一度押すと録画を続けます。[**録画●**] を押しても再開できます。

■停止する➡ [停止■] を押す

■録画中にHDDまたはDVDを再生・録画する

➡ [HDD] または [DVD] を押して、HDD/DVD側の各種操作を行う

■録画中にテレビで別番組を見る

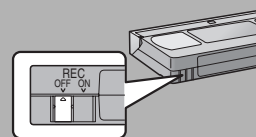
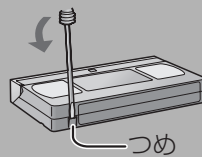
➡ **1** [入力] を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える
2 テレビ操作部の [∧∨チャンネル] を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ
- 録画に影響はありません。
- 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

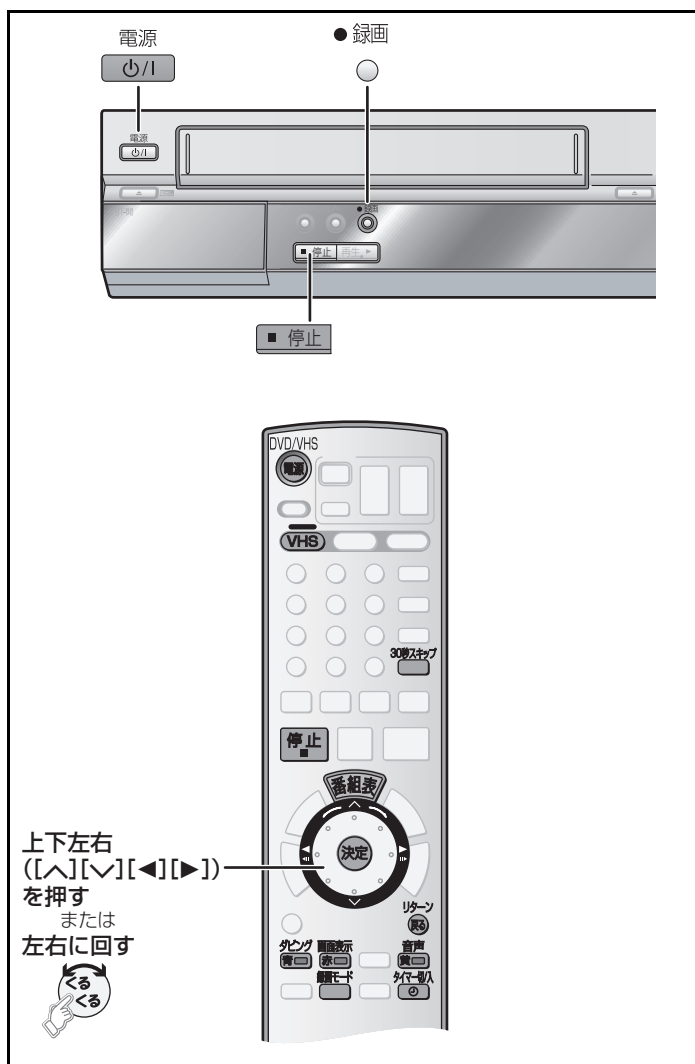
お知らせ
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。
- テープ残量のめやすを示すバーは、テープ残量が少なくなるにつれて減っていきます。
カセットを入れた直後は、各動作を始めてからバーが表示されるまでに多少時間がかかります。

■録画可能なカセットについて

VHS、S-VHS、D-VHS マークの付いたカセットが使えます。

■録画済みの番組を誤って消さないために
- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて "OFF" にしてください。
"ON" に戻すと、再び録画できます。
カセットの説明書もよくご覧ください。

■5倍モードについて
- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の "5倍" が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

VHSに録画する(つづき)

録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

録画中に、本体VHS側の●録画を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。

-- --:-- --(OFF)→30分後 →60分後 →90分後 →120分後

●本体表示窓は下図のように変わります。

●リモコンの[**録画●**]では働きません。
●予約録画中(➜右ページ～76)は働きません。
●録画終了時には、自動的に電源は切れません。

■**解除する**
➡ 本体VHS側の[**● 録画**]を数回押し、録画終了時刻を“-- -- : -- --”にする

●終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。

■**録画をやめる**➡ [**停止■**]を押す

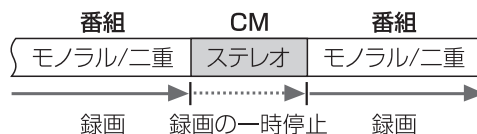
CMをとばして録画する(CMカット録画)

録画中に、30秒スキップを押して、本体表示窓に“✂”を表示させる

●CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

■**解除する**➡ もう一度、[**30秒スキップ**]を押す
- ●“✂”が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

お知らせ

●番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

●次のようなときは、正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
・CMがモノラル放送または二重放送のとき
(このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)
・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・外部入力チャンネルを録画するとき
●予約録画中は働きません。

VHSに予約録画する

- 1カ月以内の番組を16番組まで予約できます。(毎日･毎週予約は1番組として数えます)
  HDD/DVD側の予約数には影響しません。
- 本機の予約録画には以下の3とおりの方法があります。お好みの方法で予約設定をしてください。
  - ･**番組表を使って予約録画(➜下記)**
  - ･**Gコード®を使って予約録画(➜74)**
  - ･**日時を指定して予約録画(タイマー予約)(➜75)**

番組表を使って予約録画する

予約したい番組を、番組表から選ぶだけで予約できます。

番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。**(詳しくは➜26,28)**

準備
- テレビに本機の画面を出す。**(➜25)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。**(➜35“時刻を合わせ直す”)**
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜71)**

1 [番組表] を押す

- 画面が、HDD/DVD側に切り換わります。

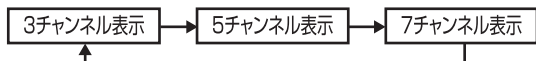
テレビ 画面

◆ **番組表の見かた(➜49)**

◆ **別の日の番組表を見る**

➡ **[ダビング/青](前日)または[画面表示/赤](翌日)を押す**

◆ **1画面に表示されるチャンネル数を変更する**

[音声/黄]を押すごとに、

2 [∧][∨][◀][▶]で予約したい番組を選び、[決定] を押す

- 予約内容を確認してください。
- VHSの再生･録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- 番組予約画面にはタイトル名が表示されますが、無効になります。

残量

◆ **録画先を設定する**

➡ **“録画先”が選ばれている状態で、[∧][∨]を押し、「VHS」を選ぶ**
- BSチャンネルの場合は、「VHS」は選べません。HDDまたはDVDに録画してください。

◆ **録画モードを変更する**

➡ **[◀][▶]で“モード”を選び、[∧][∨]で設定する**
- 録画モードについて**(➜71)**
- “標準3倍”について**(詳しくは ➜74)**
- **[録画モード]**を数回押しても選べます。

◆ **その他予約内容を変更する**

➡ **[◀][▶]で項目を選び、[∧][∨]で設定する**

3 [決定] を押す

- 予約した番組に“予”が表示されます。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のVHS側の“◷”が点灯)が、自動的に電源は切れません。
- 予約録画待機中でも、HDD･DVDの再生(RAM)･録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

- 続けて予約する場合は手順**2**へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

4 **HDD･DVDの再生(RAM)･録画をしないときは、電源を切る**

DVD/VHS [電源] を押す

- 電源の切/入に関わらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。(予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません)

■**録画先を「HDD」または「DVD」にする**

➡ 48ページ手順**2**へ

■**前の画面に戻る**➡ **[リターン/戻る]**を押す

■**番組表を消す**➡ **[番組表]**を押す

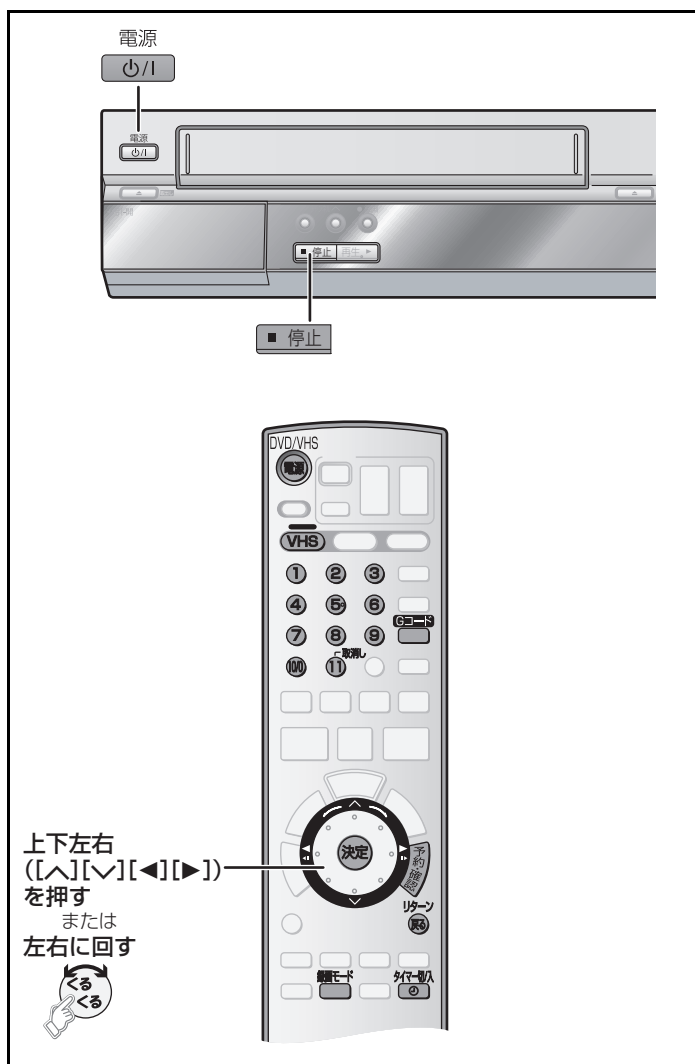
■**予約録画を途中でやめる**

➡ **[VHS]**を押したあと、**[タイマー切/入◷]**を押す
(本体表示窓のVHS側の“◷”が消灯)
- 本体VHS側の**[■停止]**を約3秒以上押しても止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度**[タイマー切/入◷]**を押すと予約録画が再開されます。
- 本体表示窓のVHS側の“◷”が消灯した状態では予約録画は始まりません。

■**予約内容を確認する･取り消す･修正する(➜76)**

お知らせ

- 予約設定画面には、テープ残量も表示されます。選んでいる録画モード(標準、3倍、5倍または標準3倍)で計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
  ただし、カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません。
- テレビ画面に“予約内容にミスがあります。”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- VHS側で16番組予約されているときは、録画先が「HDD」または「DVD」しか選べません。HDD/DVD側でもすでに32番組予約されているときは、テレビ画面に“予約がいっぱいで登録できません。”と表示されます。不要な予約を取り消してください。**(➜53,76)**
- 予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたときでも、予約番組が野球延長対応機能の対象番組であれば、自動的に録画終了時刻を延長します。**(➜53“野球延長対応機能”)**
  ただし、予約一覧画面**(➜76)**から予約内容の修正(「CMカット」「録画モード」は除く)を行った場合は、予約番組が野球延長対応機能の対象番組であっても、録画終了時刻は延長されません。

VHSに予約録画する(つづき)

標準3倍(ぴったり録画)について

"標3"(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

予約内容

1番目(30分)	2番目(60分)	

実際の録画状態

"標準"で30分録画	"標準"で15分録画	"3倍"で45分録画	60分カセットを使ったとき

- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  - ･**VHSメニュー**の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ･品質の悪いカセットを使ったとき

Gコード®を使って予約録画する

Gコード®(**➜下記**)を入力するだけで予約できます。

Gコード®とは

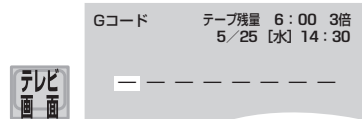
テレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

00	夜のワイドショー ▽私の結婚観　岩梶真希子 ▽あの有名選手に迫る 吉村美紀　南野み 72364
55	N 天　20668

■予約を正しく行うために

- ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。(**➜30,31**)

準備
- テレビに本機の画面を出す。(**➜25**)
- [VHS]を押す。(**➜15**)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(**➜35"時刻を合わせ直す"**)
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(**➜71**)

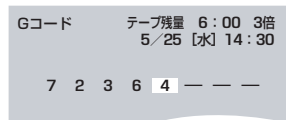
1 Gコード を押す

Gコード	テープ残量 6：00 3倍 5／25［水］14：30
	ー ー ー ー ー ー ー ー

2 Gコード®を入力する

①～⑩ を押す

◆**Gコード®を間違えたとき**

➡ **[◀]または[取消し/11]を押して、再度入力する**

Gコード	テープ残量 6：00 3倍 5／25［水］14：30
	7 2 3 6 4 ー ー ー

3 決定 を押す

- 予約内容が表示されます。

残量

タイマー予約	テープ残量 6：00 3倍 5／25［水］14：30				
録画日	CH	開 始	終 了	CM	
29［日］	8	21：00	22：00	3倍	

予約内容

◆**録画モードを変更する**

➡ **[◀][▶]で録画モードの項目を選び、[∧][∨]で設定する**
- 録画モードについて(**➜71**)
- "標準3倍"について(**詳しくは ➜左記**)
- **[録画モード]**を数回押しても選べます。

◆**「CH」の項目が"Gーー"(点滅)になっているとき**

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

➡ **"CH"が選ばれている状態で、[∧][∨]で予約したいチャンネルに合わせる**
- 予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。(**➜30**)

◆**その他予約内容を変更する**

➡ **[◀][▶]で項目を選び、[∧][∨]で設定する**

4 決定 を押す

- 続けて予約する場合は手順**1**へ戻ります。

録画日	CH	開 始	終 了	CM
29［日］	8	21：00	22：00	3倍
28［土］	4	20：00	22：55	3倍
新規予約				

5 リターン 戻る を押す

- 予約録画の待機状態になり(本体表示窓のVHS側の"◷"が点灯)、HDD/DVD側の映像に切り換わります。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のVHS側の"◷"が点灯)が、自動的に電源は切れません。

- 予約録画待機中でも、HDD･DVDの再生･録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

6 HDD・DVDの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS［電源］を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。
（予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません）

■予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき

- VHSのGコード予約は、野球延長対応機能(➔53)に対応していません。番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することができません。ただし、予約録画中に終了時刻を延長することはできます。**(予約延長➔76)**

■予約録画を途中でやめる

➡ [VHS]を押したあと、[**タイマー切/入**◷]を押す
（本体表示窓のVHS側の"◷"が消灯）

- 本体VHS側の[**■停止**]を約3秒以上押しても止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー切/入**◷]を押すと予約録画が再開されます。
- 本体表示窓のVHS側の"◷"が消灯した状態では予約録画は始まりません。

■予約内容を確認する・取り消す・修正する(➔76)

お知らせ

- 予約設定画面には、テープ残量も表示されます。選んでいる録画モード(標準、3倍、5倍または標準3倍)で計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
ただし、カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません。
- テレビ画面に"予約内容にミスがあります"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- テレビ画面に"予約がいっぱいで登録できません"と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(➔76)

日時を指定して予約録画する(タイマー予約)

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

- テレビに本機の画面を出す。(➔25)
- [VHS]を押す。(➔15)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。**(➔35"時刻を合わせ直す")**
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➔71)

1 ［予約確認］を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

録画日	CH	開始	終了	CM
29［日］	8	21：00	22：00	3倍
28［土］	4	20：00	22：55	3倍
新規予約				

2 [∧][∨]で「新規予約」を選び、［決定］を押す

タイマー予約	テープ残量 6：00 標準 5／25［水］14：30			
録画日	CH	開始	終了	CM
-- ［-］	--	--：--	--：--	--

3 予約内容を設定する

[◀][▶]で項目を選び、[∧][∨]で設定する

- 時刻は、[∧][∨]を押し続けると30分単位で変わります。

◆**録画日を設定する**

[∧][∨]を押すごとに、

4 ［決定］を押す

録画日	CH	開始	終了	CM
30［月］	6	21：00	22：00	5倍
29［日］	8	21：00	22：00	3倍
28［土］	4	20：00	22：55	3倍
新規予約				

5 リターン［戻る］を押す

- 予約録画の待機状態になり(本体表示窓のVHS側の"◷"が点灯)、HDD/DVD側の映像に切り換わります。

予約録画の待機状態になります(本体表示窓のVHS側の"◷"が点灯)が、自動的に電源は切れません。

- 予約録画待機中でも、HDD・DVDの再生・録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。

6 HDD・DVDの再生・録画をしないときは、電源を切る

DVD/VHS［電源］を押す

- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。自動的に電源は切れません。
（予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません）

■予約録画を途中でやめる

➡ [VHS]を押したあと、[**タイマー切/入**◷]を押す
（本体表示窓のVHS側の"◷"が消灯）

- 本体VHS側の[**■停止**]を約3秒以上押しても止まります。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー切/入**◷]を押すと予約録画が再開されます。
- 本体表示窓のVHS側の"◷"が消灯した状態では予約録画は始まりません。

■予約内容を確認する・取り消す・修正する(➔76)

お知らせ

- 予約設定画面には、テープ残量も表示されます。選んでいる録画モード(標準、3倍、5倍または標準3倍)で計算されます。録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。
ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- VHSのタイマー予約は、野球延長対応機能(➔53)に対応していません。

VHSに予約録画する(つづき)

予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。

また、本体表示窓で予約内容を確認することができます。(電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください)

準備 ●テレビ画面で確認・取り消し・修正するときは、テレビに本機の画面を出す。(➜25)

●[VHS]を押す。(➜15)

1 を押す

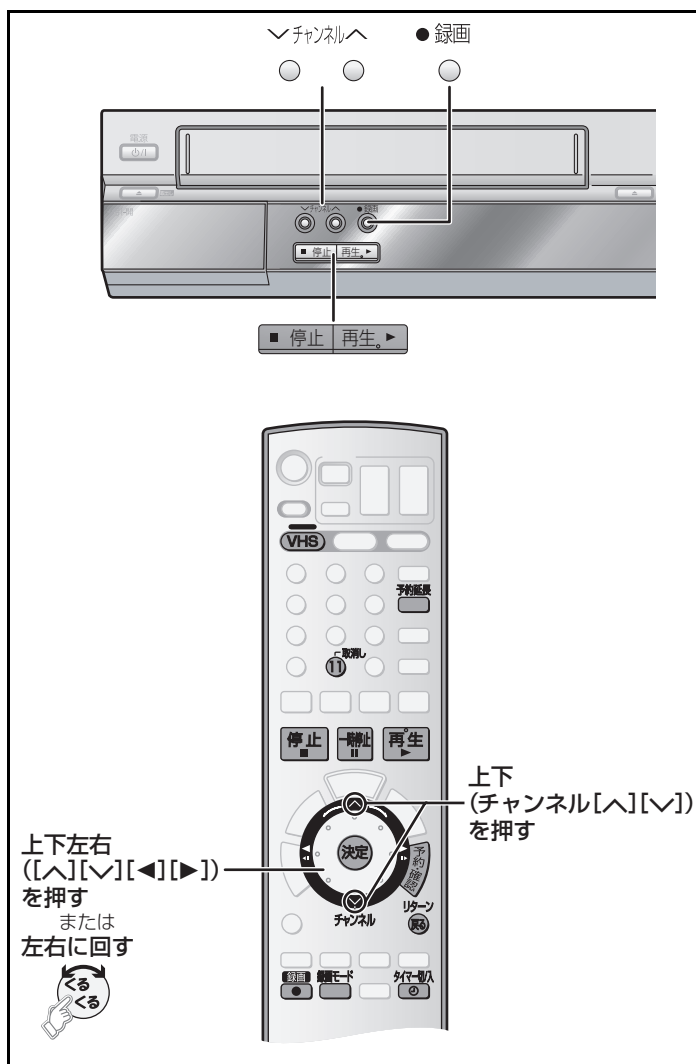
●予約一覧画面が表示されます。

2 取り消し/修正したい予約内容を選ぶ

[∧][∨]で選ぶ

録画日	CH	開始	終了	CM
29 [日]	8	21：00	22：00	3倍
28 [土]	4	20：00	22：55	3倍
新規予約				

●本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。

本体表示窓

3 ◆取り消すとき

⑪(取消し)を押す

録画日	CH	開始	終了	CM
-- [−]	--	--：--	--：--	--
28 [土]	4	20：00	22：55	3倍
新規予約				

◆修正するとき

(決定)を押す

タイマー予約	テープ残量 2：00 標準 5／25 [水] 14：30			
録画日	CH	開始	終了	CM
29[日]	8	21：00	23：00	標準

1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[∧][∨]で予約内容を修正する

2 [決定]を押す

■**予約一覧画面を消す➜** [リターン/戻る]を押す

(約1分そのままにしたときは、[リターン/戻る]を押さなくても消えます)

予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)

準備 ●[VHS]を押す。(➜15)

予約録画中に、(予約延長)を押す

押すごとに延長される時間が変わります

+15分→+30分→+45分→

+1時間→+1時間30分→

+2時間→延長しない

●終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。

●予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。

●予約録画の待機状態からは延長できません。

●野球延長(➜53)部分を録画中は、延長できません。

●野球延長対応機能(➜53)の対象番組である場合は、予約延長の操作で設定した予約終了時間に対して、野球延長機能が働きます。(野球延長機能で自動的に延長される録画時間を足して録画します)

予約待機を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。

準備 ●[VHS]を押す。(➜15)

予約待機中に、(タイマー切/入)を押す

●本体表示窓の"⊖"が消え、電源が入ったときの状態になります。

●もう一度押すと予約録画の待機状態に戻ります。(本体表示窓のVHS側の"⊖"が表示)

(お知らせ)

●予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。

●予約録画中に行うと、予約録画が止まります。

●本体VHS側の[■ 停止]を約3秒以上押しても、予約録画の待機状態を解除することができます。

BSデジタル放送などをVHSに録画する VHS

BSデジタルチューナー内蔵テレビなどから録画する

準備
- 本体の外部入力(L1～L3)にBSデジタルチューナー内蔵機器などを接続する。**(➔17,20)**
- テレビに本機の画面を出す。**(➔25)**
- [VHS] を押す。**(➔15)**
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。**(➔35"時刻を合わせ直す")**
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➔71)**

1 BSデジタルチューナー内蔵機器などを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

チャンネル [∧] [∨] を押す

L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(後面)に接続したとき

2 **録画開始点を探す**

1 [再生▶] を押して、カセットを再生する
2 [一時停止❚❚] を押して、録画の開始点で静止画にする
3 [録画●] を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(➔71)を選ぶ

[録画モード] を数回押す

4 テレビ側またはチューナー側で、
録画したいチャンネルを選ぶ

5 録画を始める

[一時停止] を押す

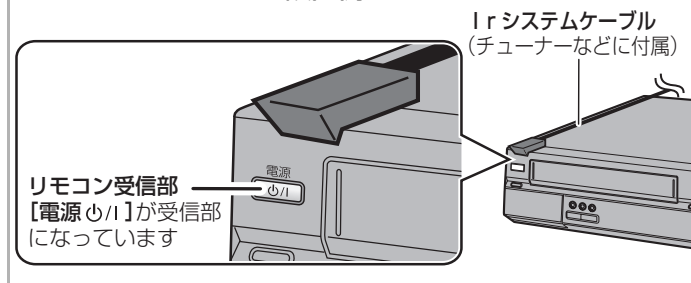
■録画をやめる

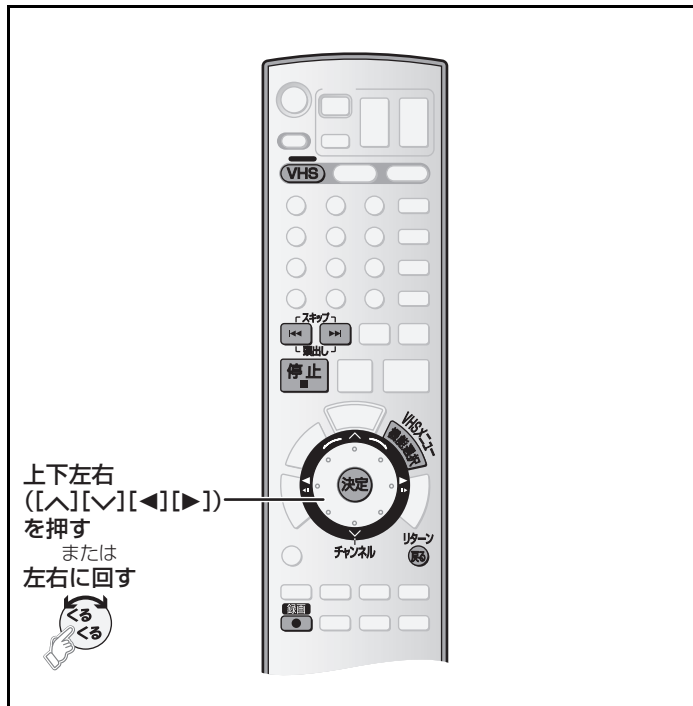
➡ **[停止■]** を押す

お知らせ
- テレビのモニター出力**(➔17)**から録画する場合は、録画が終わるまでテレビの電源を切らないでください。
- デジタルハイビジョン画質での録画はできません。
- 地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

Ir(アイアール)システムを使って録画する

本機は、当社製チューナー、またはチューナー内蔵テレビのIrシステム**(➔113)**に対応しています。チューナーなどから予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送ることで、連動録画ができます。

Irシステムケーブルの設置例

お知らせ
- チューナーなどのIrシステムがビデオに対応していることをご確認ください。
- Irシステムの設置･設定･操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。
- 予約待機中は、Ir予約は受け付けません。
- テレビ側のIrシステムの設定が、「ビデオ1」、「ビデオ2」、「ビデオ3」のいずれかになっていることをご確認ください。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。

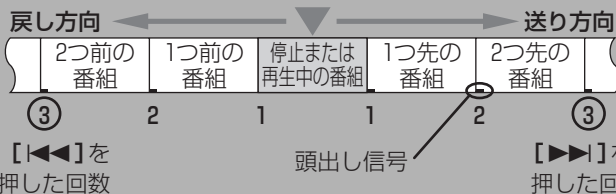
番組を探す

1番組単位で頭出しする

本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[VHS]を押す。(➜15)

[⏮]または[⏭]を押す

早送り(巻き戻し)を始め、押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。
早送り方向…[▶▶|]
巻戻し方向…[|◀◀]

頭出しする番組の指定のしかた

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・**[録画●]**を押して録画を始めたとき。
    (録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの**[録画●]**を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。
    録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

テープリフレッシュする

カセットの録画内容をすべて消す

この操作をすると映像、音声はすべて消え、元に戻すことができません。
消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[VHS]を押す。(➜15)
●テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

1 [VHSメニュー 機能選択]を押す

●VHSメニュー画面が表示されます。

2 [∧][∨]で「テープリフレッシュ」を選び、(決定)を押す

3 "TR"点滅中に、もう一度(決定)を約2秒以上押す

●テープリフレッシュが始まります。

テープリフレッシュ中
中止：[停止]

■途中でやめる➡ [停止■]を押す
●止めたところまでは消去されています。

お知らせ

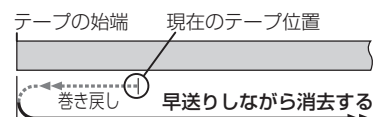
- VHSメニュー(➜右ページ)の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープ残量が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

テープリフレッシュの動作

1 テープを始端まで巻き戻す
2 早送りしながら、録画された内容を消去していく
3 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する

●120分カセットで約21分かかります。(目安です)

設定を変える

VHS

いろいろな項目の設定を変える(モード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[VHS]を押す。(➜15)

1 **を押す**

●VHSメニュー画面が表示されます。

VHSメニュー
▶ モード 設 定
テープリフレッシュ

2 **「モード設定」が選ばれている状態で、決定 を押す**

3 **[∧][∨]で設定項目を選ぶ**

4 **[◀][▶]で設定内容を変える**

■**ひとつ前の画面に戻る**➡[リターン/戻る]を押す

■**VHSメニューを消す**➡[リターン/戻る]を数回押す

モード設定メニュー(下線部はお買い上げ時の設定です)

テープ長さ

▶ <u>−120</u>:T120(120分)、TC20(VHS C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。
▶ −160:T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS C・30分)カセットを使うとき。
▶ 180 :T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

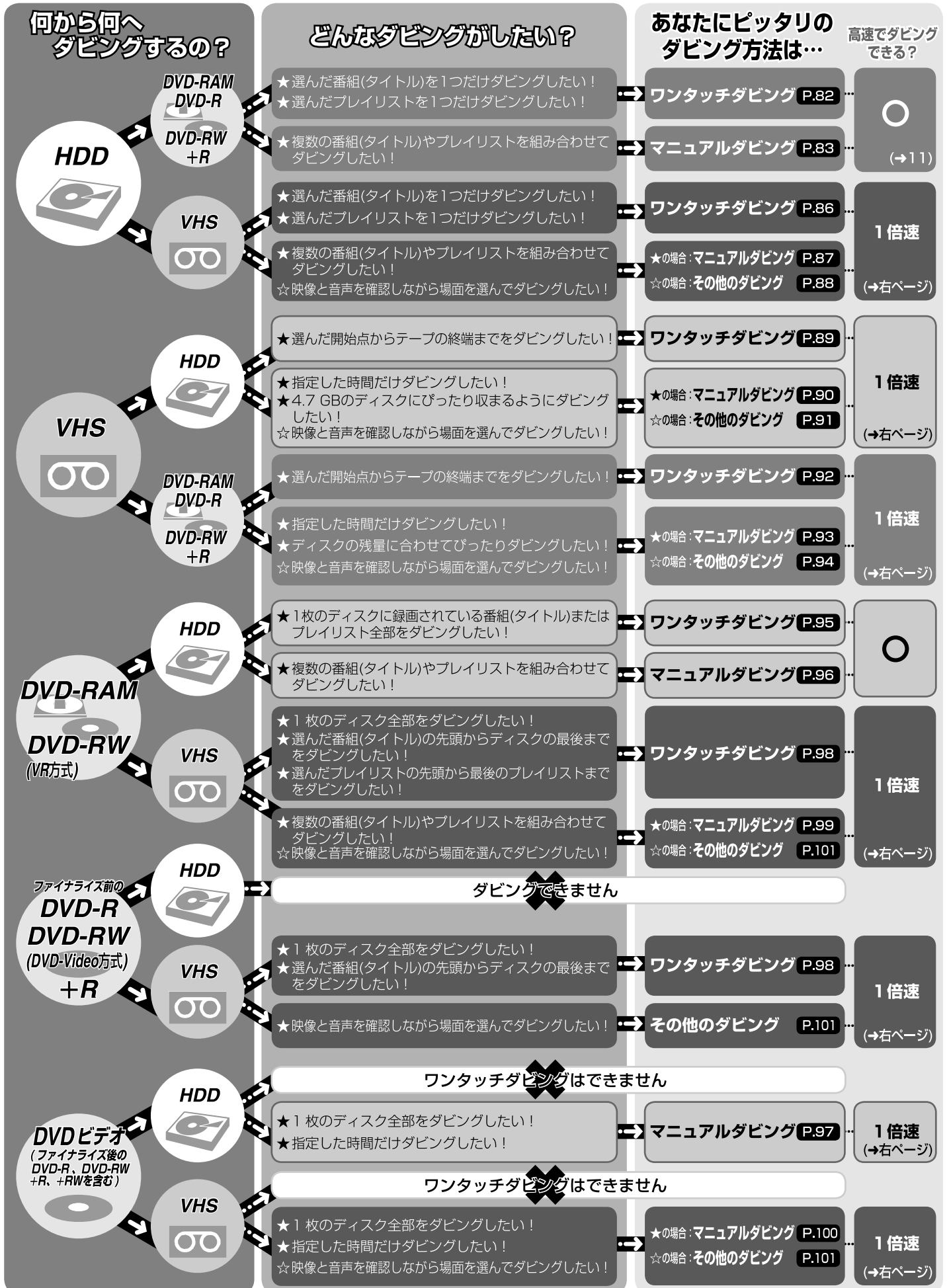
※D VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。

オンスクリーン(➜70)

▶ 切 :テレビ画面に表示を出さないようにするとき。
▶ <u>自動</u>:操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

ダビングについて

本機ではいろいろなダビングのしかたが選べます。

●コピー禁止処理がされている映像はダビングすることはできません。

■ダビング時の速度について

ダビングするときの速度には、以下の２とおりあります。

- **高速**　：ダビング元の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質（録画モード）を変えずに、すばやくダビングすることができます。
- **１倍速**：ダビング元の記録時間と同じ時間かけてダビングします。録画モードを選んでダビングすることができます。

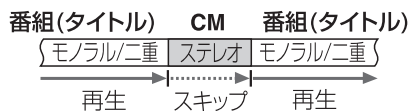
■ダビング時の録画モードについて（HDD/DVD）

	高速	1倍速(XP、SP、LP、EP、FR)
ダビングにかかる時間	➜下記、「高速でのダビング所要時間のめやす」	ダビング元の記録時間と同じ時間
画質	ダビング元の画質	変更できる※1
チャプター/サムネイル変更の保持	できる※2	できない（1タイトルが1チャプターとして記録され、サムネイルは変更前の位置に戻ります）
CMをとばす	できない	できる※3
ダビング中の他の操作	HDDでの再生または録画ができる	できない

※１ ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。（劣化防止にはなります）

※２ +Rは約100チャプターまで保持されます。
また、プレイリストをDVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）や+Rにダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。

※３ **自動CM早送り**
- 音声が下記の場合のみ働きます。

番組(タイトル)　CM　番組(タイトル)
モノラル/二重　ステレオ　モノラル/二重
再生　スキップ　再生

- ・５分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
- ・番組内容をCMとまちがえて消してしまう場合があります。デジタル放送などの移動される番組（タイトル）(**➜右記**)では、元に戻すことができません。CMを「部分消去」(**➜57**)で消してから、「切」(**➜84手順5**)でダビングすることをおすすめします。

高速でのダビング所要時間のめやす（最高速時）

（管理情報の書き込み時間を除く）

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM	8X高速記録対応 DVD-R	4X高速記録対応 DVD-RW	8X高速記録対応 +R
XP	1時間	約12分	約8.7分	約15分	約8.7分
SP		約6分	約3.8分	約7.5分	約3.8分
LP		約3分	約1.9分	約3.8分	約1.9分
EP(6H)		約2分	約1.3分	約2.5分	約1.3分
EP(8H)		約1.5分	約56秒	約1.9分	約56秒

- **ディスクの状態によっては、記録品質を優先するため、速度を落としてダビングすることがあります。**
- ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速にならないことがあります。

DVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rへの高速ダビングについて

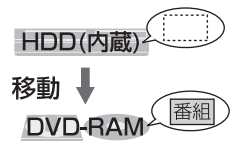
下記の場合は高速モードではダビングできません。

- ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」にして、HDDに録画した番組（タイトル）
- ・録画モードが異なる番組（タイトル）から作ったプレイリスト
- ・録画モードがFRの複数の番組（タイトル）から作ったプレイリスト
- ・音声が混在するプレイリスト（Dolby DigitalとLPCMなど）
- ・部分消去を繰り返した番組（タイトル）

■デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には、「１回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられているため、複製はできません。HDDからCPRM対応のDVD-RAMに移動できます。（HDDからは消去されます）

（詳しくは➜7）

HDD(内蔵)
移動
DVD-RAM　番組
HDDからは録画内容が消える

- ワンタッチダビング(**➜82**)では移動できません。マニュアルダビング(**➜83**)してください。
- プロテクト(**➜62**)が設定されていると移動できません。
- 「１回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはダビングできません。
- 移動される番組（タイトル）を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。

■二重放送の番組（タイトル）を以下のようにダビングするとき

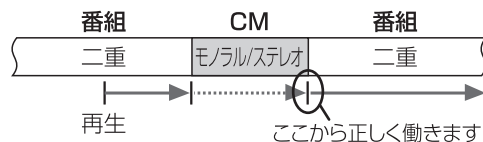
- **DVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rにダビングするとき（16:9映像は4:3映像で記録されます）**
- **初期設定「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜67)を「LPCM」にし、XPモードで、１倍速でダビングするとき**

➡ ダビング先には、主、副音声のどちらか一方しか記録されません。ダビング前に記録する音声を選んでください。※
初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜66)

※次のようなときはダビング時に記録する音声を選ぶことはできません。そのままでダビングすると、主、副両音声が記録され、再生時、音声が混ざって聞こえます。「その他のダビング」の方法でダビングしてください。(**➜94**)

- ・本機、または当社の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットをダビングするとき
- ・他のビデオや各種チューナーなどの外部機器から録画された番組（タイトル）をダビングするとき

二重放送の番組（タイトル）の途中からダビングを始めた場合

- 二重放送の番組（タイトル）の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく働きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次に音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。

■ダビング入力チャンネルについて

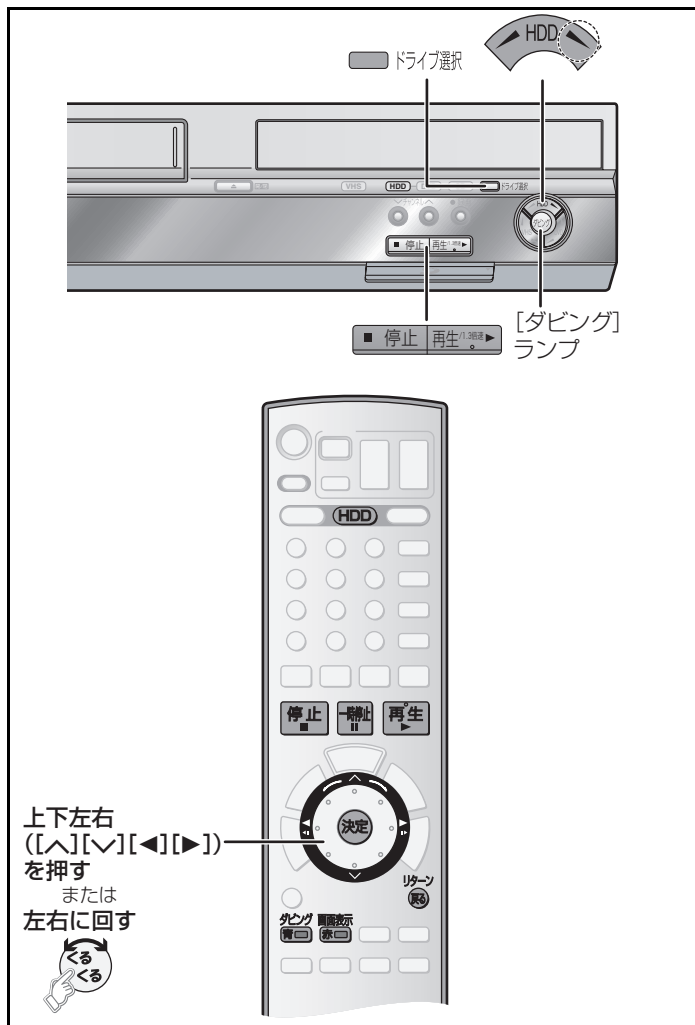
HDD/DVDからVHSへ、またVHSからHDD/DVDへダビングするときは、**チャンネル [∧] [∨]** で専用のダビング入力チャンネル（“DC”、“TP”）を選びます。ダビング入力チャンネルを選ぶことで、ダビングしたい（ダビング元の）映像をテレビ画面に映します。

“DC”チャンネル

- VHS側の入力チャンネルが“DC”のときのみVHSへのダビングができます。
- “DC”チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面にはHDDまたはDVDの映像が映っています。
- HDD/DVD側が“TP”(**➜下記**)チャンネルのときは、VHS側で“DC”チャンネルを選ぶことはできません。

“TP”チャンネル

- HDD/DVD側の入力チャンネルが“TP”のときのみHDDまたはDVDへのダビングができます。
- “TP”チャンネルにしてカセットを再生すると、テレビ画面にはVHSの映像が映っています。
- VHS側が“DC”(**➜上記**)チャンネルのときは、HDD/DVD側で“TP”チャンネルを選ぶことはできません。

HDD→DVDへダビングする

●デジタル放送の番組をダビングするときは、ワンタッチダビングできません。マニュアルダビングしてください。
●デジタル放送の番組は、CPRM対応のDVD-RAMに移動のみできます。CPRM非対応のDVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、+Rにはダビングできません。(➜7)

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
●[リターン/戻る]3秒以上押しによるダビングの中止
(ワンタッチ/マニュアルダビング時)
●[停止■]によるダビングの中止
(高速モード以外でのワンタッチダビング時)
●HDDの再生･録画(➜右ページ,84)
●VHSの再生･録画(➜68,71)

DVD-R、DVD-RW、+Rを他の機器で再生するには、ダビング後ファイナライズが必要です。(➜63)

ワンタッチダビング

HDDに録画された番組(タイトル)やプレイリストを再生中に、ディスク※1にワンタッチ操作でダビングすることができます。ワンタッチダビングでは、再生中の番組(タイトル)またはプレイリストを1つだけ自動的にダビングします。再生位置にかかわらず、再生中の番組(タイトル)やプレイリストの先頭からダビングされます。

※1 録画可能な録画用ディスク: RAM -R -RW(V) +R

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

DVD側:
●録画可能なディスク(➜4)を入れる。
●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
● -R -RW(V) +R HDD側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。
(詳しくは➜11,81"二重放送の番組(タイトル)を以下のようにダビングするとき")

1 HDD を押す(➜15)

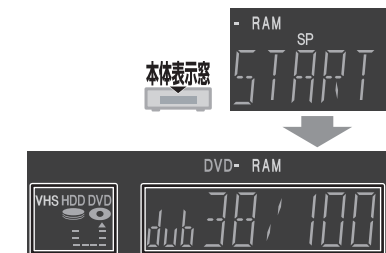
2 再生 を押してダビングしたい番組(タイトル)を再生する、またはプレイリストを再生する(➜59)

●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。

3 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

本体表示窓

ダビング方向　ダビング進行状況
(例: dub(ダビング)が約38%まで終了※2)

※2 1倍速でダビングしている場合は、残りのダビング時間が表示されます。

●HDDの再生が終わると、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

ダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。(以下のモードでダビング先のディスク容量を超える場合は、"FR"になります)

HDD ➡ RAM :高速のみ
HDD ➡ -R -RW(V) +R :下表参照

高速ダビング用録画(➜66)	
「入」で録画	「切」で録画
高速	元と同じモード[XP~EP、FR] (プレイリストは"FR"でダビングされます)

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

●HDD側のオンスクリーン表示→「切」(➜67)
●テレビへの出力→ DVDより出力
●HDD再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ダビング中にHDDの再生や録画をする(高速でダビング時のみ)

➡ [決定]を押して確認画面を消したあと、再生･録画の操作をする

●[画面表示/赤]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

■ダビングを途中でやめる➡ [リターン/戻る]を3秒以上押す

●高速モード以外でダビングしているときは、[停止■]を押してもダビングをやめることができます。
●ダビングをやめると、高速モードでは、番組(タイトル)はまったくダビングされません。高速モード以外でダビングされたものは、止めたところまでダビングされます。[DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、＋Rは番組(タイトル)がダビングされなくても、書き込まれた分の残量が減少します]

お知らせ

●ダビングが開始･実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
●録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。
●「自動CM早送り」(➜81)はできません。
●デジタル放送の番組(タイトル)や、デジタル放送の番組(タイトル)から作ったプレイリストはダビングできません。(➜81)
●5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合、お買い上げ時は「最高速モード」でダビングされます。「静音モード」でダビングしたい場合は、マニュアルダビングの手順6(➜84)で「DVDドライブ速度」を切り換えてください。

マニュアルダビング

HDDに録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、ディスク※にダビングすることができます。

※録画可能な録画用ディスク: RAM -R -RW(V) +R

●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●[HDD]を押す。(➜15)

DVD側:
●録画可能なディスク(➜4)を入れる。
●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
●二重放送の番組をダビングする場合、下記のときは、音声の設定が必要です。(詳しくは➜11,81"二重放送の番組(タイトル)を以下のようにダビングするとき")
･DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするとき
･初期設定「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜67)を「LPCM」にし、XPモードでダビングするとき

1 停止中に、ダビング青を押す

●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

●ダビング元を「HDD」、ダビング先を「DVD」に設定します。
●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[∧][∨]で「HDD」を選び、[決定]を押す
3 [∨]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[∧][∨]で「DVD」を選び、[決定]を押す
●ダビング元とダビング先に同じドライブを選ばないでください。
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

ダビング元 HDD / ダビング先 DVD

HDD / DVD / VHS / SDカード

3 ダビング素材と録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「ビデオ」を選び、[決定]を押す
●「写真」を選んだ場合は、写真のダビングになります。(➜102手順3へ)
4 [∨]で「録画モード」を選び、[決定]を押す
5 [∧][∨]で録画モードを選び、[決定]を押す
●「高速」、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。(➜44)
6 [◀]を押す
7 [∨]を押す

ダビング素材 ビデオ / 録画モード 高速

4 ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

●登録済みのリストをそのままダビングするときは、[∨]を押して、手順5または6に進んでください。

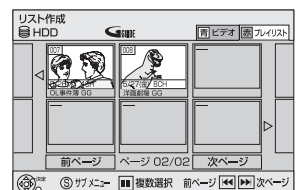
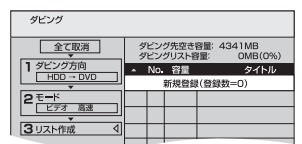
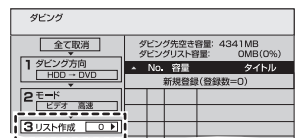
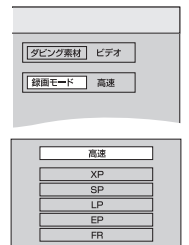
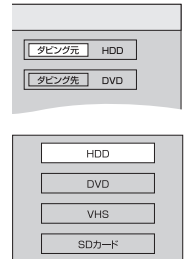
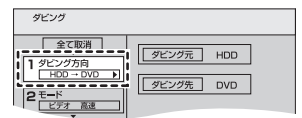
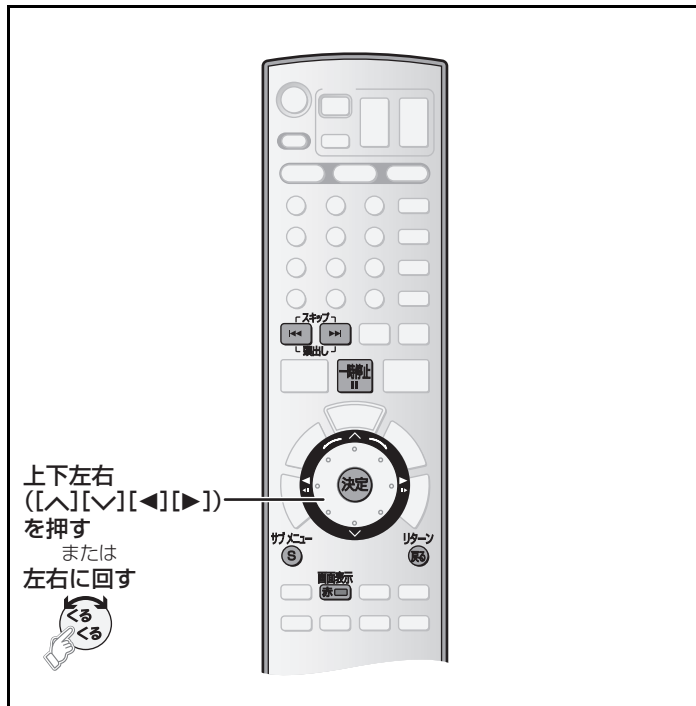
◆リストを作成する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [ダビング/青](ビデオ)または[画面表示/赤](プレイリスト)を押す
●番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

ダビング / 全て取消 / ダビング先空き容量: 4341MB / ダビングリスト容量: 0MB(0%) / 1 ダビング方向 HDD → DVD / No. 容量 タイトル / 新規登録(登録数=0) / 2 モード ビデオ 高速 / 3 リスト作成

HDD→DVDへダビングする

ダビング

(つづく➜次ページ)

マニュアルダビング(つづき)

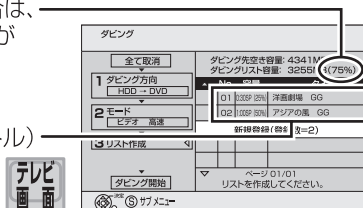
4 **[∧][∨][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す**
- DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングする場合は、▶▶◎表示のあるもののみ登録できます。
- 手順**2**～**4**を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

◆**複数の番組(タイトル)やプレイリストをまとめて登録する**

➡ [∧][∨][◀][▶]で番組(タイトル)やプレイリストを選び、[**一時停止❚❚**]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[**一時停止❚❚**]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

◆**ダビングリストの画面表示と便利な機能(➜右ページ)**

「100%」を超える場合は、ダビング先の空き容量が足りないためダビングできません

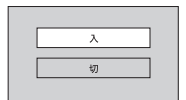
登録された番組(タイトル)

5 **[◀]を押す**
- [◀]を押す前に、"ダビングリスト容量"が"ダビング先空き容量"よりも小さいことを確認してください。

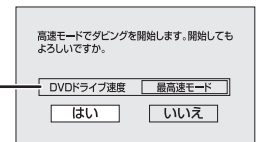
6 **[∨]を押す**

5 録画モードを「高速」以外に設定(➜83手順3)したときのみ
自動CM早送り(➜81)の切/入を選ぶ

- 設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順6に進んでください。

◆**設定を変更する**

1. 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2. 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3. [∧][∨]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
4. [◀]を押す
5. [∨]を押す

6 **「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す**

DVDドライブ速度(➜下記)
(5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合のみ)

例)高速モードでダビング

◆**「DVDドライブ速度」を切り換える**

➡ **1** [◀][▶]で「最高速モード」または「静音モード」を選ぶ
- 「静音モード」を選ぶと本機内部の動作音が「最高速モード」時より小さくなりますが、ダビングの所要時間は約2倍になります。

2 [∨]を押す

7 **[◀]で「はい」を選び、決定を押す**
- ダビングが開始されます。

■**ダビング中にHDDの再生や録画をする(高速でダビング時のみ)**

➡ [**決定**]を押して確認画面を消したあと、再生･録画の操作をする

- [**画面表示/赤**]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
- デジタル放送などの「移動」される番組(タイトル)(➜**81**)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。

■**ダビングを途中でやめる➡ [リターン/戻る]**を3秒以上押す
- ダビングをやめると、高速モードでは、ダビングが完了した番組(タイトル)まで、高速モード以外でダビングされたものは、止めたところまでダビングされます。[DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rは番組(タイトル)がダビングされなくても、書き込まれた分の残量が減少します]

お知らせ
- 録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画が、高速モードでダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。

ダビングリストの画面表示と便利な機能

リストの表示について

: DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの(➜81)

: 静止画を含むもの(静止画部分はダビングされません※)

: 「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの (➜7,81"デジタル放送のダビングについて")

: 「1回だけ録画可能」の番組(タイトル) (➜7,81"デジタル放送のダビングについて")

ダビングリスト容量:ダビング先に記録される容量
- 1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
- 管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組(タイトル)の合計より若干大きくなります。

※カセットにダビングする場合は、静止画部分もダビングされます。

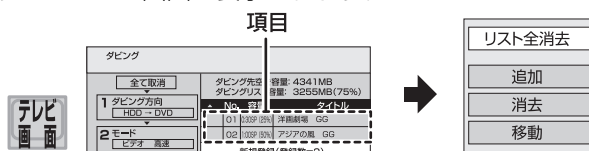
■前後のページを表示する

➜ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
- [∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■まとめて登録/消去する

➜ [∧][∨][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

■リストの項目[番組(タイトル)やプレイリストの登録]を消去/追加/移動する

➜ **1** [∧][∨]で編集したい項目を選び、[サブ メニュー]を押す
- サブメニュー画面が表示されます。

2 [∧][∨]で編集したい内容を選び、[決定]を押す

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加:
選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[∧][∨][◀][▶]で追加する番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押してください。

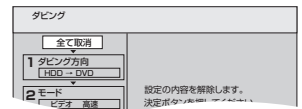
消去:
選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。(➜上記)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

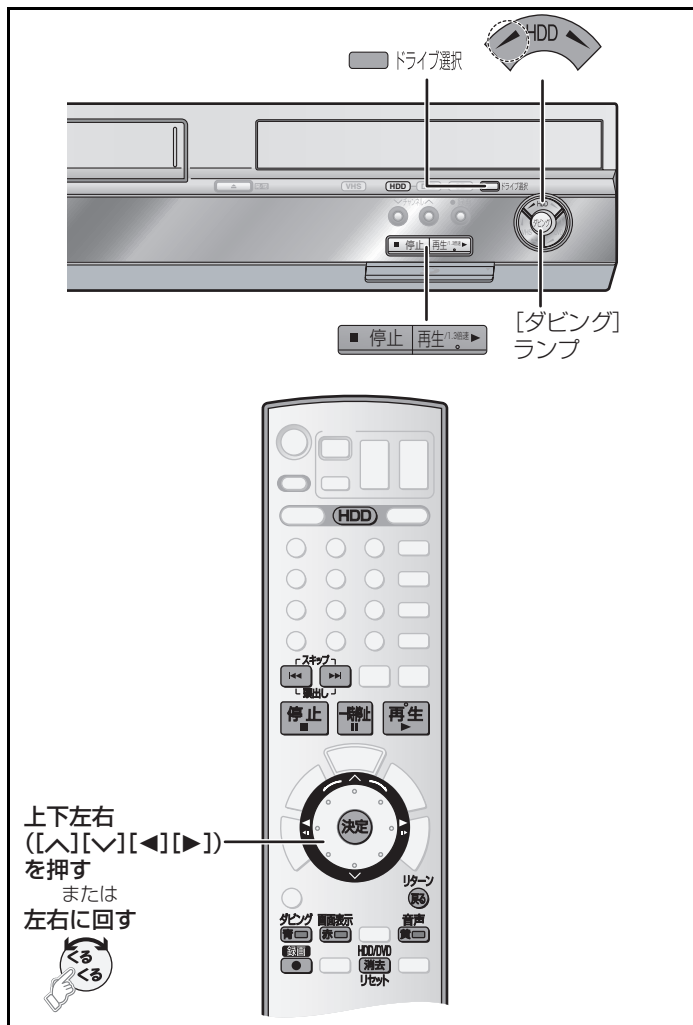
移動:
選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。
「移動」を選んだときは、さらに[∧][∨]で移動先を選び、[決定]を押してください。

◆不要な項目を新しい項目と入れ替えたい場合

➜ **1** [∧][∨]で不要な項目を選び、[決定]を押す
2 [∧][∨][◀][▶]で新しく登録したい番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す
- 項目が入れ替わります。

■以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す

➜ [∧]で「全て取消」を選び、[決定]を押す
- 確認画面が表示されます。
[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

- 設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
  - ·ダビング元で番組(タイトル)やプレイリストの消去をした場合
  - ·ディスクトレイを開ける、電源を切る、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行った場合

HDD→VHSへダビングする

- ●デジタル放送の番組をダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングすることはできません。(➜7)

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます

- ●**[リターン/戻る]**3秒以上押しによるダビングの中止
（ワンタッチ/マニュアルダビング時）
- ●**[停止■]**によるダビングの中止
（ワンタッチダビング/その他のダビング時）

VHS側操作モード時(➜15):

- ●**[音声/黄]**によるVHS音声の切り換え（録画には影響ありません）
- ●**[HDD/DVD消去/リセット]**によるVHS側のテープカウンターリセット(➜70)

頭出し信号の書き込みについて

HDDからVHSへのダビング時には、1つの番組(タイトル)ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。
カセットへのダビング後は、**[頭出し |◀◀][頭出し ▶▶|]**を使って番組を探すことができます。

- ●その他のダビング時は、頭出し信号は自動的には書き込まれません。頭出し信号を書き込みたい場合は、ダビング中、VHS側操作モード時(➜15)に、書き込みたい位置でリモコンの**[録画●]**を押してください。

ワンタッチダビング

HDDに録画された番組(タイトル)やプレイリストを再生中に、カセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、再生中の番組(タイトル)またはプレイリストを1つだけ自動的にダビングします。再生位置にかかわらず、再生中の番組(タイトル)やプレイリストの先頭からダビングされます。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

VHS側:

- ●録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- ●テープに十分な残量があることを確認しておく。(➜70)
- ●録画モードを選んでおく。(➜71)

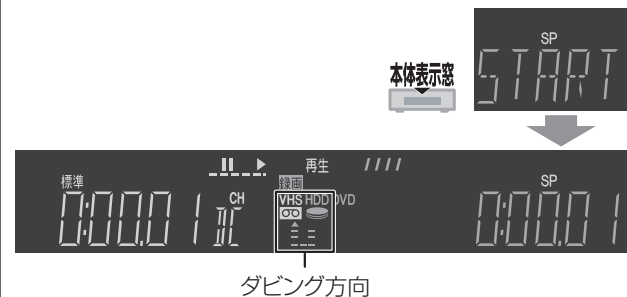
1 [HDD]**を押す**(➜15)

2 [再生▶]**を押してダビングしたい番組(タイトル)を再生する、またはプレイリストを再生する**(➜59)

- ●**[一時停止❚❚]**を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
- ●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。

3 **本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、**

[HDD ▶] **を約3秒以上押し続ける**

- ●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- ●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
- ●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

- ●HDDの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

- ●HDD側のオンスクリーン表示→「切」(➜67)
- ●テレビへの出力→ VHSより出力
- ●HDD再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■]を押す

- ●**[リターン/戻る]**を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お知らせ

- ●ダビングが開始·実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- ●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- ●「自動CM早送り」(➜81)はできません。

マニュアルダビング

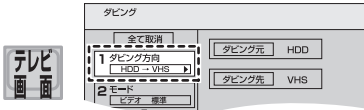
HDDに録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、カセットにダビングすることができます。

●テレビに本機の画面を出す。(➔25)
●[HDD]を押す。(➔15)

VHS側:
●録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
●テープに十分な残量があることを確認しておく。(➔70)

1 停止中に、[ダビング 青]を押す

●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

●ダビング元を「HDD」、ダビング先を「VHS」に設定します。
●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[∧][∨]で「HDD」を選び、[決定]を押す
3 [∨]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[∧][∨]で「VHS」を選び、[決定]を押す
●ダビング元とダビング先に同じドライブを選ばないでください。
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

3 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 [∨]で「録画モード」を選び、[決定]を押す
3 [∧][∨]で録画モードを選び、[決定]を押す
●「標準」、「3倍」、「5倍」から選びます。(➔71)
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

4 ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

●登録済みのリストをそのままダビングするときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。

◆リストを作成する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [ダビング/青](ビデオ)または[画面表示/赤](プレイリスト)を押す
●番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

4 [∧][∨][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す
●手順2～4を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

◆複数の番組(タイトル)やプレイリストをまとめて登録する

➡ [∧][∨][◀][▶]で番組(タイトル)やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
●ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

◆ダビングリストの画面表示と便利な機能(➔85)

5 [◀]を押す
●[◀]を押す前に、"ダビングリスト容量"が"ダビング先残量"よりも小さいことを確認してください。
6 [∨]を押す

5 自動CM早送り(➔81)の切/入を選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順6に進んでください。

◆設定を変更する

1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

6 「ダビング開始」が選ばれている状態で、[決定]を押す

●確認画面が表示されます。

7 [◀]で「はい」を選び、[決定]を押す

●ダビングが開始されます。

■ダビングを途中でやめる➡[リターン/戻る]を3秒以上押す

お知らせ

●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➔76)
●ダビングが始まると、HDD側の**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「切」(➔67)になります。

その他のダビング

HDDに録画された番組を見ながら、ダビングしたい部分を選んでカセットにダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、[停止■]を押してください。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

VHS側：
- ●録画可能なカセットを入れる。
- ●テープに十分な残量があることを確認しておく。(➜70)

HDD側：
- ●"TP"(➜81)以外のチャンネルにする。
（HDD側で"TP"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません）

1 HDDを押す(➜15)

2 HDDのダビング開始点を探す
- **1** [再生▶]を押して、HDDを再生する
  - ●再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(➜39)
- **2** [一時停止❚❚]を押して、ダビングの開始点で静止画にする

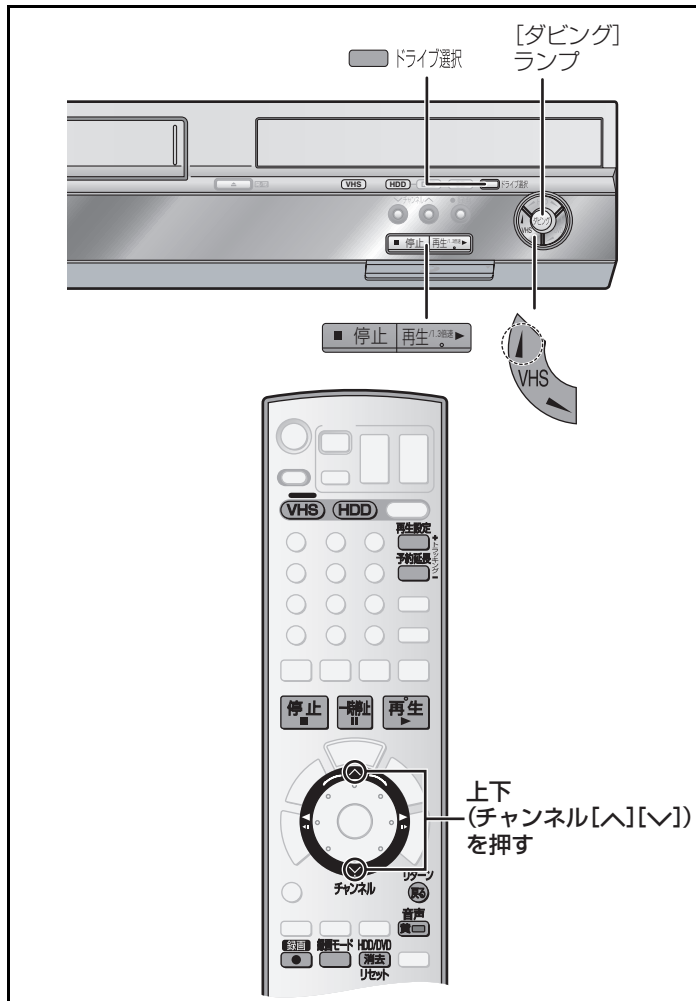
3 VHSを押す(➜15)

4 "DC"チャンネルを選ぶ
チャンネル[∧][∨]を押す
- ●テレビにHDDの映像が表示されます。
- ●DCチャンネルについて(➜81)

5 カセットの録画開始点を探す
- **1** [再生▶]を押して、カセットを再生する
- **2** [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする
- **3** [録画●]を押して、録画の一時停止にする

6 録画モード(➜71)を選ぶ
録画モードを数回押す

7 録画を始める
一時停止❚❚を押す
- ●VHSの録画とHDDの再生が同時に始まります。
- ●VHS側の録画とHDD側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

■録画を一時停止する
➡ **1** [一時停止❚❚]を押す
（VHSの録画が一時停止します）
2 [HDD]を押したあと、[一時停止❚❚]を押す
（HDDの再生が一時停止します）

■録画をやめる
➡ **1** [停止■]を押す
（VHSの録画が停止します）
2 [HDD]を押したあと、[停止■]を押す
（HDDの再生が停止します）

お知らせ
- ●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- ●ダビングが始まると、HDD側の**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「切」(➜67)になります。

VHS→HDDへダビングする VHS ▶ HDD

- コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、ダビングできないようになっています。
- 一度デジタル放送の番組がダビングされているカセットは、HDDにダビングすることはできません。(➜7)

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます

- [リターン/戻る]3秒以上押しによるダビングの中止(ワンタッチ/マニュアルダビング時)
- [停止■]によるダビングの中止(ワンタッチダビング/その他のダビング時)
- HDDの再生(編集はできません)

VHS側操作モード時(➜15):

- [音声/黄]によるVHS音声の切り換え(切り換えた音声で記録されます)(その他のダビング時)
- [HDD/DVD消去/リセット]によるVHS側のテープカウンターリセット(➜70)
- [再生設定(+)][予約延長(−)]によるVHS側のトラッキング調整(➜69)

番組(タイトル)(➜56)の分割について

VHSからHDDへのダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組(タイトル)を分割して録画します。
HDDへのダビング後は、再生ナビタイトル一覧(➜36)を使って、番組(タイトル)を探すことができます。

- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- 分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。

番組(タイトル)分割しないでダビングしたいときは、以下の方法でダビングしてください。

- マニュアルダビングで、「時間設定」を「入」にする(➜90)
- その他のダビング(➜91)

ワンタッチダビング

カセットに録画された番組をHDDにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、ダビング開始時のテープの再生位置からHDDに自動的にダビングします。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

HDD側:
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 録画モードを選んでおく。(➜44)
- カセットからHDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。(➜66,81 “DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングについて”)

VHS側:
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 HDD・VHSともに停止状態で、
本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

- ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- 本体の[ダビング]ランプが点灯します。
- 本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

- テープの終端になるか、またはHDDの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

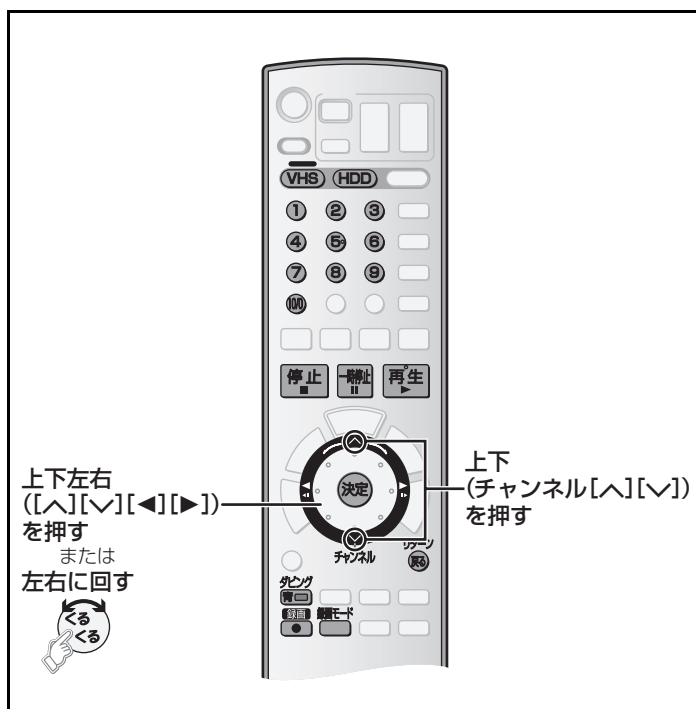
■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

- VHS側のオンスクリーン表示→「切」(➜79)
- HDD側の録画チャンネル表示→“TP”(➜81)
- 操作先ドライブ→「HDD」

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■]を押す

- [リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お知らせ

- ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード(➜71)で録画された部分では、HDDにダビングするとノイズが入る場合があります。

マニュアルダビング

カセットに録画された番組をダビング開始時のテープの再生位置※から HDDにダビングすることができます。

※録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。**(詳しくは➜右ページ)**

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

HDD側：
- 十分な残量があることを確認しておく。
- カセットからHDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。**(➜66,81 "DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R への高速ダビングについて")**

VHS側：
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 HDD・VHSともに停止中に、ダビング 青 を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

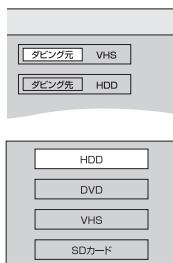
2 ダビング方向を設定する

- ダビング元を「VHS」、ダビング先を「HDD」に設定します。
- 設定を変更しないときは、[﹀]を押して、手順3に進んでください。

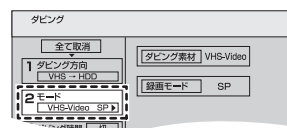
◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[︿][﹀]で「VHS」を選び、[決定]を押す

3 [﹀]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[︿][﹀]で「HDD」を選び、[決定] を押す
- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。

4 [◀]を押す
5 [﹀]を押す

3 録画モードを選ぶ

- 設定を変更しないときは、[﹀]を押して、手順4に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [︿][﹀]で録画モードを選び、[決定]を押す
- 「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。(➜44)
- FRモードについて(➜右ページ)

4 [◀]を押す
5 [﹀]を押す

4 ダビング時間を設定する

- 設定を変更しないときは、[﹀]を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[︿][﹀]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
- 「切」に設定したときは、下記手順**4**に進んでください。

3 [﹀]で「録画時間」を選び、[決定]を押す
[◀][▶]で"時間"または"分"を選んで[︿][﹀]で設定し、[決定]を押す
- [1]～[10/0]も使えます。
- 25時間を超えて設定することはできません。

4 [◀]を押す
5 [﹀]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定 を押す

- 確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

- ダビングが開始されます。
- テープの終端になるか、またはHDDの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■**ダビングを途中でやめる➡** [リターン/戻る]を3秒以上押す

お知らせ

- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード(➜71)で録画された部分では、HDDにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ダビングが始まると、**VHSメニュー**「オンスクリーン」が「切」(➜79)になります。

■FRモードについて

左ページ、93ページ手順4で「時間設定」を「切」に設定した場合：

- カセットに録画されている部分（未記録部分は録画しません）だけすべてを、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
- HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
- ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングが中断されます。
- テープの頭出し信号を検出するごとに、番組（タイトル）を分割して録画します。

左ページ、93ページ手順4で「時間設定」を「入」に設定した場合：

- カセットのダビング開始点から設定した録画時間分だけを（未記録部分も録画します）、ディスクの空き容量を計算してディスクに収まるように、録画モードを自動的に設定します。
- HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
- 番組（タイトル）分割はしません。

その他のダビング

カセットに録画された番組を見ながら、ダビングしたい部分を選んでHDDにダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、**[停止■]**を押してください。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜25)

HDD側：
- 十分な残量があることを確認しておく。
- カセットからHDDへダビングした番組を、あとでHDDからDVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rに高速モードでダビングしたい場合は、HDD側**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。**(➜66,81 "DVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rへの高速ダビングについて")**

VHS側：
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れる。
- "DC" **(➜81)**以外のチャンネルにする。
  （VHS側で"DC"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません）

1 VHS を押す (➜15)

2 カセットのダビング開始点を探す

1. **[再生▶]を押して、カセットの再生を始める**
   - 二重放送などの番組のときは、再生時の音声（録音したい音声）を選んでおいてください。**(➜70)**
2. **[一時停止❚❚]を押して、ダビングの開始点で静止画にする**

3 HDD を押す (➜15)

4 "TP"チャンネルを選ぶ

チャンネル[∧][∨]を押す

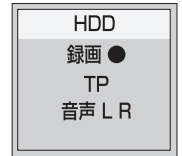
- テレビにVHSの映像が表示されます。
- TPチャンネルについて**(➜81)**

5 録画モード(➜44)を選ぶ

録画モード を数回押す

6 録画を始める

録画 ● を押す

- HDDの録画とVHSの再生が同時に始まります。
- HDD側の録画とVHS側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

■録画を一時停止する

➜ **1** **[一時停止❚❚]を押す**
（HDDの録画が一時停止します）

2 **[VHS]を押したあと、[一時停止❚❚]を押す**
（VHSの再生が一時停止します）

■録画をやめる

➜ **1** **[停止■]を押す**
（HDDの録画が停止します）

2 **[VHS]を押したあと、[停止■]を押す**
（VHSの再生が停止します）

お知らせ

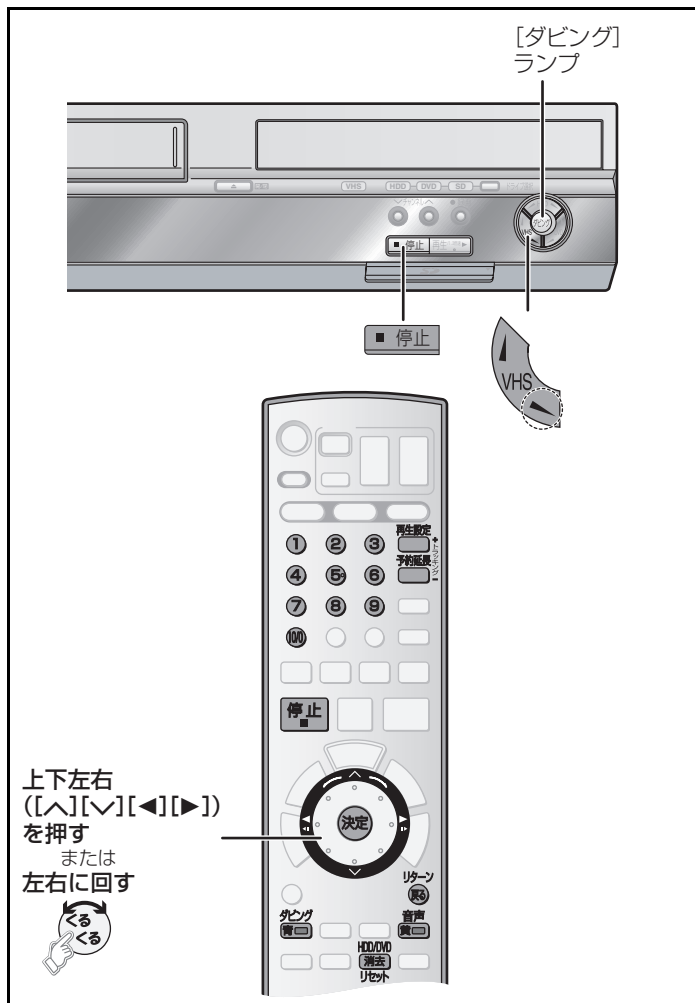
- VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。**(➜76)**
- コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- カセットに5倍モード**(➜71)**で録画された部分では、HDDにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ダビングが始まると、**VHSメニュー**「オンスクリーン」が「切」**(➜79)**になります。

■S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする

ワンタッチ/マニュアル/その他のダビングを始める前に、初期設定「S-VHSダビング設定」(➜66)で「S-VHS再生」を選ぶ

「S-VHS再生」でダビング実行中

- S-VHSビデオと同じ方式で再生し、ダビングします。
  Y（輝度信号）の帯域が広いままダビングできるので、S-VHS本来の高画質を再現できます。
- 録画されたテープの状態によっては、充分な画質が得られない場合があります。このときは、「SQPB」を選んでください。ただしS-VHS本来の高画質にはなりません。
- 工場出荷時は、「S-VHS再生」にしていますので、通常はこのままお使いください。

VHS→DVDへダビングする

- ●コピー禁止処理がされているビデオソフトはダビングすることはできません。多くのビデオソフトは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、ダビングできないようになっています。
- ●一度デジタル放送の番組がダビングされているカセットは、DVDにダビングすることはできません。(➜7)

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます

- ●[リターン/戻る]3秒以上押しによるダビングの中止（ワンタッチ/マニュアルダビング時）
- ●[停止■]によるダビングの中止（ワンタッチダビング/その他のダビング時）
- ●HDDの再生（編集はできません）

VHS側操作モード時(➜15)：

- ●[音声/黄]によるVHS音声の切り換え（切り換えた音声で記録されます）（その他のダビング時）
- ●[HDD/DVD消去/リセット]によるVHS側のテープカウンターリセット(➜70)
- ●[再生設定(+)][予約延長(−)]によるVHS側のトラッキング調整(➜69)

番組（タイトル）(➜56)の分割について

VHSからDVDへのダビング時は、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組（タイトル）を分割して録画します。
DVDへのダビング後は、再生ナビタイトル一覧(➜36)を使って、番組（タイトル）を探すことができます。

- ●約15分（5倍モード時は約25分）以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- ●頭出し信号の数によっては、録画される時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- ●分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。

番組（タイトル）分割しないでダビングしたいときは、以下の方法でダビングしてください。

- ●マニュアルダビングで、「時間設定」を「入」にする(➜右ページ)
- ●その他のダビング(➜94)

DVD-R、DVD-RW、+Rを他の機器で再生するには、ダビング後ファイナライズが必要です。(➜63)

ワンタッチダビング

カセットに録画された番組をDVD※にワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、ダビング開始時のテープの再生位置からディスクに自動的にダビングします。

※録画可能な録画用ディスク：RAM -R -RW(V) +R

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

DVD側：

- ●録画可能なディスク(➜4)を入れる。
- ●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- ●録画モードを選んでおく。(➜44)
- ● -R -RW(V) +R VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。
  （詳しくは➜11,81"二重放送の番組（タイトル）を以下のようにダビングするとき"）

VHS側：

- ●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 **DVD・VHSともに停止状態で、本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、**

を約3秒以上押し続ける

- ●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- ●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
- ●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

ダビング方向

- ●テープの終端になるか、またはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。（メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます）

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

- ●VHS側のオンスクリーン表示→「切」(➜79)
- ●DVD側の録画チャンネル表示→"TP"(➜81)
- ●操作先ドライブ→「HDD」

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■]を押す

- ●[リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お知らせ

- ●ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- ●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- ●コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ●カセットに5倍モード(➜71)で録画された部分では、ディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。

マニュアルダビング

カセットに録画された番組をダビング開始時のテープの再生位置※1 からDVD※2にダビングすることができます。

※1 録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。
(詳しくは➔91)

※2 録画可能な録画用ディスク： RAM -R -RW(V) +R

準備 ●テレビに本機の画面を出す。**(➔25)**

DVD側：
- ●録画可能なディスク**(➔4)**を入れる。
- ●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。
- ● -R -RW(V) +R VHS側の再生が二重放送の番組のときは、音声の設定が必要です。
(詳しくは➔11,81"二重放送の番組(タイトル)を以下のようにダビングするとき")

VHS側：
- ●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

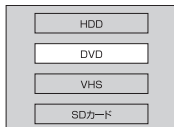
1 DVD・VHSともに停止中に、ダビング(青)を押す

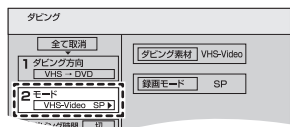
●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

●ダビング元を「VHS」、ダビング先を「DVD」に設定します。
●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する

1 **「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 **「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す**
[∧][∨]で「VHS」を選び、[決定]を押す
3 **[∨]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す**
[∧][∨]で「DVD」を選び、[決定] を押す
●ダビング元とダビング先に同じドライブを選ぶことはできません。
4 **[◀]を押す**
5 **[∨]を押す**

3 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。

◆設定を変更する

1 **「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 **「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す**
3 **[∧][∨]で録画モードを選び、[決定]を押す**
●「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」から選びます。**(➔44)**
●FRモードについて**(➔91)**
4 **[◀]を押す**
5 **[∨]を押す**

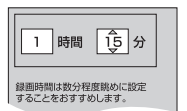
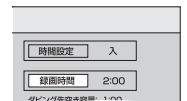
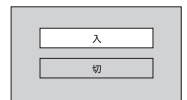
4 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

1 **「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す**
2 **「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す**
[∧][∨]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
●「切」に設定したときは、下記手順**4**に進んでください。

3 **[∨]で「録画時間」を選び、[決定] を押す**
[◀][▶]で"時間"または"分"を選んで[∧][∨]で設定し、[決定]を押す
●[1]～[10/0]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。

4 **[◀]を押す**
5 **[∨]を押す**

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。
●テープの終端になるか、またはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■**ダビングを途中でやめる➡** [リターン/戻る]を3秒以上押す

■**S-VHS方式またはS-VHS ET方式で録画されたカセットを高画質でダビングする(➔91)**

お知らせ

- ●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。**(➔76)**
- ●コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ●カセットに5倍モード**(➔71)**で録画された部分では、ディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ●ダビングが始まると、**VHSメニュー**「オンスクリーン」が「切」**(➔79)**になります。

その他のダビング

カセットに録画された番組を見ながら、ダビングしたい部分を選んでDVD※にダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、[停止■]を押してください。

※録画可能な録画用ディスク: RAM -R -RW(V) +R

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

DVD側:
- ●録画可能なディスク(➜4)を入れる。
- ●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

VHS側:
- ●ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れる。
- ●“DC”(➜81)以外のチャンネルにする。
（VHS側で“DC”チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません）

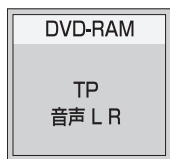
1 VHS を押す(➜15)

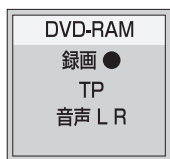
2 カセットのダビング開始点を探す

1 [再生▶]を押して、カセットの再生を始める
- ●二重放送などの番組のときは、再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(➜70)

2 [一時停止❚❚]を押して、ダビングの開始点で静止画にする

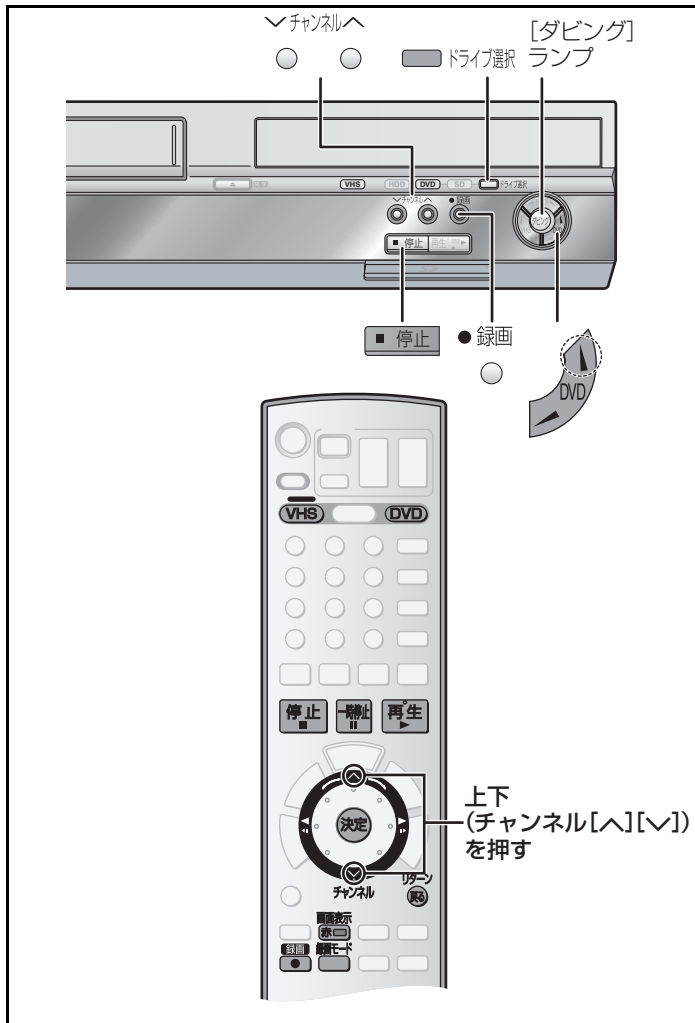
3 DVD を押す(➜15)

4 “TP”チャンネルを選ぶ
チャンネル[∧][∨]を押す
- ●テレビにVHSの映像が表示されます。
- ●TPチャンネルについて(➜81)

5 録画モード(➜44)を選ぶ
録画モード を数回押す

6 録画を始める
録画 ● を押す
- ●DVDの録画とVHSの再生が同時に始まります。
- ●DVD側の録画とVHS側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

■録画を一時停止する
➡ **1** [一時停止❚❚]を押す
（DVDの録画が一時停止します）
2 [VHS]を押したあと、[一時停止❚❚]を押す
（VHSの再生が一時停止します）

■録画をやめる
➡ **1** [停止■]を押す
（DVDの録画が停止します）
2 [VHS]を押したあと、[停止■]を押す
（VHSの再生が停止します）

お知らせ
- ●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- ●コピー禁止処理がされているカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ●カセットに5倍モード(➜71)で録画された部分では、ディスクにダビングするとノイズが入る場合があります。
- ●ダビングが始まると、VHSメニュー「オンスクリーン」が「切」(➜79)になります。

DVD→HDDへダビングする DVD ▶ HDD

●ファイナライズ(➜63,112)されていないDVD-R、DVD-RW、+Rをダビングすることはできません。
●デジタル放送などの1回だけ録画可能な番組(タイトル)やプレイリストはダビングできません。(➜7,81)
●コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、録画・録音できないようになっています。

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます
●[リターン/戻る]3秒以上押しによるダビングの中止
(ワンタッチ/マニュアルダビング時)
●[停止■]によるダビングの中止
(DVDビデオのダビング時 ➜97)
●HDDの再生・録画(➜右記,97)
●VHSの再生・録画(➜68,71)

ワンタッチダビング

DVD※に録画された番組(タイトル)やプレイリストをHDDにワンタッチ操作でダビングすることができます。
ワンタッチダビングでは、1枚のディスクに録画されている番組(タイトル)全部、またはプレイリスト全部をHDDに自動的にダビングします。

※ダビング可能な再生用ディスク: RAM -RW(VR)

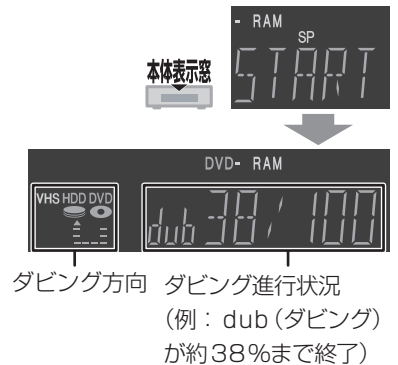
準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
DVD側:
●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
HDD側:
●十分な残量があることを確認しておく。

1 ◆プレイリストをダビングする場合のみ
プレイリストを再生する(➜59)
●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
●再生位置にかかわらず、先頭のプレイリストから最後のプレイリストまですべてダビングされます。
●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。(複数のプレイリストをダビングする場合、8時間を超えたプレイリストはとばしてダビングされます)

2 本体表示窓の"START"が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

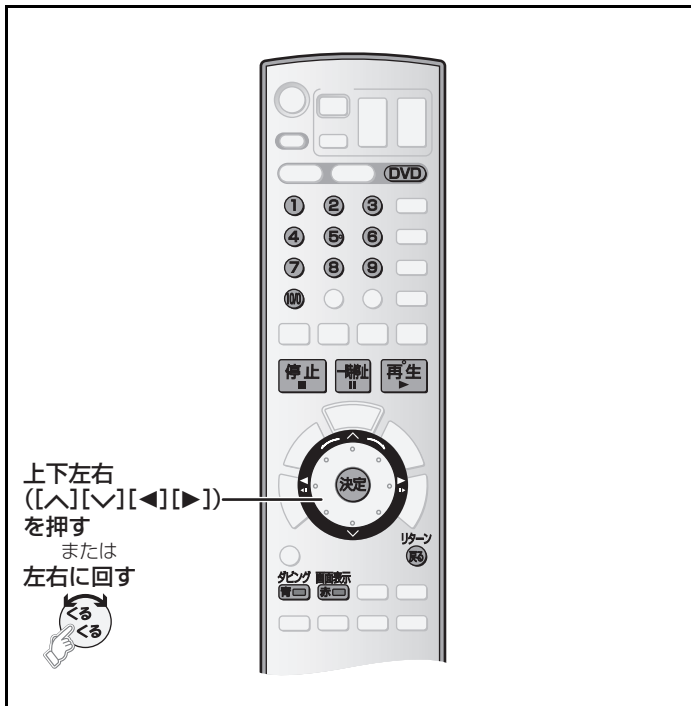
ダビング方向　ダビング進行状況
(例: dub(ダビング)が約38%まで終了)

●ディスクの再生が終わると、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます
●DVD側のオンスクリーン表示→「切」(➜67)
●テレビへの出力→DVDより出力

■ダビング中にHDDの再生や録画をする
➡ [決定]を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする
●[画面表示/赤]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

■ダビングを途中でやめる➡ [リターン/戻る]を3秒以上押す

お知らせ
●ダビングが開始・実行されない場合は、[ダビング]ランプが、約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
●録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画がダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。
●「自動CM早送り」(➜81)はできません。

DVD→HDDへダビングする(つづき)

マニュアルダビング

DVD※に録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、HDDにダビングすることができます。

※ダビング可能な再生用ディスク: RAM -RW(VR)

- ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- ●[DVD]を押す。(➜15)

DVD側:

- ●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

HDD側:

- ●十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、[ダビング 青]を押す

- ●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ●ダビング元を「DVD」、ダビング先を「HDD」に設定します。
- ●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[∧][∨]で「DVD」を選び、[決定]を押す
3 [∨]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[∧][∨]で「HDD」を選び、[決定] を押す
- ●ダビング元とダビング先に同じドライブを選ばないでください。

4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

3 ダビング素材を選ぶ

- ●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。
- ●録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「ビデオ」を選び、[決定]を押す
- ●「写真」を選んだ場合は、写真のダビングになります。(➜102手順3へ)

4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

4 ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- ●登録済みのリストをそのままダビングするときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。

◆リストを作成する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [ダビング/青](ビデオ)または[画面表示/赤](プレイリスト)を押す

- ●番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

4 [∧][∨][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す
- ●手順2～4を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

◆複数の番組(タイトル)やプレイリストをまとめて登録する

➡ [∧][∨][◀][▶]で番組(タイトル)やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)

- ●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ●ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
- ●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

◆ダビングリストの画面表示と便利な機能(➜85)

「100%」を超える場合は、ダビング先の空き容量が足りないためダビングできません

登録された番組(タイトル)

5 [◀]を押す
- ●[◀]を押す前に、"ダビングリスト容量"が"ダビング先空き容量"よりも小さいことを確認してください。

6 [∨]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。

■ダビング中にHDDの再生や録画をする

➡ [決定]を押して確認画面を消したあと、再生·録画の操作をする

●[画面表示/赤]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。

■ダビングを途中でやめる➡ [リターン/戻る]を3秒以上押す

お知らせ

●録画先がHDDまたはDVDに設定されている予約録画がダビング中に実行された場合は、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。
●「自動CM早送り」(➜81)はできません。

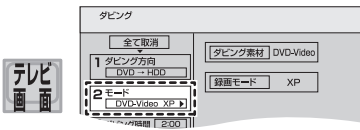
DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW、+R、+RWを含む)をダビングする

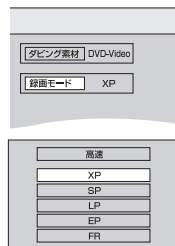
ファイナライズ(➜63,112)されたDVD-R、DVD-RW、+R、+RWの番組(タイトル)をHDDにダビングすると、番組(タイトル)を再編集できます。ディスクを再生しながら、再生している内容をHDDに録画します。

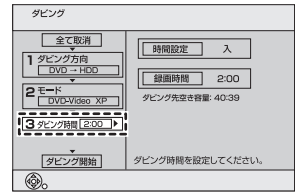
●ダビング中に操作した動きや画面表示が、そのまま記録されます。
●市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。
●DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。

●左ページ手順1～2のあとに操作します。

3 録画モードを選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「録画モード」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で録画モードを選び、[決定]を押す
 ●「XP」、「SP」、「LP」、「EP」から選びます。(➜44)
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

4 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「入」を選び、[決定]を押す
 ●「切」にした場合(➜下記)
4 [∨]で「録画時間」を選び、[決定]を押す
 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[∧][∨]で設定する

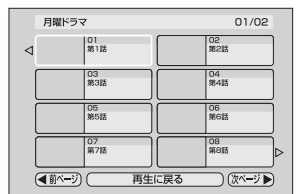
 ●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたいタイトルより数分長めに設定してください。
 ●[1]～[10/0]も使えます。
 ●25時間を超えて設定することはできません。
5 [決定]を押し、[◀]を押す
6 [∨]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ディスクのトップメニューが表示されます。
●「ファーストプレイ選択」(➜63)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まり、ダビングが開始されます。手順7は不要です。

7 トップメニューが表示されたら、[∧][∨][◀][▶]でダビングを始めたいタイトルを選び、決定を押す

●選んだタイトルから順に再生し、設定した時間まで録画します。
●ディスクの最後のタイトルの再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■]を押す

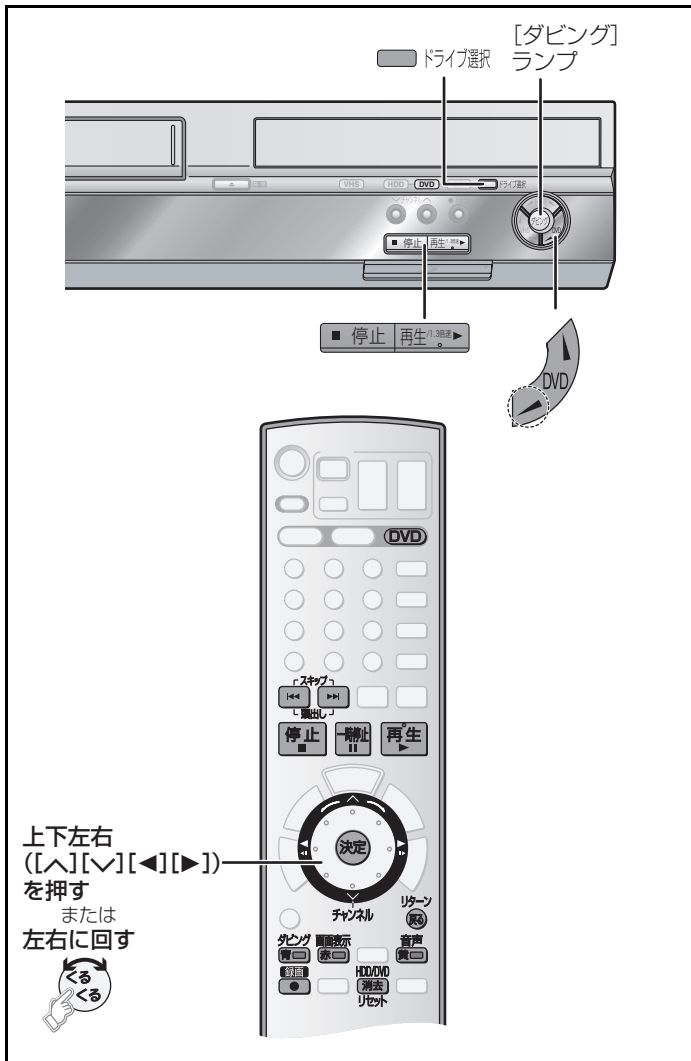
●[リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■「時間設定」を「切」にした場合(上記手順4の3)

●HDD の容量がなくなるまでダビングを続けます。
[停止■]または[リターン/戻る]3秒以上押しで、ダビングをやめることができます。

お知らせ

●最初に右の画面が録画されます。
●ダビングの開始から終了までが1タイトルとして記録されます。
●自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは[再生▶]を押してください。
●高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。

DVD→VHSへダビングする

- ●デジタル放送の番組をダビングすると、そのカセットから再度、HDDやDVDにダビングすることはできません。(➔7)
- ●コピー禁止処理がされているディスクはダビングすることはできません。多くのディスクは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、録画・録音できないようになっています。

ダビング実行中は、以下の動作のみ行うことができます

- ●[リターン/戻る]3秒以上押しによるダビングの中止（ワンタッチ/マニュアルダビング時）
- ●[停止■]によるダビングの中止（ワンタッチダビング/その他のダビング時）

VHS側操作モード時(➔15):

- ●[音声/黄]によるVHS音声の切り換え（録画には影響ありません）
- ●[HDD/DVD消去/リセット]によるVHS側のテープカウンターリセット(➔70)

頭出し信号の書き込みについて

DVDからVHSへのダビング時には、1つの番組（タイトル）ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。
カセットへのダビング後は、[頭出し |◀◀][頭出し ▶▶|]を使って番組を探すことができます。

- ●その他のダビング時は、頭出し信号は自動的には書き込まれません。頭出し信号を書き込みたい場合は、ダビング中、VHS側操作モード時(➔15)に、書き込みたい位置でリモコンの[録画●]を押してください。

ワンタッチダビング

DVD※に録画された番組（タイトル）やプレイリストをカセットにワンタッチ操作でダビングすることができます。

※ダビング可能な再生用ディスク:
RAM -R -RW(V) +R -RW(VR)

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➔25)

DVD側:
- ●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

VHS側:
- ●録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- ●テープに十分な残量があることを確認しておく。(➔70)
- ●録画モードを選んでおく。(➔71)

1 DVD を押す(➔15)

2 ◆1枚のディスクに録画されている番組（タイトル）全部をダビングするとき

DVDが停止状態であることを確認する

- ●本体表示窓でDVD側の“再生”が点滅しているときは、続き再生メモリー機能が働いています。
このときは、[停止■]を押して解除してください。(➔37)

◆選んだ番組（タイトル）の先頭からディスクの最後までをダビングするとき

◆選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングするとき RAM -RW(VR)

再生 を押してダビングしたい番組（タイトル）を再生する、またはプレイリストを再生する(➔59)

- ●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
- ●8時間を超えるプレイリストはダビングできません。（複数のプレイリストをダビングする場合、8時間を超えたプレイリストはとばしてダビングされます）

3 本体表示窓の“START”が点滅し終わるまで、

を約3秒以上押し続ける

- ●ダビング方向矢印(▶)の部分を押してください。
- ●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
- ●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

本体表示窓

ダビング方向

- ●ディスクの再生が終わるか、またはテープの終端になったとき、自動的にダビングを終了します。（メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます）

■ワンタッチダビングが始まると、以下の操作が自動的に行われます

- ●DVD側のオンスクリーン表示→「切」(➜67)
- ●VHS側の録画チャンネル表示→"DC"
- ●DVDの再生時の音声出力→ステレオ(L R)

■ダビングを途中でやめる➡ [停止■]を押す

- ●[リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

お知らせ

- ●ダビングが開始·実行されない場合は、[ダビング]ランプが約7秒間点滅します。準備が正しくされているか、再度確かめてください。
- ●本体表示窓でDVD側の"再生"が点滅しているときは、続き再生メモリー機能(➜37)によって、ディスクの再生開始位置が記憶されています。このときにダビングを開始すると、再生開始位置が含まれるタイトル(➜56)の先頭からディスクの最後までのダビングが実行されます。
- ●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
- ●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。

マニュアルダビング

DVD※に録画された複数の番組(タイトル)やプレイリストを組み合わせて、カセットにダビングすることができます。

※ダビング可能な再生用ディスク: RAM -RW(VR)

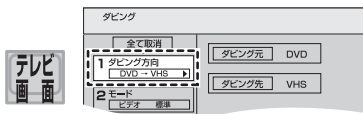
- ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
- ●[DVD]を押す。(➜15)

DVD側:
- ●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。

VHS側:
- ●録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- ●テープに十分な残量があることを確認しておく。(➜70)

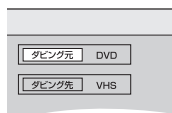
1 停止中に、ダビング 青 を押す

- ●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

- ●ダビング元を「DVD」、ダビング先を「VHS」に設定します。
- ●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順3に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[∧][∨]で「DVD」を選び、[決定]を押す

3 [∨]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[∧][∨]で「VHS」を選び、[決定] を押す
- ●ダビング元とダビング先に同じドライブを選ばないでください。
- ●ダビング先を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。

4 [◀]を押す

5 [∨]を押す

3 録画モードを選ぶ

設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 [∨]で「録画モード」を選び、[決定]を押す

3 [∧][∨]で録画モードを選び、[決定]を押す
- ●「標準」、「3倍」、「5倍」から選びます。(➜71)

4 [◀]を押す

5 [∨]を押す

4 ダビングする番組(タイトル)やプレイリストを登録する(ダビングリスト作成)

- ●登録済みのリストをそのままダビングするときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。

◆リストを作成する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す

2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す

3 [ダビング/青](ビデオ)または[画面表示/赤](プレイリスト)を押す
- ●番組(タイトル)を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

4 [∧][∨][◀][▶]でダビングする番組(タイトル)やプレイリストを選び、[決定]を押す
- ●手順2〜4を繰り返すと、複数の番組(タイトル)やプレイリストをダビングリストに登録できます。

◆複数の番組(タイトル)やプレイリストをまとめて登録する

➡ [∧][∨][◀][▶]で番組(タイトル)やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)

- ●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ●ダビングリストには、タイトル番号の小さい順から登録されます。
- ●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。

◆ダビングリストの画面表示と便利な機能(➜85)

5 [◀]を押す
- ●[◀]を押す前に、"ダビングリスト容量"が"ダビング先残量"よりも小さいことを確認してください。

6 [∨]を押す

(つづく➜次ページ)

マニュアルダビング(つづき)

5 自動CM早送り(➜81)の切/入を選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順6に進んでください。

◆設定を変更する

1 「詳細設定」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「自動CM早送り」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「入」または「切」を選び、[決定]を押す
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

6 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

7 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。

■ダビングを途中でやめる➡[リターン/戻る]を3秒以上押す

お知らせ

●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
●ダビングが始まると、DVD側の**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「切」(➜67)になります。

DVDビデオ(ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW、+R、+RWを含む)をダビングする

ディスクを再生しながら、再生している内容をカセットに録画します。

●ダビング中に操作した動きや画面表示が、そのまま記録されます。
●市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。
●DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。

●99ページ手順1〜3のあとに操作します。

4 ダビング時間を設定する

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。

◆設定を変更する

1 「ダビング時間」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「時間設定」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「入」を選び、[決定]を押す
●「切」にした場合(➜右ページ)
4 [∨]で「録画時間」を選び、[決定]を押す
[◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[∧][∨]で設定する

●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたいタイトルより数分長めに設定してください。
●[1]〜[10/0]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。

5 [決定]を押し、[◀]を押す
6 [∨]を押す

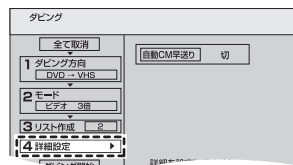
5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●確認画面が表示されます。

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ディスクのトップメニューが表示されます。
●「ファーストプレイ選択」(➜63)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まり、ダビングが開始されます。手順7は不要です。

7 トップメニューが表示されたら、[∧][∨][◀][▶]でダビングを始めたいタイトルを選び、決定を押す

●選んだタイトルから順に再生し、設定した時間まで録画します。
●ディスクの最後のタイトルの再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

■ダビングを途中でやめる➡[停止■]を押す
●[リターン/戻る]を3秒以上押しても、ダビングをやめることができます。

■「時間設定」を「切」にした場合(左ページ手順4の3)

●テープの残量がなくなるまでダビングを続けます。
[停止■]または[リターン/戻る]3秒以上押しで、ダビングをやめることができます。

お知らせ

●最初に右の画面が録画されます。
●ダビングの開始から終了までが1つの番組(タイトル)として記録されます。
●自動的にトップメニューが表示されない場合や、再生が始まらないときは[再生▶]を押してください。
●映像を見ながらダビングしたい部分を選んで、ダビングすることもできます。(➜下記)

その他のダビング

DVDに録画された番組を見ながら、ダビングしたい部分を選んでカセットにダビングすることができます。
ダビングをやめるときは、[停止■]を押してください。

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)

VHS側:
●録画可能なカセットを入れる。
●テープに十分な残量があることを確認しておく。(➜70)

DVD側:
●ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
●"TP"(➜81)以外のチャンネルにする。
(DVD側で"TP"チャンネルが選ばれていると、正しく操作できません)

1 DVD を押す(➜15)

2 ディスクのダビング開始点を探す

1 [再生▶]を押して、DVDを再生する
●再生時の音声(録音したい音声)を選んでおいてください。(➜39)

2 [一時停止❚❚]を押して、ダビングの開始点で静止画にする

3 VHS を押す(➜15)

4 "DC"チャンネルを選ぶ

チャンネル[∧][∨]を押す

●テレビにDVDの映像が表示されます。
●DCチャンネルについて(➜81)

5 カセットの録画開始点を探す

1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
2 [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする
3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

6 録画モード(➜71)を選ぶ

録画モード を数回押す

7 録画を始める

一時停止 を押す

●VHSの録画とDVDの再生が同時に始まります。
●自動的にDVD側に切り換わります。
●VHS側の録画とDVD側の再生を同時に一時停止したり、停止することはできません。

■録画を一時停止する

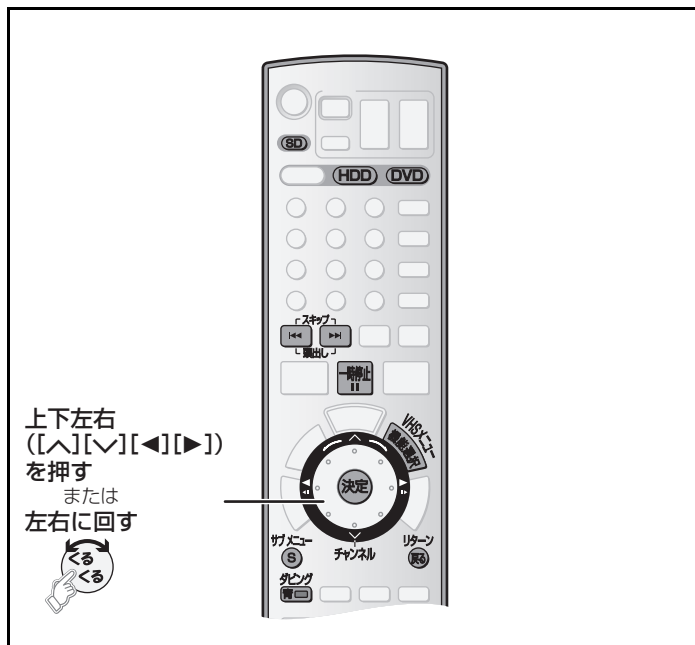
➜ 1 [VHS]を押したあと、[一時停止❚❚]を押す
(VHSの録画が一時停止します)
2 [DVD]を押したあと、[一時停止❚❚]を押す
(DVDの再生が一時停止します)

■録画をやめる

➜ 1 [VHS]を押したあと、[停止■]を押す
(VHSの録画が停止します)
2 [DVD]を押したあと、[停止■]を押す
(DVDの再生が停止します)

お知らせ

●VHS側が予約録画の待機中はダビング操作を実行することはできません。予約録画の待機状態を解除してください。(➜76)
●コピー禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
●ダビングが始まると、DVD側の初期設定「オンスクリーン表示〔オート〕」が「切」(➜67)になります。

写真をダビングする

HDD RAM SD

●本機では、8 MB～1 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➔5)
●CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
●カセットにはダビングできません。

カードの写真をダビングする/HDDやDVD-RAMに保存した写真をカードにダビングする

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➔25)
●DVD-RAMまたはSDメモリーカードを入れる。(➔36,41)
●[HDD]、[DVD]または[SD]のいずれかを押す。(➔15)

1 停止中に、ダビング青 を押す

●ダビング設定画面が表示されます。

2 ダビング方向を設定する

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順3に進んでください。

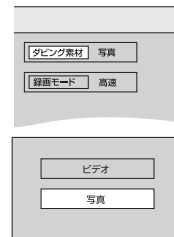
◆設定を変更する

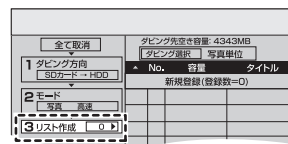
1 「ダビング方向」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング元」が選ばれている状態で、[決定]を押す
[∧][∨]で「SDカード」などを選び、[決定]を押す
3 [∨]で「ダビング先」を選び、[決定]を押す
[∧][∨]で「HDD」などを選び、[決定]を押す
●ダビング元とダビング先に同じドライブが選べます。
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

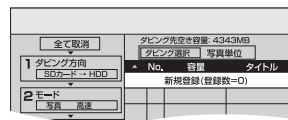
3 ダビング素材を選ぶ

●設定を変更しないときは、[∨]を押して、手順4に進んでください。
●録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

◆設定を変更する

1 「モード」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「ダビング素材」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「写真」を選び、[決定]を押す
●「ビデオ」を選んだ場合は、番組(タイトル)やプレイリストのダビングになります。(➔83手順3,96手順3へ)
4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

4 ダビングする写真やフォルダを登録する(ダビングリスト作成)

●登録済みのリストをそのままダビングするときは、[∨]を押して、手順5に進んでください。
●写真単位、あるいはフォルダ単位で登録できます。
ただし、写真とフォルダを同じリストに登録することはできません。

◆写真単位で登録する

1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、[決定]を押す
3 [∧][∨][◀][▶]でダビングする写真を選び、[決定]を押す
●手順2～3を繰り返すと、複数の写真をダビングリストに登録できます。

◆複数の写真をまとめて登録する

➡ [∧][∨][◀][▶]で写真を選び、[一時停止▮▮]を押す操作を繰り返す(複数選択)

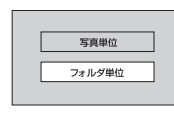
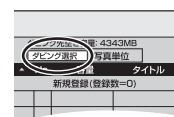
● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止▮▮]を押すと解除されます。

●ダビングリストには、写真番号の小さい順から登録されます。

◆ダビングリストの便利な機能(➔右ページ)

4 [◀]を押す
5 [∨]を押す

◆フォルダ単位で登録する

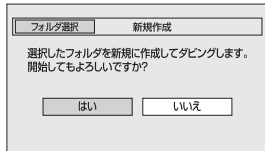
1 「リスト作成」が選ばれている状態で、[▶]を押す
2 [∧]で「ダビング選択」を選び、[決定]を押す
3 [∧][∨]で「フォルダ単位」を選び、[決定]を押す
4 [∧][∨]で「新規登録(登録数=0)」を選び、[決定]を押す
5 [∧][∨]でダビングするフォルダを選び、[決定]を押す
●手順4～5を繰り返すと、複数のフォルダをダビングリストに登録できます。

◆複数のフォルダをまとめて登録する

➡ [∧][∨]でフォルダを選び、[一時停止▮▮]を押す操作を繰り返す(複数選択)

● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止▮▮]を押すと解除されます。

◆ダビングリストの便利な機能(➔右ページ)

6 [◀]を押す
7 [∨]を押す

5 「ダビング開始」が選ばれている状態で、決定を押す

●(写真単位の場合のみ)別のフォルダをダビング先に指定できます。(➜ 右記)

6 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。

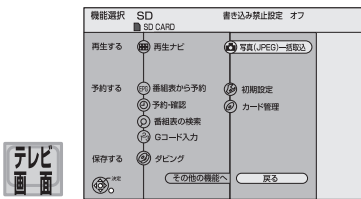
■**ダビングを途中でやめる**➡ [リターン/戻る]を3秒以上押す

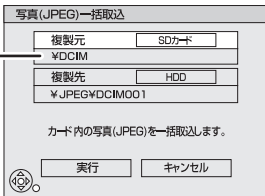
カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMにダビングする [写真(JPEG)一括取込]

ダビング方向: SD ➡ HDD RAM

準備 ●テレビに本機の画面を出す。(➜25)
●SDメモリーカードを入れる。(➜41)
●[SD]を押す。(➜15)

1 停止中に、VHSメニュー 機能選択 を押す

2 [∧][∨]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「写真(JPEG)一括取込」が選ばれている状態で、決定を押す

上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合は、[◀][▶]で切り換えができます

4 [∧][∨]で「複製先」を選び、[◀][▶]で設定する

5 [∧][∨][◀]で「実行」を選び、決定を押す

■**ひとつ前の画面に戻る**➡ [リターン/戻る]を押す

■**ダビングを途中でやめる**➡ [リターン/戻る]を3秒以上押す

お知らせ

●フォルダやカードごとダビングする場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
●ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
●ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜43)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
●ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(➜61)
●プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
●ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

ダビングリストの便利な機能

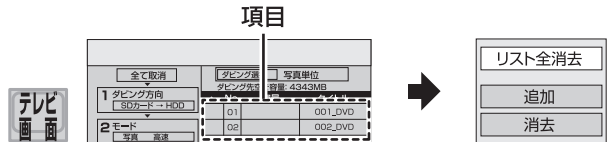
■**前後のページを表示する**

➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す
●[∧][∨][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

■**まとめて登録/消去する**

➡ [∧][∨][◀][▶]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す(複数選択)
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

■**リストの項目(写真やフォルダの登録)を消去/追加する**

➡ **1** [∧][∨]で編集したい項目を選び、[サブ メニュー]を押す
●サブメニュー画面が表示されます。

項目

2 [∧][∨]で編集したい内容を選び、[決定]を押す

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

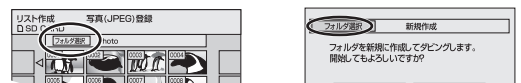
追加:
選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[∧][∨][◀][▶]で追加する写真やフォルダを選び、[決定]を押してください。

消去:
選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。(➜上記)
「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

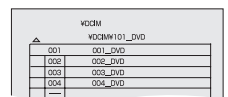
◆**不要な項目を新しい項目と入れ替えたい場合**

➡ **1** [∧][∨]で不要な項目を選び、[決定]を押す
2 [∧][∨][◀][▶]で新しく登録したい写真やフォルダを選び、[決定]を押す
●項目が入れ替わります。

■**別のフォルダの写真を選ぶ/別のフォルダをダビング先に指定する/上位フォルダを切り換える**

➡ **1** [∧]で「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す

◆[**ダビングリスト作成時(➜ 左ページ手順4)のみ**]
上位フォルダを切り換える(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ)

➡ **1** [サブ メニュー]を押す
2 「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
3 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す
●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

2 **フォルダを選び、[決定]を押す**
●別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

■**以前に登録したモードなどの設定・登録されているリストを一度に取り消す**

➡ [∧]で「全て取消」を選び、[決定]を押す
●確認画面が表示されます。
[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。

ダビング
全て取消
1 ダビング方向
SDカード → HDD

●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
・ダビング元で番組(タイトル)や写真の記録、消去などをした場合
・ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変えるなどを行った場合

他のビデオやビデオカメラからダビングする

例では、前面の外部入力2(L2)端子に接続していますが、後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子※に接続することもできます。
※外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。(➜67)

■外部機器の音声出力端子がモノラルのとき
- 本機前面の外部入力2(L2)端子に接続するときは、音声は[左/モノ]に接続してください。
- 本機後面の外部入力1(L1)端子または外部入力3(L3)/BSデコーダー入力端子に接続するときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

■S映像入力について
- S映像コードからの入力は、S1/S2規格(➜113)に対応しています。
  VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS方式では録画できません。(VHS方式で録画されます)

市販のビデオやDVDソフトのほとんどは、録画禁止処理がされており録画できません。

■録画する番組の映像・音声の記録について(詳しくは➜11)
HDD RAM -R -RW(V) +R
- 16:9 映像の番組
  ➜ 4:3 映像で記録します。
- 海外ドラマなどの二重放送
  ➜ 主、副音声のどちらか一方のみ記録してください。両音声を記録すると、再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。
  接続する機器側で、「主音声」または「副音声」のどちらか一方のみを出力する設定にする
  (接続した機器側で音声を選べない場合 ➜55)

◆ 16:9映像の番組、二重放送の番組をそのまま録画するには※
HDD RAM
➜ **1** 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜66)
2 (二重放送を録画する場合のみ)
接続した機器側で、「主音声」と「副音声」の両方が出力されるように設定する
- 主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

※ダビング後、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定の場合は、この操作を行わないことをおすすめします。
・高速でダビングできなくなります。(1倍速でダビングします)
・**主、副音声の両方を記録した番組(タイトル)をダビングすると、ディスクに両音声とも記録され、ディスク再生時に、主音声と副音声の両方が混ざって聞こえます。**

準備
- [HDD]、[DVD]または[VHS]のいずれかを押して、録画する側に切り換える。(➜15)
- 録画可能なディスク(➜4)、またはカセットを入れる。

1 外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ
チャンネル[∧][∨]を押す
L1: 外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2: 外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3: 外部入力3端子(後面)に接続したとき

2
録画開始点を探す
(HDD/DVD側で録画する場合、この操作は不要です)
1 [再生▶]を押して、カセットを再生する
2 [一時停止❚❚]を押して、録画の開始点で静止画にする
3 [録画●]を押して、録画の一時停止にする

3 録画モード(➜44,71)を選ぶ
[録画モード]を数回押す

4
再生機で、再生を始める

5 録画を始める
◆HDD/DVD側で録画するとき
録画を始めたい場面で、[録画●]を押す
◆VHS側で録画するとき
録画を始めたい場面で、[一時停止❚❚]を押す

■録画を一時停止する➜[一時停止❚❚]を押す
- もう一度押すと録画を続けます。

■録画をやめる➜[停止■]を押す
- 再生機も停止させてください。

■ディスクの残量に合わせて録画する
(HDD/DVD側で録画する場合)
➜ ぴったり録画(➜46)

■本機を再生機として使うとき
- テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(➜67,79)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

■テレビの近くで操作するとき
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

別売品のご紹介(2005年3月現在)

■映像や音声を楽しむには
●映像・音声コード(ステレオ←→ステレオ)
:RP-CVP3G05(0.5 m)★
:RP-CVP3G10(1.0 m)★
:RP-CVP3G15(1.5 m)★
:RP-CVP3G20(2.0 m)★
:RP-CVP3G30(3.0 m)★
●映像・音声コード(ステレオ←→モノラル)
:RP-CVP2G10(1.0 m)★
:RP-CVP2G20(2.0 m)★
:RP-CVP2G30(3.0 m)★
●音声コード(ステレオ←→ステレオ)
:RP-CAP3G05(0.5 m)★
:RP-CAP3G10(1.0 m)★
:RP-CAP3G15(1.5 m)★
:RP-CAP3G20(2.0 m)★
:RP-CAP3G30(3.0 m)★
●S映像コード
:RP-CVS0G10(1.0 m)★
:RP-CVS0G20(2.0 m)★
:RP-CVS0G30(3.0 m)★
●D端子ピンケーブル
:RP-CVCDG15(1.5 m)★
:RP-CVCDG30(3.0 m)★
●D端子ケーブル
:RP-CVDG15A(1.5 m)★
:RP-CVDG30A(3.0 m)★
●光デジタルケーブル(光角形プラグ←→光角形プラグ)
:RP-CA2005A(0.5 m)★
:RP-CA2010A(1.0 m)★
:RP-CA2020A(2.0 m)★
:RP-CA2030A(3.0 m)★

■外出先からパソコンや携帯電話で予約録画するには
(インターネットの常時接続環境が必要です)
●ブロードバンドレシーバー:DY-NET2★

■テレビ放送を楽しむには
●75Ω同軸ケーブル:VJA1091(1.4 m)★
●BS同軸ケーブル:VW-KBS1(2.0 m)★
●75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用)
:VSQ1035★
●アンテナプラグ:VUA7050★
●CS・BS/U・V分波器:TY-6S7BCSW★

■カセットを楽しむには
●カセットアダプター:VW-TCA7★
●ビデオヘッドクリーナー
:VFK0923FM(乾式、使用回数180回)★
:VFK0923FS(乾式、使用回数30回)★

■カードで楽しむには
●SDメモリーカード
:RP-SDK01GJ1A(1 GB)★
:RP-SDK512J1A(512 MB)★
:RP-SDH256N1A(256 MB)★
:RP-SD128BL1A(128 MB)★
:RP-SD064BL1A(64 MB)★
:RP-SD032BL1A(32 MB)★
●SDメディアストレージ(モバイルハードディスク内蔵)
:SV-PT1
●miniSD™カード
:RP-SS256BJ1K(256 MB)★
:RP-SS128BJ1K(128 MB)★
:RP-SS064BJ1K(64 MB)★
:RP-SS032BJ1K(32 MB)★

■ディスクに録画するには
●DVD-RAMディスク(9.4 GB:両面、カートリッジあり)
:LM-AD240L(1枚、3× 高速記録対応)★
●DVD-RAMディスク(4.7 GB:片面、カートリッジあり)
:LM-AB120M(1枚、5× 高速記録対応)★
:LM-AB120LP5(5枚組、3× 高速記録対応)★
●DVD-RAMディスク(4.7 GB:片面、カートリッジなし)
:LM-AF120M(1枚、5× 高速記録対応)★
:LM-AF120L(1枚、3× 高速記録対応)★
●DVD-Rディスク(4.7 GB:片面)
:LM-RF120MW(1枚、8× 高速記録対応)
(2005年4月発売)★
●DVD-RWディスク(4.7 GB:片面)
:LM-RW120(1枚、2× 高速記録対応)
(2005年5月発売)★
●+Rディスク(4.7 GB:片面)
:LM-PR120MW(1枚、8× 高速記録対応)
(2005年4月発売)★

■お手入れには
●クリーニングクロス:VUA7091(5枚入り)★
●レンズクリーナー:RP-CL720(2005年5月発売)★
●ブルーレイ/DVDディスククリーナー:RP-CL750★

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

パナセンスカスタマーセンター
Pana Sense
TEL　06-6907-9144
http://www.sense.panasonic.co.jp/

市外局番チャンネル設定一覧(VHF/UHF)

市外局番チャンネル設定(➜26)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。
市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

地上デジタル放送の導入にともない、一部の地域では、地上アナログ放送局のチャンネルが変更になることがあります。
この場合、市外局番チャンネル設定を行ったあと、マニュアルチャンネル設定で修正が必要になります。

都道府県	都市名	市外局番	Po(チャンネルポジション)/CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイド(ガイドチャンネル)																			
			Po 1				Po 2				Po 3				Po 4				Po 5			
			放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド
北海道	札幌	011	HBCテレビ	1	1	1					NHK総合札幌	3	3	80	TV北海道	17	17	17	STVテレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育札幌	2	2	90												
	帯広	0155	HTBテレビ	34	34	35									NHK総合札幌	4	4	80				
	釧路	0154					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	29	29	17				
	室蘭	0143					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	29	29	17				
	函館	0138	TV北海道	21	21	17	UHBテレビ	27	27	27	HTBテレビ	35	35	35	NHK総合札幌	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合青森	3	3	80					NHK教育青森	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日放送	31	31	34				
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこいテレビ	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合盛岡	4	4	80	IATテレビ	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合仙台	3	3	80					NHK教育仙台	5	5	90
秋田	秋田	018					NHK教育秋田	2	2	90									秋田朝日放送	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合秋田	4	4	80	秋田朝日放送	59	59	31
山形	山形	023													NHK教育山形	4	4	90	さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合山形	3	3	80					さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育福島	2	2	90					テレビユー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合福島	1	1	80					NHK教育福島	3	3	90	テレビユー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビユー福島	32	32	31					NHK総合福島	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合東京	44	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合東京	51	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	49	3	90	日本テレビ	53	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合東京	52	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	さいたま	048	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	MROテレビ	6	6	6	NHK総合富山	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合金沢	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育福井	3	3	90								
山梨	甲府	055	NHK総合甲府	1	1	80					NHK教育甲府	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合長野	2	2	80					長野朝日放送	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日放送	44	44	20					NHK教育長野	3	3	90	NHK総合長野	4	4	80				
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合名古屋	39	3	80					CBCテレビ	5	5	5
静岡	静岡	054					NHK教育静岡	2	2	90					静岡第一テレビ	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一テレビ	30	30	31					NHK総合静岡	4	4	80	CBCテレビ	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合名古屋	3	3	80					CBCテレビ	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合名古屋	31	3	80	毎日放送	4	4	4	CBCテレビ	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合大阪	28	28	80					毎日放送	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合大阪	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合大阪	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	31	4	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK総合大阪	51	51	ー
和歌山	和歌山	073					NHK総合大阪	32	2	80					毎日放送	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合鳥取	3	3	80	NHK教育鳥取	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合松江	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	OHKテレビ	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育岡山	3	3	90					NHK総合岡山	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合広島	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	084	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育広島	3	3	90					NHK総合広島	5	5	80
山口	山口	083	NHK教育山口	1	1	90	KBCテレビ	2	2	1	TVQ九州放送	23	23	19	山口朝日放送	28	28	28	大分放送	5	5	5
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合徳島	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育高松	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合高松	37	37	80
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育松山	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合松山	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育松山	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合高知	4	4	80				
福岡	福岡	092	KBCテレビ	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合福岡	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	TVQ九州放送	19	19	19
	北九州	093					KBCテレビ	2	2	1	FBSテレビ	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	KBCテレビ	57	57	1	NHK教育佐賀	40	40	90	FBSテレビ	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	14	14	19
長崎	長崎	095	NHK教育長崎	1	1	90	KBCテレビ	57	57	1	NHK総合長崎	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	KBCテレビ	1	1	1	NHK教育熊本	2	2	90	熊本朝日放送	16	16	16	KKTテレビ	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	KBCテレビ	1	1	1					NHK総合大分	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育宮崎	2	2	90					NHK総合宮崎	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合鹿児島	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育鹿児島	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日放送	28	28	28	NHK総合沖縄	2	2	80												

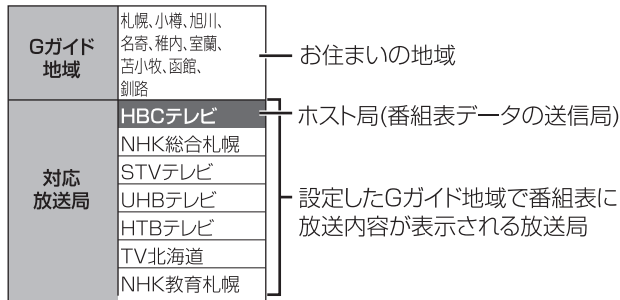
- **市外局番が表にない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる「市外局番」を入力してください。**
- 新たに開局した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。
- 一覧表の①～⑫の放送局は、リモコンの [1] ～ [12] を押すだけで選ぶことができます。
- 白抜き文字 の放送局はホスト局[番組表(Gガイド)データの送信局]です。これらの放送局がいずれも受信できない地域では、番組表(Gガイド)は使用できません。
- マニュアルチャンネル設定を行う方は、各放送局のガイドチャンネルを「ガイド」の項目のとおり合わせてください。(例:NHK総合テレビ→80、NHK教育テレビ→90)

Po(チャンネルポジション)/CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイド(ガイドチャンネル)

Po ⑥				Po ⑦				Po ⑧				Po ⑨				Po ⑩				Po ⑪				Po ⑫			
放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド	放送局名	CH	表示	ガイド
								UHBテレビ	27	27	27					HTBテレビ	35	35	35					NHK教育札幌	12	12	90
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	37	37	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	HBCテレビ	11	11	1				
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	59	59	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	61	61	35	HBCテレビ	53	53	1				
HBCテレビ	6	6	1					UHBテレビ	32	32	27					STVテレビ	10	10	5					NHK教育札幌	12	12	90
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	41	41	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	HBCテレビ	11	11	1				
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	37	37	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	HBCテレビ	11	11	1				
HBCテレビ	6	6	1													NHK教育札幌	10	10	90					STVテレビ	12	12	5
								UHBテレビ	27	27	27					青森朝日放送	34	34	34	HTBテレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
				NHK教育青森	7	7	90					NHK総合青森	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
IBCテレビ	6	6	6	ミヤギテレビ	34	34	34	NHK教育盛岡	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
				東日本放送	32	32	32					ミヤギテレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
												NHK総合秋田	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
秋田放送	6	6	11					NHK教育秋田	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
テレビユー山形	36	36	36					NHK総合山形	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
NHK教育山形	6	6	90					テレビユー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島中央テレビ	33	33	33	東日本放送	32	32	32	ミヤギテレビ	34	34	34	NHK総合福島	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央テレビ	37	37	33	ミヤギテレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
福島中央テレビ	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育福島	10	10	90					福島放送	36	36	35
TBSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
TBSテレビ	55	6	6					フジテレビ	57	8	8					テレビ朝日	41	10	10					テレビ東京	44	12	12
TBSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	tvk	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	tvk	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	tvk	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
								NHK総合新潟	8	8	80					新潟総合テレビ	35	35	35					NHK教育新潟	12	12	90
チューリップ	32	32	32													NHK教育富山	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
MROテレビ	6	6	6	北陸朝日放送	25	25	25	NHK教育金沢	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
MROテレビ	6	6	6									NHK総合福井	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
テレビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
テレビ信州	30	30	30									NHK教育長野	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
テレビ愛知	25	25	25	岐阜テレビ	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育名古屋	9	9	90					メ～テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
静岡朝日テレビ	33	33	33									NHK総合静岡	9	9	80					SBSテレビ	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
SBSテレビ	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育静岡	8	8	90					静岡朝日テレビ	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
岐阜テレビ	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育名古屋	9	9	90					メ～テレ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
ABCテレビ	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育名古屋	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	メ～テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
ABCテレビ	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育大阪	46	46	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	41	6	6					関西テレビ	43	8	8					読売テレビ	47	10	10					NHK教育大阪	45	12	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育大阪	25	12	90
																山陰放送	22	22	10					山陰中央テレビ	24	24	34
NHK総合松江	6	6	80					山陰中央テレビ	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育松江	12	12	90
								山陰中央テレビ	58	58	34	NHK教育松江	9	9	90												
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
				NHK教育広島	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12				
				テレビ山口	38	38	38	RKB毎日放送	8	8	4	NHK総合山口	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	FBSテレビ	35	35	37
ABCテレビ	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育徳島	38	12	90
ABCテレビ	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	OHKテレビ	31	31	35
NHK総合松山	6	6	80	愛媛朝日テレビ	25	25	25	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	テレビ愛媛	37	37	37
南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	愛媛朝日テレビ	14	14	25	山陽放送	11	11	11	テレビ愛媛	36	36	37
NHK教育高知	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
NHK教育福岡	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					RKKテレビ	11	11	11	FBSテレビ	37	37	37
NHK総合福岡	6	6	80					RKB毎日放送	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	RKKテレビ	11	11	11	NHK教育福岡	12	12	90
テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日放送	48	48	4	NHK総合佐賀	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	RKKテレビ	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
テレビ熊本	34	34	34	長崎国際テレビ	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化放送	27	27	27	RKKテレビ	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	KKTテレビ	22	22	22
テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合熊本	9	9	80	TVQ九州放送	19	19	19	RKKテレビ	11	11	11	RKB毎日放送	4	4	4
南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	FBSテレビ	37	37	37	大分朝日放送	24	24	24	TVQ九州放送	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育大分	12	12	90
				鹿児島放送	32	32	32	NHK総合宮崎	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育宮崎	12	12	90
宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	KKTテレビ	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日放送	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
鹿児島テレビ	35	35	38	KKTテレビ	22	22	22	NHK総合鹿児島	8	8	80	熊本朝日放送	16	16	16	南日本放送	10	10	1	RKKテレビ	11	11	11	NHK教育鹿児島	12	12	90
								沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育沖縄	12	12	90

Gガイド地域・ホスト局一覧

表の見かた

Gガイド地域	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路	お住まいの地域
対応放送局	**HBCテレビ**	ホスト局(番組表データの送信局)
	NHK総合札幌	設定したGガイド地域で番組表に放送内容が表示される放送局
	STVテレビ	
	UHBテレビ	
	HTBテレビ	
	TV北海道	
	NHK教育札幌	

- ホスト局がいずれも受信できない地域では、番組表(Gガイド)は使用できません。
- ホスト局を変更したり、別の放送局がホスト局となっている地域にGガイド地域を変更すると、それまでの番組表(Gガイド)データは消え、次のデータを受信するまで表示されません。

(2005年3月現在)

Gガイド地域	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路	帯広、網走、北見	青森、八戸、むつ	盛岡、釜石、二戸	仙台、石巻、気仙沼	秋田、大館、大曲	山形、鶴岡、米沢	福島、いわき、会津若松	水戸、日立
対応放送局	**HBCテレビ**	UHBテレビ	青森放送	NHK総合盛岡	**東北放送**	NHK教育秋田	NHK教育山形	NHK教育福島	NHK総合東京
	NHK総合札幌	NHK総合札幌	NHK総合青森	**IBCテレビ**	NHK総合仙台	秋田朝日放送	**テレビユー山形**	**テレビユー福島**	NHK教育東京
	STVテレビ	**HBCテレビ**	青森朝日放送	NHK教育盛岡	NHK教育仙台	NHK総合秋田	NHK総合山形	福島中央テレビ	日本テレビ
	UHBテレビ	HTBテレビ	NHK教育青森	テレビ岩手	東日本放送	秋田放送	山形放送	NHK総合福島	**TBSテレビ**
	HTBテレビ	STVテレビ	**青森テレビ**	IATテレビ	ミヤギテレビ	**秋田テレビ**	さくらんぼ	福島放送	フジテレビ
	TV北海道	NHK教育札幌		めんこいテレビ	仙台放送		山形テレビ	福島テレビ	テレビ朝日
	NHK教育札幌								テレビ東京
									MXテレビ
									千葉テレビ

Gガイド地域	宇都宮、矢板	前橋、桐生	さいたま	熊谷、秩父	千葉	銚子	東京23区、八王子、多摩	横浜1、横浜2、平塚、秦野、小田原	甲府
対応放送局	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合甲府
	NHK教育東京	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	NHK教育甲府
	日本テレビ	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	山梨放送
	TBSテレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	**テレビ山梨**
	フジテレビ	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	
	テレビ朝日	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ朝日	
	テレビ東京	群馬テレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ朝日	千葉テレビ	フジテレビ	tvk	
	とちぎテレビ	テレビ東京	テレビ埼玉	テレビ東京	千葉テレビ	テレビ東京	tvk	テレビ東京	
	MXテレビ	MXテレビ	テレビ東京		テレビ東京	tvk	テレビ朝日	MXテレビ	
		テレビ埼玉			tvk		千葉テレビ		
							テレビ東京		

Gガイド地域	長野1、長野2、松本、飯田、岡谷・諏訪	新潟、上越	富山、高岡	金沢、七尾	福井、敦賀	岐阜、高山、中津川、名古屋、豊橋、豊田	静岡、浜松、富士、三島・沼津、島田、藤枝	津、伊勢、名張	大津、彦根
対応放送局	NHK総合長野	新潟テレビ21	北日本放送	石川テレビ	NHK教育福井	東海テレビ	NHK教育静岡	東海テレビ	NHK総合大阪
	長野朝日放送	テレビ新潟	NHK総合富山	NHK総合金沢	NHK総合福井	NHK総合名古屋	静岡第一テレビ	NHK総合名古屋	**毎日放送**
	テレビ信州	**新潟放送**	富山テレビ	**MROテレビ**	福井放送	**CBCテレビ**	静岡朝日テレビ	**CBCテレビ**	ABCテレビ
	長野放送	NHK総合新潟	NHK教育富山	NHK教育金沢	**福井テレビ**	中京テレビ	テレビ静岡	中京テレビ	京都テレビ
	NHK教育長野	新潟総合テレビ	**チューリップ**	テレビ金沢		NHK教育名古屋	NHK総合静岡	NHK教育名古屋	関西テレビ
	信越放送	NHK教育新潟		北陸朝日放送		岐阜テレビ	**SBSテレビ**	三重テレビ	読売テレビ
						メ～テレ		メ～テレ	びわ湖放送
						テレビ愛知		テレビ愛知	NHK教育大阪
						三重テレビ			

Gガイド地域	京都、舞鶴、福知山、大阪	神戸、神戸灘、川西、三木、姫路、明石	奈良、五條	和歌山、海南・田辺	鳥取	松江、浜田	岡山、津山、笠岡	広島、福山、尾道、呉	山口、下関、宇部、岩国
対応放送局	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	日本海テレビ	日本海テレビ	テレビせとうち	テレビ新広島	NHK教育山口
	京都テレビ	サンテレビ	奈良テレビ	テレビ和歌山	NHK総合鳥取	NHK総合松江	NHK教育岡山	NHK総合広島	山口朝日放送
	毎日放送	**毎日放送**	**毎日放送**	**毎日放送**	NHK教育鳥取	NHK教育松江	NHK総合岡山	**中国放送**	**テレビ山口**
	テレビ大阪	ABCテレビ	テレビ大阪	ABCテレビ	山陰中央テレビ	山陰中央テレビ	瀬戸内海放送	NHK教育広島	NHK総合山口
	ABCテレビ	関西テレビ	ABCテレビ	関西テレビ	**山陰放送**	**山陰放送**	OHKテレビ	広島ホーム	山口放送
	関西テレビ	読売テレビ	関西テレビ	読売テレビ			西日本放送	広島テレビ	
	読売テレビ	テレビ大阪	サンテレビ	NHK教育大阪			**山陽放送**		
	NHK教育大阪	NHK教育大阪	読売テレビ						
	サンテレビ		NHK教育大阪						
			京都テレビ						

Gガイド地域	徳島	高松、丸亀	松山、新居浜、今治、宇和島	高知	福岡、久留米、大牟田、北九州、行橋	佐賀（1）（ホスト局が「RKB毎日放送」の場合）	佐賀（2）（ホスト局が「RKKテレビ」の場合）	長崎、佐世保、諫早	熊本
対応放送局	四国放送	テレビせとうち	NHK教育松山	NHK総合高知	KBCテレビ	NHK教育佐賀	NHK教育佐賀	NHK教育長崎	NHK教育熊本
	NHK総合徳島	NHK教育高松	**あいテレビ**	NHK教育高知	NHK総合福岡	KBCテレビ	KBCテレビ	NHK総合長崎	熊本朝日放送
	毎日放送	NHK総合高松	NHK総合松山	高知放送	**RKB毎日放送**	**RKB毎日放送**	TVQ九州放送	**長崎放送**	KKTテレビ
	ABCテレビ	瀬戸内海放送	テレビ愛媛	**テレビ高知**	NHK教育福岡	TVQ九州放送	サガテレビ	長崎国際テレビ	テレビ熊本
	関西テレビ	OHKテレビ	愛媛朝日テレビ	高知さんさん	テレビ西日本	サガテレビ	NHK総合佐賀	長崎文化放送	NHK総合熊本
	NHK教育徳島	西日本放送	南海放送		TVQ九州放送	NHK総合佐賀	FBSテレビ	テレビ長崎	**RKKテレビ**
		山陽放送			FBSテレビ	FBSテレビ	**RKKテレビ**		

Gガイド地域	大分、中津	宮崎、延岡	鹿児島、阿久根、鹿屋	沖縄
対応放送局	NHK総合大分	テレビ宮崎	**南日本放送**	NHK総合沖縄
	大分放送	NHK総合宮崎	NHK総合鹿児島	琉球朝日放送
	テレビ大分	**宮崎放送**	NHK教育鹿児島	沖縄テレビ
	大分朝日放送	NHK教育宮崎	鹿児島放送	**琉球放送**
	NHK教育大分		鹿児島テレビ	NHK教育沖縄
			鹿児島読売	

放送局コード一覧

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK総合札幌	0336
	NHK教育札幌	0346
	HBCテレビ	0257
	STVテレビ	0261
	UHBテレビ	0283
	HTBテレビ	0291
	TV北海道	0273
青森	NHK総合青森	0592
	NHK教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	0290
秋田	NHK総合秋田	1360
	NHK教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	0287
岩手	NHK総合盛岡	0848
	NHK教育盛岡	0858
	IATテレビ	0276
	テレビ岩手	0547
	IBCテレビ	0262
	めんこいテレビ	0289
山形	NHK総合山形	1616
	NHK教育山形	1626
	山形放送	0266
	さくらんぼ	0286
	テレビユー山形	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK総合仙台	1104
	NHK教育仙台	1114
	東北放送	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK総合福島	1872
	NHK教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	0545
	テレビユー福島	0543

地区	放送局名	放送局コード
福島	福島テレビ	0523
関東	NHK総合東京	2128
	NHK教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBSテレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MXテレビ	0270
	テレビ埼玉	0806
	千葉テレビ	0302
	tvk	0298
	群馬テレビ	0304
	とちぎテレビ	0535
新潟	NHK総合新潟	2384
	NHK教育新潟	2394
	新潟放送	0517
	新潟総合テレビ	1059
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ21	0277
長野	NHK総合長野	2640
	NHK教育長野	2650
	長野放送	1062
	長野朝日放送	0532
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK総合甲府	2896
	NHK教育甲府	2906
	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK総合静岡	3920
	NHK教育静岡	3930
	SBSテレビ	1291
	テレビ静岡	1315
	静岡朝日テレビ	1057
	静岡第一テレビ	0799
中部	NHK総合名古屋	4176
	NHK教育名古屋	4186
	東海テレビ	1281
	CBCテレビ	1029

地区	放送局名	放送局コード
中部	メ～テレ	1547
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
	岐阜テレビ	1061
	三重テレビ	1313
富山	NHK総合富山	3152
	NHK教育富山	3162
	チューリップ	0544
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK総合金沢	3408
	NHK教育金沢	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	0281
	MROテレビ	0774
福井	NHK総合福井	3664
	NHK教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西	NHK総合大阪	4432
	NHK教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	ABCテレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
	京都テレビ	1058
	サンテレビ	0548
	奈良テレビ	0311
	テレビ和歌山	1054
	びわ湖放送	0798
岡山	NHK総合岡山	5200
	NHK教育岡山	5210
	山陽放送	1803
	OHKテレビ	1827
	テレビせとうち	0279
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	0772

地区	放送局名	放送局コード
広島	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	1055
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	1537
	山陰放送	1034
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	1314
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	0284
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	0793
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TVQ九州放送	0531

地区	放送局名	放送局コード
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	2315
	熊本朝日放送	0528
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	1049
	長崎文化放送	0539
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第1	0074
	衛星第2	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

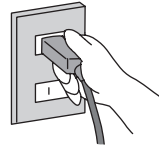
⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

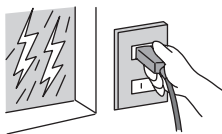
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

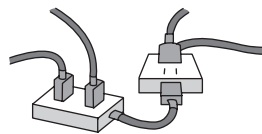
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

●販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

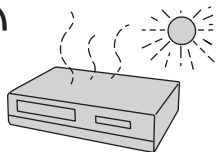
分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

●内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

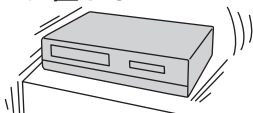
内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

●後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因となることがあります。

●設置・工事は販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

・⊕と⊖は逆に入れない
・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
・乾電池は充電しない
・加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
・ネックレスなどの金属物といっしょにしない
・被覆のはがれた電池は使わない
・乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

●長期間使わないときは、取り出しておいてください。
●万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

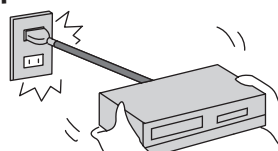
●特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

●ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

用語解説

サ サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、タイトル一覧などにタイトル内の1場面が表示されます)

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、本機では正常に再生できません。

デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドライブ
本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(DVD)、SDメモリーカード(SD)のことをいいます。データの読み書きを行います。

ハ パン&スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン&スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

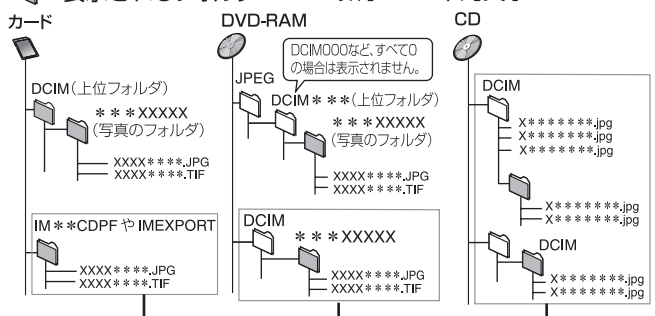
ファイナライズ
録音･録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rのファイナライズが可能です。
DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると再生専用ディスクとなり、録画や編集ができなくなります。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。

フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW(DVD-Video方式)、SDメモリーカードのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

フォルダ
ハードディスクやSDメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG/TIFF)の保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース
- 従来の映像信号(NTSC)は525i(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p:プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

● **プロテクト**

記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

B **Bitstream(ビットストリーム)**

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C **CPRM**（シーピーアールエム）
(Content Protection for Recordable Media)（コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア）

デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに録画できます。

D **D1/D2映像出力**

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i 信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

● **Dolby Digital(ドルビーデジタル)**

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で録画すると、通常はドルビーデジタル(2チャンネル)で記録されます。

● **DPOF(Digital Print Order Format)**（ディーポフ デジタル プリント オーダー フォーマット）

デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

● **DTS (Digital Theater Systems)**（ディーティーエス デジタル シアター システムズ）

映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E **EPG (Electronic Program Guide)**（イーピージー エレクトロニック プログラム ガイド）

テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表(Gガイド)を使って予約録画などができます。

H **HDD(ハードディスクドライブ)**

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I **ID3タグ**

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

● **Ir システム**（アイアール）

チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

J **JPEG(Joint Photographic Experts Group)**（ジェイペグ ジョイント フォトグラフィック エキスパーツ グループ）

カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L **LPCM (リニア PCM)**（エルピーシーエム ピーシーエム）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。本機では、XPモードで録画するときに選べます。

M **MP3 (MPEG Audio Layer3)**（エムピースリー エムペグ オーディオ レイヤー）

元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

P **PBC (Playback Control)**（ピービーシー プレイバック コントロール）

ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
(本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています)

● **P.PCM (パックト PCM)**（ピーピーシーエム ピーシーエム）

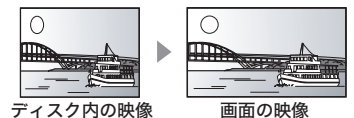
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

S **S映像出力**

映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

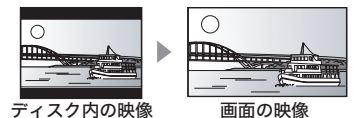
- **S1映像信号**
  映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

- **S2映像信号**
  S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

● **SQPB (S-VHS Quasi Playback)**（エスキュピービー エスブイエッチエス クアジ プレイバック）

S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

● **S-VHS ET**（エスブイエッチエス イーティー）
(Super VHS Expansion Technology)（スーパー ブイエッチエス エクスパンション テクノロジー）

VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能です。
本機にはこの機能はありません。

T **TIFF(Tag Image File Format)**（ティフ タグ イメージ ファイル フォーマット）

カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

V **VBR (Variable Bit Rate)**（ブイビーアール ヴァリアブル ビット レート）

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

さくいん

Q&A(よくあるご質問)

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

	Q(質問)	A(回答)	ページ
設置/接続	転居先で使えるか?	●本機は日本国内専用です。東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	—
	モノラルテレビと接続したいが?	●ステレオ←→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。	105
	ビデオ入力(映像・音声)端子がないテレビと接続したいが?	●本機とは接続できません。	—
	ハイビジョンテレビに接続できるか?	●できます。特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	21
	S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D映像入力端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか?	●DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。 コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。	21
	プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か?	●当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。他社製については、メーカーの問い合わせ窓口にご確認ください。	—
	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か?	●本機だけではマルチチャンネル音声は楽しめません。光デジタルケーブルでドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプへ接続してください。 ●本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声では楽しめません。	22 —
	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか?	●本機には直接接続できません。アンプなどをとおして接続してください。	22
地上デジタル・BS・CS放送	地上デジタルやCS、BSの放送を見ることができるか? また、それらの放送を録画できるか?	●BSチューナーを接続しなくても、本機でBS(アナログ)を見たり録画したりすることができます(BS9チャンネルではできません)。 ●本機だけでは地上デジタルやBS(デジタル)、CSの放送を見ることはできません。地上デジタル・BS/CSデジタルのチューナーなどを外部入力(L1〜L3)に接続し、チューナーを接続した外部入力チャンネルを選ぶと、放送を見たり録画することができます。 ●チューナーのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。接続した機器の説明書をご確認ください。 ●有料放送を見るには、放送会社との(複数のBS放送を見るには放送局ごとに)受信契約が必要な場合があります。 ●デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、HDDを使用するか"CPRM"対応のDVD-RAMが必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、録画したこれらの映像は複製できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、CPRM対応のDVD-RWやDVD-Rには録画できません。 ●「1回だけ録画可能」のデジタル放送は、カセットにも録画できます。 ●デジタルハイビジョン画質での録画はできません。	— 17,20,55,77 18,55,77 17,20,55,77 6 6 6 —
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか?	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力(L1〜L3)に接続し、外部入力を接続したチャンネルを選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	55,77
ディスク	両面のDVD-RAMは使えるか?	●使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。(自動で裏返すことはできません)	36,45
	DVD-R、DVD-RW、+R、+RWは使えるか?	●使用できます。 ・DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rは録画・再生できます。 ・DVD-RW(VR方式)、+RWは再生のみとなります。 ・高速記録対応のDVD-R、DVD-RW、+Rも使用できます。	4
	CD-RやCD-RWは使えるか?	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真(JPEG/TIFF)のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。MP3や写真(JPEG/TIFF)は、1枚のディスクにルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示され、最大999個のファイル(トラック)が再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	41 —
	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか?	●映像方式がNTSCであれば再生できますが、DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	4
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか?	●DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。	—

Q&A(よくあるご質問)(つづき)

	Q(質問)	A(回答)	ページ
カセット	S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?	●できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。	71 68
	S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか?	●カセットアダプター(別売)を使えばできます。ただし、S-VHS-Cカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたS-VHS-Cカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。	― ―
	海外で録画したカセットを再生できるか?	●同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。	―
	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか?	●できません。	71
HDD・DVD録画・録音	市販のビデオやDVDから録画できるか?	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	―
	本機で録画したDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rは他の機器で再生できるか?	●本機で録画したDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rを本機でファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます(ただし、すべての機器で再生保証するものではありません)。また、記録状態によって再生できない場合があります。	63
	本機でデジタル信号のまま録音できるか?	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	―
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	●できます(PCM)。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**の「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:「入」 「Dolby Digital」:「PCM」 「DTS」:「PCM」 (ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です) ●MP3信号は録音できません。	67 ―
	ディスクに高速でダビングできるか?	●できます。高速記録対応のディスクを使用すると、1時間の番組(タイトル)をDVD-R、+Rに最短約56秒、DVD-RAMに最短約1.5分、DVD-RW(DVD-Video方式)に最短約1.9分でダビングできます。	81
	MPEG4は録画できるか?	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	―
	録画中、二重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか?	●HDDまたはDVD-RAMに録画中は、**初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」になっていれば、**[音声/黄]**で切り換えられます。(録音される音声に影響はありません) ●DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rがディスクトレイにあるときは切り換えできません。 DVD-R、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+Rの音声は録画する前に**初期設定**「二重放送音声記録」で切り換えておいてください。	39,66 66
VHS録画・録音	録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?	●できます。**[音声/黄]**で聞きたい音声を選んでください。	70
	ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?	●できません。	―
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?	●BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。また、HDD/DVD側に切り換えて見ることもできます。	―
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか?	●予約内容の日付・時刻順に行われます。	―
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか? またはディスクやカセットを入れ替えることができるか?	●ディスクやカセットを他のものに入れ替えて再生するときなど、予約録画の待機状態を解除しないとできない場合があります。 ●DVDの予約待機中でもHDD・DVD-RAMの再生、VHSの再生・録画ができます。 ●VHSの予約待機中でもHDD・DVD-RAMの再生・録画ができます。	54,76 49 73
	予約録画開始時、テレビの電源は入れていなくてもいいのか?	●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。 ●テレビのチューナーを使ってBS/CSデジタル番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。	― 55,77

こんな表示が出たら

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
異常が発生しました。 決定ボタンを押してください。	●[決定]を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中(本体表示窓に"SLF CHECK"表示中)は操作できません。	118
読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	36
(対応)カードが入っていません。	●本機に対応したカードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ●カードのフォーマットが異なっています。	5,41 5
記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW(DVD-Video 方式)、＋R以外のディスクが入っています。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、＋Rが入っています。 ●DVD-RW(VR方式)が入っています。 ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っています。	4 4 4 63
ディスクがいっぱいで記録できません。 番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	●不要な番組(タイトル)や写真を消去してください。HDD RAM -RW(V) SD ●新しいディスクやカードを使ってください。	38,56,61 —
録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組(タイトル)数を超えていませんか。	6 — 44
ディスクへの書き込みができません。 ディスクを確認してください。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	9
ディスクを交換してください。	●ディスクに異常が発生した恐れがあります。 [▲開/閉]を押して、ディスクを取り出し(電源が切れます)、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	9
ホスト局が設定されていません。 番組データは未取得です	●チャンネルと番組表(Gガイド)設定を設定してください。	26,28
この放送局の番組データは取得できません。	●設定した「Gガイド地域」に対応したホスト局を選んでください。 ●放送局名が正しく設定されているか、「マニュアルチャンネル設定」で確認してください。	108 30
予約チャンネルを合わせてください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード予約ができません。	30
⃠	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	—
再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	4
本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしました。 ●本体の電源を切り、カードを入れ直してください。	— 41
フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	112
ダビングできませんでした。	●ディスク、または光ピックレンズ※が汚れています。 ※ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。	9,13
コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	●コピー禁止処理がされたカセットをワンタッチダビングしようとしています。 ●コピー禁止処理がされたカセットをマニュアルダビングしようとしています。	92 93
コピーガードがかかっています 記録できません	●コピー禁止処理がされたディスクをマニュアルダビングしようとしています。	99
1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできない録画先へダビングしようとしています。	7

こんな表示が出たら(つづき)

本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のメッセージやサービス番号を表示します。

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)(➜105)での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[⏏開/閉]を押してクリーナーを取り出してください。	9 —
SLF CHECK	●停電または、動作中に電源コードが抜けたため、復旧動作中です。表示が消えると使えます。	—
UNS PPORT	●本機で再生や録画できないディスクが入っています。	4
HAR D ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	126
HDD SLP	●HDDの寿命を延ばすため、休止状態になりました。[HDD]を押すとHDDが起動します。	8
PROG FULL	●HDD/DVD側ですでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。 ●VHS側ですでに16件の予約がされています。不要な予約を消してください。	53 76
U11	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	69
U30	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。 リモコンモードを合わせてください。	34
U50	●BSアンテナ線がショートしているため、自動的にBS電源を切りました。BSアンテナを正しく接続したあと、「BS電源」を再設定してください。	31
U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	111
U99	●本体が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。	—
H□□または F □□	●異常と思われます。(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります) 「故障かな!?」の項目に従って点検してください。それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。 **1 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む** **2 [DVD/VHS電源]を押し、電源を入れる**(直ることがあります) 上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。	126
UN FORMAT	●フォーマット(初期化)されていないDVD-RAM、DVD-RW、または他の機器で記録されたDVD-Video方式のDVD-RWが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	63
PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●**初期設定**の「クイックスタート」を「入」に設定している場合、停電または動作中に電源コードが抜けたための、復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— 65
R35:50※ ※数字は例です。	●HDDまたはディスクの残量です。(異常ではありません) 「R」は「Remain(残量)」を、「35:50」は「35時間50分」を意味します。	16

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜127)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません
- 周期的なディスクの回転音がする。(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 電源切/入および休止時(「HDD SLP」状態)に音がする。休止中の反応が遅い。
- 早送り/早戻し(VHSでは巻き戻し再生)すると映像が乱れる。
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。	17
	自動的に電源が切れた	●**初期設定**の「自動電源〔切〕」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます) ●各種安全装置が働いていることがあります。**[DVD/VHS電源]**を押し、電源を入れてください。	65 —
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	●分配器で、テレビと本機に電波を分配したためです。ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) ●BSアンテナからの線が劣化している。販売店にご相談ください。	— —
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしている。本体HDD/DVD側の**[■停止]**と**[VHS▶DVD](ダビング)**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。	17,25 — —
	画面の横縦比が4:3に指定された	●テレビ側の画面モードを確認してください。	—
	映像が、左右方向に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	●テレビの画面モードなどを使って調整してください。 調整できないテレビの場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。 ●**初期設定**の「ワイドモード」や「接続するTV」、「TVアスペクト(4:3)設定」の「DVD-Video」や「DVD-RAM」の設定を確認してください。	40 65,67
	録画した番組(タイトル)の映像が縦に引き伸ばされる	● HDD RAM **初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、16:9映像が4:3映像で記録されます。(お買い上げ時は「入」に設定されています)テレビ側の画面モードを変更して調整できます。16:9映像のまま記録したいときは、「高速ダビング用録画」を「切」にしてください。 ● -R -RW(V) +R ディスクの制約で、16:9映像は4:3映像で記録されます。テレビ側の画面モードを変更して調整できます。	66 —
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「インテグレイテッドDNR」を0にするか、「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	40
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が瞬間的に二重にぶれて見える	●映像ソフトそのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。	40
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	テレビにVHS側の画面が出ない	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。	17,25
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**の「オンスクリーン表示〔オート〕」を「切」にしている。	67
	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**の「ブルーバック」を「入」にしていない。	67
	地上デジタルやBS、CS放送が映らない 有料番組やハイビジョン放送が見られない	●接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ●本機のBS-IF出力端子と接続したテレビでBS放送を見る場合は、本機を使用しない場合でも、必ず本機を電源コンセントに接続してください。 ●本機ではハイビジョン放送は見られません。	17,20 — —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●メーカー番号が合っていない。 電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が消耗している。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがある。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ●予約録画の待機中になっている。 ●本体とリモコンモードが合っていない。 電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。	34 14 14 14 14 48,73 34
	操作できない	●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●**[HDD]**、**[DVD]**、**[SD]**または**[VHS]**を間違って選んでいる。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 **HDD/DVD部の操作ができない場合:** **1 本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) **2 本体の[電源⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。	— 15 — 118
本体	ディスク・カセットが入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●正しく入れていない。	17 36,68
	ディスク・カセットが取り出せない	●予約録画の待機中、または実行中になっている。 ●録画中になっている。 ●上記のいずれでもない場合、ディスクトレイは電源「切」状態で本体HDD/DVD側の**[■停止]**と**チャンネル[∧]**を同時に約5秒以上押したままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	48,73 44,71 —

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本体	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても同様です。	—
	起動が遅い	●HDDが休止状態になっている(本体表示窓に"HDD SLP"と表示)。 ●「クイックスタート」が「入」になっていない。 ●「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・DVD-RAM以外のディスクが入っている場合 ・時計が設定されていない場合 ・停電直後や電源コードを差した直後 ●午前4時から数分間は、本機のシステムメンテナンスのため、起動に時間がかかります。	8 65 — —
表示	時刻表示が"0：00"で点滅している	●時刻が合っていない。	35
	表示が暗い	●**初期設定**の「FLディマー」で明るさを変えてください。	67
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒(29.97フレーム)としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。(例：1時間番組の時間表示は約59分56秒となります)	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする MP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。 ●DVD-R、+Rは番組(タイトル)を消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ残量が増えます。 ●DVD-R、+Rへの録画や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り/早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — 56 — —
	VHSのテープカウンター表示の値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD・DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていない(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っている。 ●他機でフォーマットのみ行った+RWが入っている。 ●他の当社製DVDレコーダーでDVD-RAMに録画した「1回だけ録画可能」の番組(タイトル)は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●DVD-RAMにEP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	9,36 4,5 — 7 66
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生すると起きます。 ●高速モードでダビングしたファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。	— — —
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている。**初期設定**の「視聴制限」を変更してください。	66
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●**再生設定**の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 36
	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録されていない。 ●**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていない。	— 40
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	40
	視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 **[DVD]**を押し、**[▲開/閉]**を押してトレイが開いている状態で、本体HDD/DVD側の**[●録画]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に"INIT"が表示)	—
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ●録画モードが"XP"または"FR"での録画中は働きません。RAM	— —
	自動CM早送り再生が働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●早見再生中は働きません。 ●最大49回働きます。[HDD :1番組(タイトル)あたり49回/ RAM :ディスク1枚あたり49回]それを超えた場合は働きません。	— 37 —
	続き再生メモリー機能が働かない	●本体表示窓の"再生"が点滅していないときは働きません。 ●記憶した位置は、電源を切ったりディスクトレイを開けると解除されます。 プレイリストの場合は、番組(タイトル)やプレイリストを編集したときも解除されます。	37 —
HDD・DVD録画	録画できない	●ディスクが入っていない。または録画できないディスクが入っている。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止(プロテクト)が設定されている。 ●録画制限のある番組を録画しようとした。 ●ディスク残量がない場合や、番組(タイトル)数が最大数になっている場合は録画できません。[不要な番組(タイトル)を消去するか、新しいディスクを使う] ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っている。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+RまたはDVD-RW(VR方式)には録画できません。DVD-RW はフォーマットすると、繰り返し録画できます。 ●ディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返すと、録画や編集ができなくなることがあります。 -R -RW(V) +R ●本機で録画したDVD-Rは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	4 62 6 56 63 63 — —
	録画した番組(タイトル)の一部、またはすべてが消えた	●録画や編集中に停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組(タイトル)が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット(HDD RAM -RW(V))するか、新しいディスクを使ってください。[当社では、消えた番組(タイトル)や使えなくなったディスクは補償できません]	63

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●正しい音声を選んでいない。**[音声/黄]**を押して、正しい音声を選んでください。 ●ディスクによってはサラウンドの効果が出にくいものや、出ないものがあります。 以下の場合は**再生設定**「音声メニュー」で「サラウンド」を「切」にしてください。 ・カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクのとき ・二重放送の番組(タイトル)を再生するとき ●ディスク側で音声の出力方法が制限されている。 マルチチャンネルのディスクには、ダウンミックスが禁止されているため、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。**DVD-A** ●**初期設定**の「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、主/副音声のどちらか一方しか記録されません。あとでDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするつもりで録画する場合以外は、「切」にしてください。	17～22,67 39 40 — 66
	音声が切り換えられない	●以下の場合は音声の切り換えができません。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・「DVD」を選択中、ディスクトレイにDVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)や+Rが入っている場合 ・録画モードがXPで、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」が「LPCM」の場合 ●光デジタルケーブルでアンプと接続しているとき、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	66 — 67 67 —
HDD・DVD編集・整理	番組(タイトル)を消去しても残量が増えない	●DVD-Rや+Rは、消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video)方式は、最後に録画した番組(タイトル)を消去したときのみ残量が増えます。途中の番組(タイトル)を消去しても残量は増えません。	— —
	編集できない	●HDDに空き容量がないと、HDDでの編集ができなくなることがあります。 不要な番組(タイトル)を消去して空き容量を増やしてください。	38,56
	フォーマットできない	●ディスクが汚れている場合は、クリーニングクロス(別売)(➜**105**)できれいにふいてからフォーマットしてください。 ●本機で使えないディスクを使っている。	9 4,5
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	— — —
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	57
	プレイリストが作成できない	●番組(タイトル)が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。	58
写真	再生ナビ画面を表示できない	●録画やダビング中はできません。	—
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります)	62
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れている。(カードの内容が壊れている場合もあります)他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっている。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～1 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。	5 43,112 — 5
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。 カードやディスクをフォーマットしてください。	— 63
VHS表示	画面メッセージが出ない	●**VHSメニュー**の「オンスクリーン」を「切」にしている。	79
	再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。	—
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	69 12
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。	—
VHS録画	録画できない	●カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 ●カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。	71 71
	テレビ番組が録画できない	●録画したい番組のチャンネルを選んでいない。	71
VHS音声	聞きたい音声が聞こえない	●正しい音声を選んでいない。	70
	音声がステレオではない	●ステレオ音声を選んでいない。	70
	ステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	69 12

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD・DVD・VHS予約録画	予約録画が正しくできない Gコード予約ができない	●予約内容（予約チャンネルや開始･終了時刻など）が間違っている。 ●予約録画の待機状態になっていない場合は、[**タイマー切/入◴**]を押して、本体表示窓に“◴”を点灯させてください。 ●予約録画の時間帯が重なっている。 ●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 ●同じガイドチャンネルが複数設定されている。不要な方を削除してください。 ●時刻が合っていない。	53,76 54,76 — 30 31 35
	[停止■]を押しても、予約録画が終わらない	●予約録画実行中は[**タイマー切/入◴**]を押してください。（本体表示窓の“◴”消灯） ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」に設定されているとき、電源を入れてすぐ録画を開始した場合は、数秒間は録画を停止できません。	54,76 65
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日･毎週予約のときは消えません。	—
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	予約した番組と違う番組が録画されていた	●予約録画時に野球延長対応機能が働くと、録画した番組（タイトル）の最初、または最後の部分に最大120分、予約番組の前後に放送された番組の内容が含まれる場合があります。編集機能でこの部分を消去してください。	57
	野球延長対応機能が働かない	●**初期設定**「野球延長」が「入」になっていない。 ●番組表データに延長情報が含まれていない場合には働きません。また、本機では検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。 ●予約登録時ではなく、録画開始時点での延長情報に基づいて延長録画を行います。（新しい番組表データの受信により、延長情報の有無や内容が変わることがあります） ●19時より前に放送が終了する番組には働きません。 ●延長部分の録画中に別の予約録画が始まる場合、延長部分の録画を終了します。このような番組は予約内容一覧画面で「本編可」と表示されます。 ●野球延長対応機能は、最大で120分の録画時間延長が可能です。それ以上の延長放送を録画することはできません。	66 53 — — 53 53
番組表（Gガイド）	番組表（Gガイド）が表示されない 8日分表示されない	●**初期設定**「番組表設定」を確認してください。 ●番組表（Gガイド）データは1日に数回送信されます。お買い上げ直後は、番組表（Gガイド）データが受信されていません。 ･電源「切」状態でしばらくお待ちください。（1日程度かかる場合があります。お買い上げ時の受信時刻設定は、「番組表（Gガイド）データ送信時刻」をご覧ください） ･データ送信時刻に本機が電源「入」状態だった場合、以下の条件を満たすときのみデータ受信を行えます。 - データ送信時刻に本機HDD/DVD/SD側のチャンネルがホスト局に設定されている - データ送信時刻にHDDまたはDVDの録画を行っていない ●時刻が合っていない。 ●ホスト局の電波が弱い場合や、強度のゴーストを含んでいる場合は、番組表（Gガイド）データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	32 28 29 35 —
	番組表（Gガイド）に表示されない放送局がある	●**初期設定**「マニュアルチャンネル設定」の「放送局名」が正しく設定されていない。 ●**初期設定**「Gガイド地域」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表（Gガイド）に放送内容は表示されません。	30 108
	番組表(Gガイド)に“予”が表示されない	●番組の一部のみを予約した場合は表示されません。	—
	録画した番組（タイトル）とタイトル名が合っていない	●予約設定後に番組内容が変更されても、予約時のタイトル名で録画されます。 ●携帯電話のEPG録画サービスを利用して予約を変更した場合、タイトル名が変更される場合があります。	— —
ダビング・外部入力	DVD-R、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速モードでダビングできない	●HDDへの録画前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定している。（お買い上げ時の設定は「入」です）	66
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っている。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組（タイトル）数が多い場合は時間がかかります。 ●6時間以上の番組（タイトル）は、EP（8H）モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、DVD-R、DVD-RW（DVD-Video方式）、+Rに高速モードでダビングできません。	— — —
	カセットからディスクにダビングできない ディスクからカセットにダビングできない	●ディスクやカートリッジにプロテクトが設定されている。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●市販されているビデオソフトやDVDソフト（レンタルビデオ、レンタルDVDも含む）の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画･録音できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、HDDやDVD-RAMにダビングできません。 ●機能選択画面、予約一覧画面、VHSメニュー画面などが表示されているときは、ダビングできません。	62 71 — 7 —
	編集後の音声レベルがHDD/DVD側とVHS側で合っていない	●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—
	黒い帯状のノイズが録画された	●再生機がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。 再生機をテレビから離してください。	104
	外部機器から録画･録音できない	●正しく接続していない。 ●再生機を接続した外部入力チャンネル“L1”、“L2”または“L3”を選んでいない。	104 104

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号（保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り（有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。
HDDの初期化（録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります） ご署名　　　　印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD　□ VHS （下欄※に詳細をご記入ください） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時 └□ 本機のチューナーからの録画 └□ 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など） ＜エラー表示＞ □ 有り └□ テレビ画面 表示内容：＿＿＿＿＿ └□ 本体表示窓 表示内容：＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿ 回に ＿＿＿ 回位

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	□ DVD-RAM　メーカー名：　品番： □ DVD-R　メーカー名：　品番： □ DVDビデオ　タイトル：　ディスクNo.： □ その他
発生箇所	□ 最初から再生できない　□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生　□ タイトルNo.：チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

✂ きりとり線

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V ±10 %、50/60 Hz ±0.5 %
消費電力	動作時：約42 W 待機時（クイックスタート「入」）：時刻表示点灯時・約10.0 W、時刻表示消灯時・約9.0 W 待機時（クイックスタート「切」）：時刻表示点灯時・約4.0 W、時刻表示消灯時・約1.3 W

HDD/DVD部

■記録可能ディスク

DVD-RAM：Ver.2.0
Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0
Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0
DVD-R：for General Ver.2.0
for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0
for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0
DVD-RW：Ver.1.1
Ver.1.1/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0
Ver.1.2/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0
+R：Ver.1.0
Ver.1.1
Ver.1.2

■記録方式

DVD-RAM：DVDビデオレコーディング規格準拠
DVD-R：DVDビデオ規格準拠
DVD-RW：DVDビデオ規格準拠

■記録時間

最大8時間（4.7 GBディスク使用時）
XP：約1時間　SP：約2時間
LP：約4時間　EP：約8（6）時間
最大355時間（内蔵HDD使用時）
XP：約44時間　SP：約89時間
LP：約177時間　EP：約355（266）時間

■再生可能ディスク

DVD-RAM、DVD-R、DVD-Video、DVD-Audio、DVD-RW、+R、+RW、CD-DA、VCD、CD-R/RW（MP3、CD-DA、VCD、JPEGフォーマット記録のディスク）

■内蔵HDD容量　200 GB

■映像方式

●記録圧縮方式	MPEG2（Hybrid VBR）	
●入力（ピンジャック）	1.0 Vp-p	75 Ω
●S映像入力	Y入力：1.0 Vp-p	75 Ω
	C入力：0.286 Vp-p	75 Ω
●出力（ピンジャック）	1.0 Vp-p	75 Ω
●S映像出力（DVD専用）	Y出力：1.0 Vp-p	75 Ω
	C出力：0.286 Vp-p	75 Ω
●D1/D2映像出力(525p/525i)（DVD専用）	Y出力：1.0 Vp-p	75 Ω
	PB/CB出力：0.7 Vp-p	75 Ω
	PR/CR出力：0.7 Vp-p	75 Ω

■音声方式

●記録・再生圧縮方式　Dolby Digital：2ch記録
リニアPCM（XPモードのみ切り換え可）：2ch記録

●アナログ入力（ピンジャック）
基準入力レベル：309 mVrms
入力レベル：FS 2 Vrms（1 kHz、0 dB）
入力インピーダンス：22 kΩ

●アナログ出力（ピンジャック）
基準出力レベル：309 mVrms
出力レベル：FS 2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力インピーダンス：1 kΩ
負荷インピーダンス：10 kΩ

●デジタル出力　光コネクター（PCM、ドルビーデジタル、DTS対応）

VHS部

■録画方式　VHS規格

■テープ速度

標準：33.35 mm/秒
3倍：11.12 mm/秒

■使用カセット　VHSビデオカセット

■録画時間　最大9時間（T-180使用、3倍の場合）

■早送り・巻き戻し時間

約54秒（T-120使用の場合）
高速リターン時：約36秒（T-120使用の場合）

■映像方式

●入力（ピンジャック）	1.0 Vp-p	75 Ω
●S映像入力	Y入力：1.0 Vp-p	75 Ω
	C入力：0.286 Vp-p	75 Ω
●出力（ピンジャック）	1.0 Vp-p	75 Ω
●S映像出力	Y出力：1.0 Vp-p	75 Ω
	C出力：0.286 Vp-p	75 Ω

■音声方式

●入力（ピンジャック）	309 mVrms	
	入力インピーダンス	22 kΩ
●出力（ピンジャック）	309 mVrms	
	出力インピーダンス	1 kΩ
	負荷インピーダンス	10 kΩ

●トラック数
3トラック（ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック）

SD部

■スロット　SDメモリーカード

■対応カード

SDメモリーカード※1
マルチメディアカード

■対応フォーマット　FAT12、FAT16

■画像ファイル形式

JPEGベースライン方式[DCF(Design rule for Camera File system）準拠]、TIFF（非圧縮RGB点順次）対応、DPOF対応

■画素数

34×34～6144×4096
サブサンプリング　4:2:2、4:2:0

■解凍時間※2　約7秒（200万画素、JPEG）

HDD/DVD/VHS/SD部

■本体外形寸法

約幅430 mm×高さ89 mm×奥行380 mm

■本体質量　約7.1 kg

■映像方式

●テレビジョン方式	NTSC方式、525本、60フィールド	
●アンテナ受信入力	VHF：1～12チャンネル	75 Ω
	UHF：13～62チャンネル	75 Ω
	CATV：C13～C63チャンネル	75 Ω
	BS：1、3、5、7、9※3、11、13、15チャンネル	75 Ω
●BSアンテナ用電源出力	DC 15 V、最大4 W	
●検波入出力（BS：ピンジャック）	0.67 Vp-p	75 Ω
●ビットストリーム入出力（BS：ピンジャック）	0.50 Vp-p	75 Ω

■許容動作温度　5 ℃～40 ℃

■許容動作湿度　35 %～80 %（結露なきこと）

■時計部　クォーツ制御、24時間、デジタル表示

※1　miniSD™カードを含む。（miniSD™アダプター装着時）
※2　解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。
※3　本機では、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見ることはできません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」（➜119～122）に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」（➜118）が表示されている場合その番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
次の修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVDレコーダー
品　　番	DMR-EH70V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北 海 道 地 区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首 都 圏 地 区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中 部 地 区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近 畿 地 区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中 国 地 区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四 国 地 区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九 州 地 区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-EH70V
販売店名	☎（　）－	お客様ご相談窓口	☎（　）－

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町１番15号

VQT0P06
F0305Mr0（16000 Ⓐ）